

嵐山町 住民意識調査報告書

令和 2 年 3 月

目 次

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の対象	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	3
第 2 章 調査結果の詳細	5
1. 基本属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 職業	8
(3-1) 職場や学校の場所	9
(4) 嵐山町の居住年数	9
(5) 住居の状況	12
(6) 居住地区	14
(7) 世帯構成	15
2. 嵐山町の住みごころ、暮らしやすさ等について	17
(1) 嵐山町の住みよさ	17
(2) 今後の居住意向	19
(3) 住みたいと思う最も大きな理由	21
(4) 移転したいと思う最も大きな理由	22
(5) 普段の生活のなかで感じている問題	23
(6) 問題の内容	25
(7) 地域環境の満足度	26
3. 今後のまちづくりにおいて重点的に取り組むべき課題について	29
(1) これからの嵐山町のまちづくりにおいて重点的に取り組むべきと考える課題	29
(2) これからの嵐山町のまちづくりについての意見・要望	33
4. 町政とのかかわりについて	36
(1) 嵐山町が発信している情報の入手方法	36
(2) 広報らんざんを読む頻度	38
(3) 読むページ	39
(4) 読まない最大の理由	40
(5) 嵐山町の広報についての意見・要望	41
5. 日常の交通手段等について	43
(1) 通勤や通学	43
(2) 通勤や通学の頻度	43
(3) 通勤や通学の主な交通手段	44

(4) 通勤や通学時の交通手段について、不便や不満の有無	44
(5) 不便・不満の内容	45
(6) 普段の外出の頻度	45
(7) 外出の目的	46
(8) 外出の際の主な交通手段	46
(9) 外出時の交通手段について、不便や不満の有無	47
(10) 不便・不満の内容	47
(11) 本当は行きたいのにいけない場所の有無	48
(12) 具体的な場所といけない理由	49
(13) 日常生活での「鉄道」の利用状況	50
(14) 「鉄道」の利用目的	52
(15) 「鉄道」の利用についての総合的な評価	52
(16) 「鉄道」の総合評価の理由	53
(17) 「路線バス」の利用状況	55
(18) 「路線バス」の利用についての総合的な評価	59
(19) 「路線バス」の総合評価の理由	60
(20) 日常生活での「タクシー」利用状況	61
(21) 「タクシー」の利用目的	61
(22) 「タクシー」についての総合的な評価	62
(23) 「タクシー（高齢者外出支援）」チケットの利用状況	62
(24) 嵐山町高齢者外出支援タクシー助成券制度についての評価	63
(25) 不満の内容	63
(26) 自動車で送迎をしている状況	64
(27) 送迎の対象者	64
(28) 送迎の対象者の移動目的	65
(29) 自動車で送迎をしてもらっている状況	65
(30) 送迎をしてもらっている相手	66
(31) 送迎をもらっている移動目的	66
(32) 嵐山町の交通施策についての意見・要望	67

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

今後のまちづくりの指針となる第6次嵐山町総合振興計画（令和3年度から10年間）の策定にあたり、ご意見・ご要望などをお伺いするアンケート調査を実施しました。

2. 調査の対象

18歳以上の嵐山町民2,000名

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

調査期間：令和元年12月9日（木）～12月26日（木）

<回収状況>

発送数	回収数	回収率
2,000件	958件	47.9%

4. 調査項目

調査項目
1. 嵐山町の住みごころ、暮らしやすさ等について
2. 今後のまちづくりにおいて重点的に取り組むべき課題について
3. 町政とのかかわりについて
4. 日常の交通手段等について

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

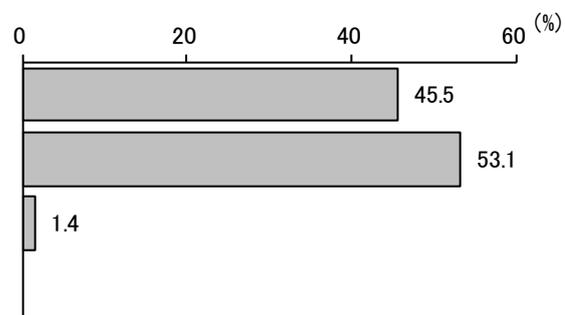
第1章 調査の概要

第2章 調査結果の詳細

1. 基本属性

(1) 性別

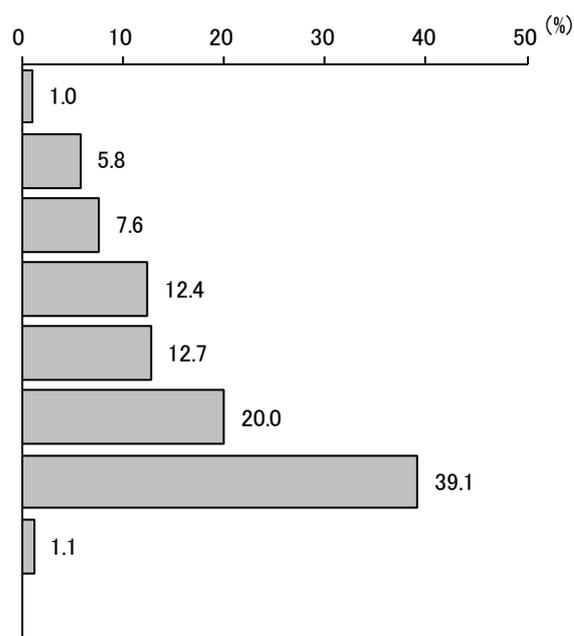
	基数	構成比
男性	436	45.5%
女性	509	53.1%
無回答	13	1.4%
全体	958	100.0%



回答者の性別は、「男性」が45.5%、「女性」が53.1%となっています。

(2) 年齢

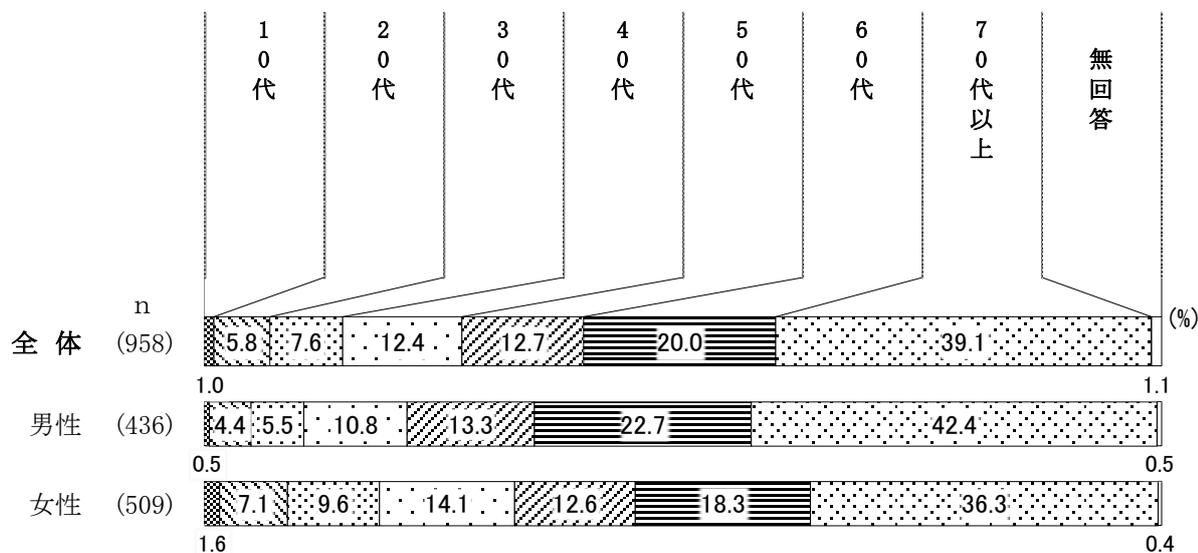
	基数	構成比
10代	10	1.0%
20代	56	5.8%
30代	73	7.6%
40代	119	12.4%
50代	122	12.7%
60代	192	20.0%
70代以上	375	39.1%
無回答	11	1.1%
全体	958	100.0%



回答者の年齢は、「70代以上」が39.1%と最も高く、次いで「60代」20.0%、「50代」12.7%となっています。

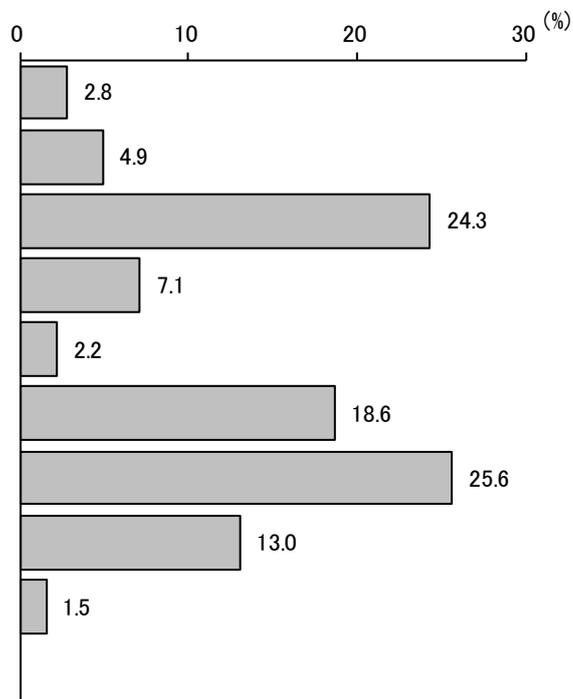
第2章 調査結果の詳細

●年齢 【性別】



(3) 職業

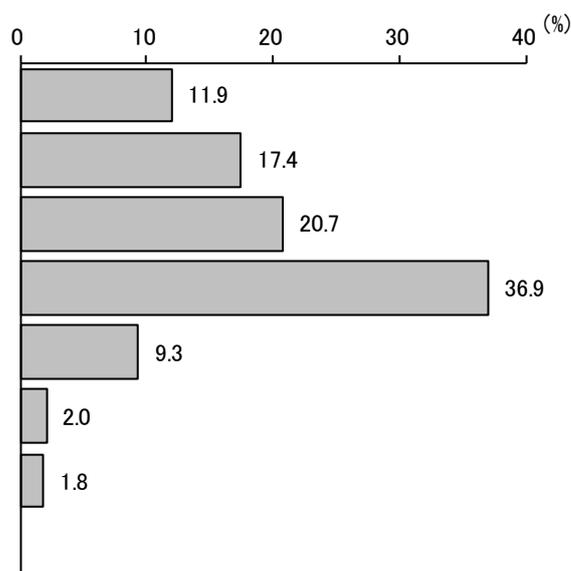
	基数	構成比
農業	27	2.8%
自営業	47	4.9%
会社員・公務員(常勤)	233	24.3%
会社員・公務員(非常勤)	68	7.1%
学生(予備校含む)	21	2.2%
専業主婦・専業主夫	178	18.6%
無職	245	25.6%
その他	125	13.0%
無回答	14	1.5%
全体	958	100.0%



職業は、「無職」が25.6%と最も高く、次いで「会社員・公務員(常勤)」24.3%、「専業主婦・専業主夫」18.6%となっています。

(3-1) 職場や学校の場所

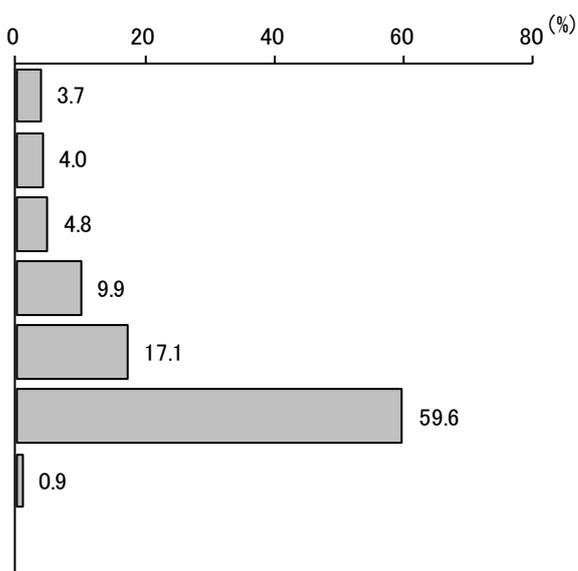
	基数	構成比
自宅	47	11.9%
町内	69	17.4%
比企郡内	82	20.7%
埼玉県内	146	36.9%
東京都	37	9.3%
その他	8	2.0%
無回答	7	1.8%
全体	396	100.0%



職場や学校の場所は、「埼玉県内」が36.9%と最も高く、次いで「比企郡内」17.4%、「町内」17.4%、「自宅」11.9%、「東京都」9.3%となっています。

(4) 嵐山町の居住年数

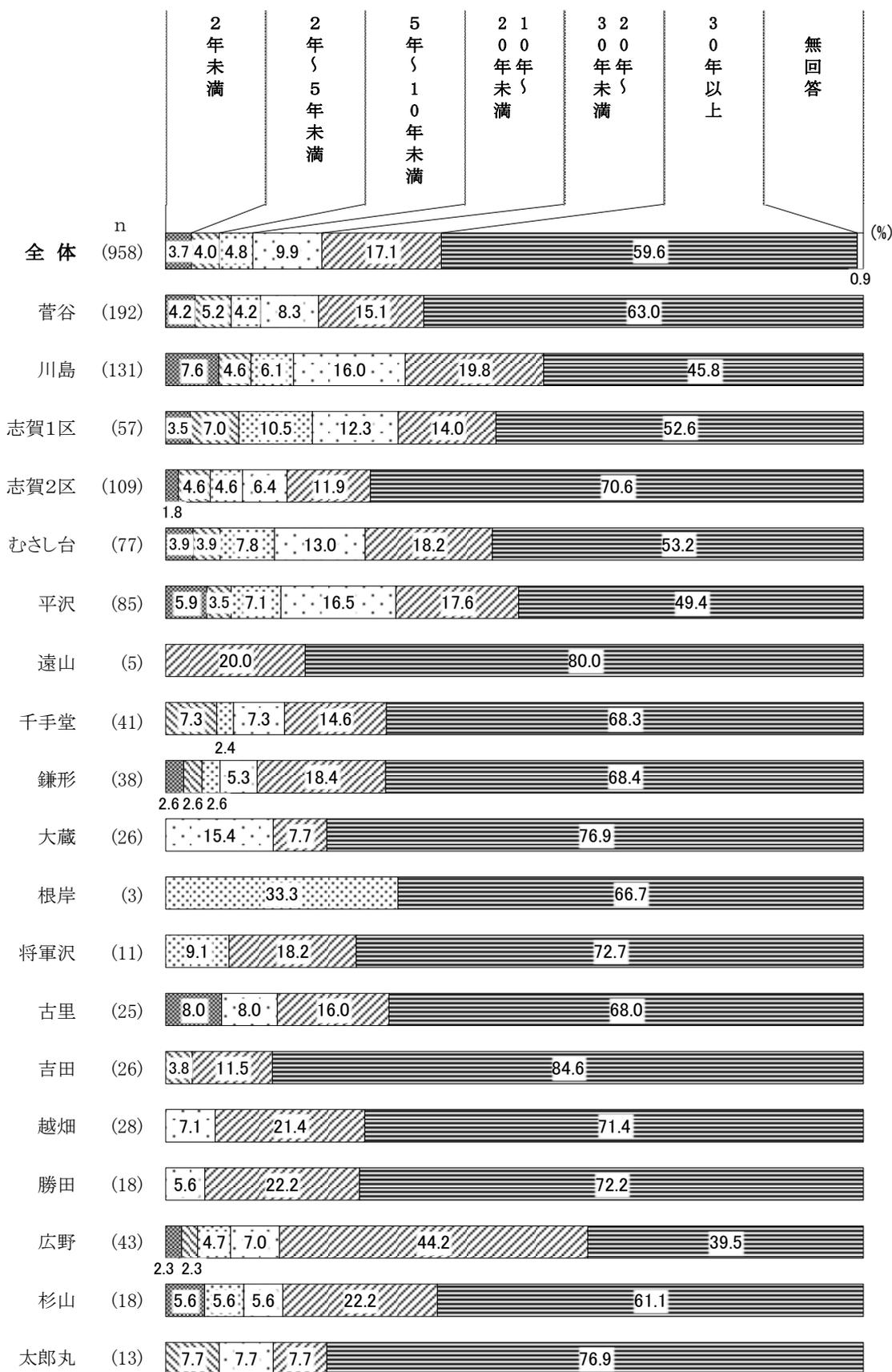
	基数	構成比
2年未満	35	3.7%
2年～5年未満	38	4.0%
5年～10年未満	46	4.8%
10年～20年未満	95	9.9%
20年～30年未満	164	17.1%
30年以上	571	59.6%
無回答	9	0.9%
全体	958	100.0%



嵐山町の居住年数は、「30年以上」が59.6%と最も高く、次いで「20年～30年未満」17.1%、「10年～20年未満」9.9%となっています。

第2章 調査結果の詳細

●嵐山町居住年数 【居住地区別】



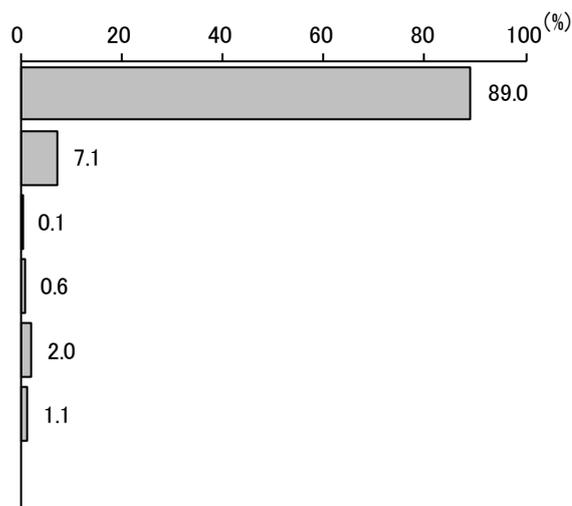
(上段：％、下段：人)

	調査数	2年未満	2年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 20年未満	20年 ～30年 未満	30年 以上	無回答
全 体	100.0	3.7	4.0	4.8	9.9	17.1	59.6	0.9
	958	35	38	46	95	164	571	9
菅谷	100.0	4.2	5.2	4.2	8.3	15.1	63.0	-
	192	8	10	8	16	29	121	-
川島	100.0	7.6	4.6	6.1	16.0	19.8	45.8	-
	131	10	6	8	21	26	60	-
志賀1区	100.0	3.5	7.0	10.5	12.3	14.0	52.6	-
	57	2	4	6	7	8	30	-
志賀2区	100.0	1.8	4.6	4.6	6.4	11.9	70.6	-
	109	2	5	5	7	13	77	-
むさし台	100.0	3.9	3.9	7.8	13.0	18.2	53.2	-
	77	3	3	6	10	14	41	-
平沢	100.0	5.9	3.5	7.1	16.5	17.6	49.4	-
	85	5	3	6	14	15	42	-
遠山	100.0	-	-	-	-	20.0	80.0	-
	5	-	-	-	-	1	4	-
千手堂	100.0	-	7.3	2.4	7.3	14.6	68.3	-
	41	-	3	1	3	6	28	-
鎌形	100.0	2.6	2.6	2.6	5.3	18.4	68.4	-
	38	1	1	1	2	7	26	-
大蔵	100.0	-	-	-	15.4	7.7	76.9	-
	26	-	-	-	4	2	20	-
根岸	100.0	-	-	33.3	-	-	66.7	-
	3	-	-	1	-	-	2	-
将軍沢	100.0	-	-	9.1	-	18.2	72.7	-
	11	-	-	1	-	2	8	-
古里	100.0	8.0	-	-	8.0	16.0	68.0	-
	25	2	-	-	2	4	17	-
吉田	100.0	-	3.8	-	-	11.5	84.6	-
	26	-	1	-	-	3	22	-
越畑	100.0	-	-	-	7.1	21.4	71.4	-
	28	-	-	-	2	6	20	-
勝田	100.0	-	-	-	5.6	22.2	72.2	-
	18	-	-	-	1	4	13	-
広野	100.0	2.3	2.3	4.7	7.0	44.2	39.5	-
	43	1	1	2	3	19	17	-
杉山	100.0	5.6	-	5.6	5.6	22.2	61.1	-
	18	1	-	1	1	4	11	-
太郎丸	100.0	-	7.7	-	7.7	7.7	76.9	-
	13	-	1	-	1	1	10	-

第2章 調査結果の詳細

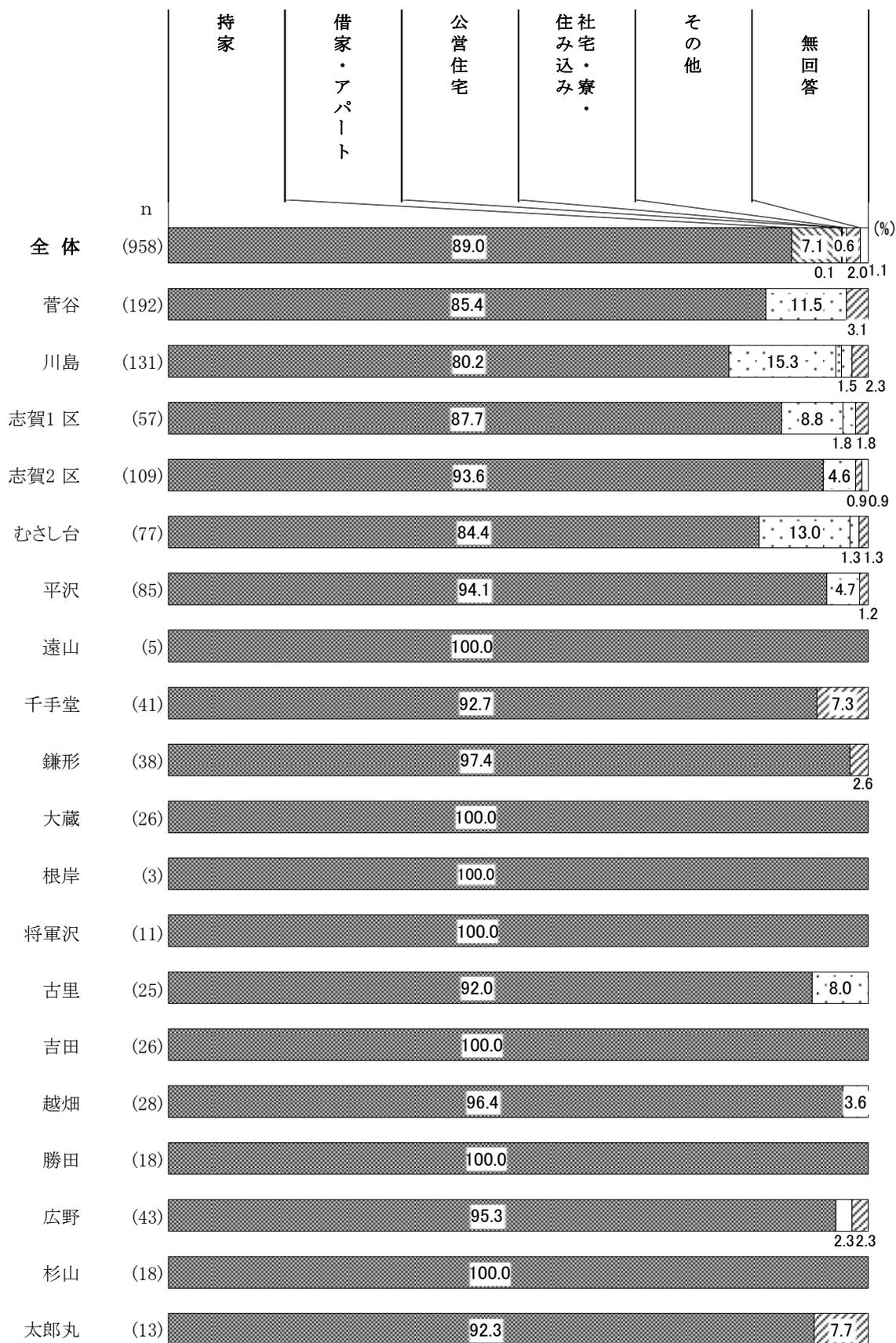
(5) 住居の状況

	基数	構成比
持家	853	89.0%
借家・アパート	68	7.1%
公営住宅	1	0.1%
社宅・寮・住み込み	6	0.6%
その他	19	2.0%
無回答	11	1.1%
全体	958	100.0%



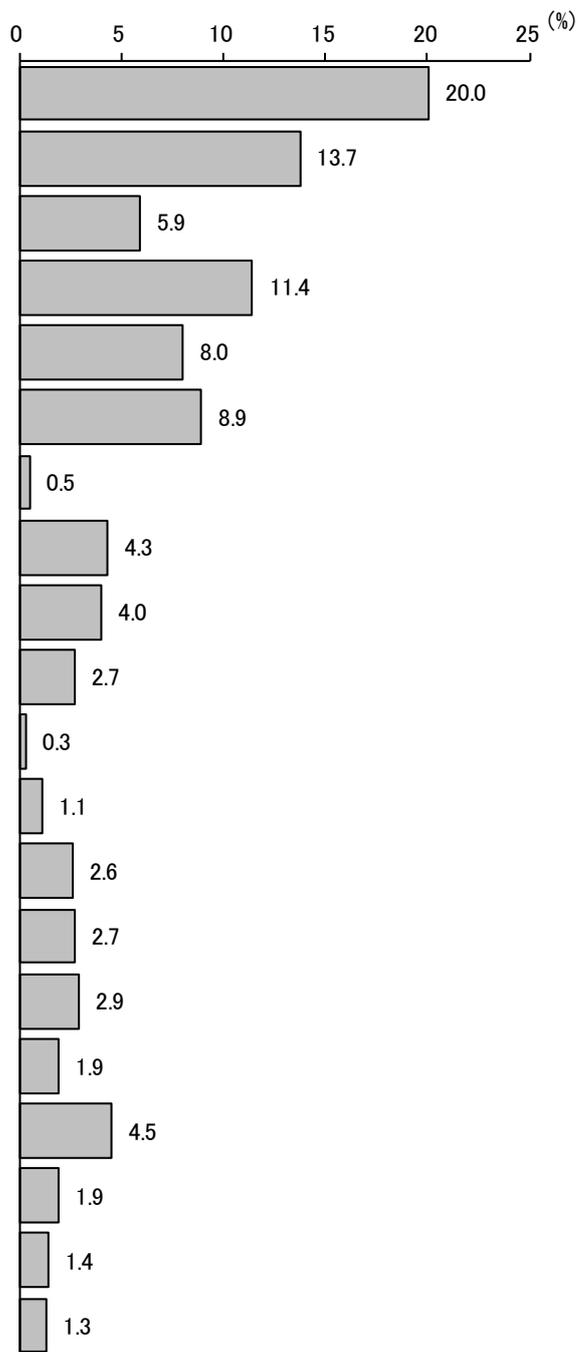
回答者の住居の状況は、「持家」が89.0%と最も高く、次いで「借家・アパート」7.1%、「社宅・寮・住み込み」0.6%となっています。

●住居の状況 【居住地区別】



(6) 居住地区

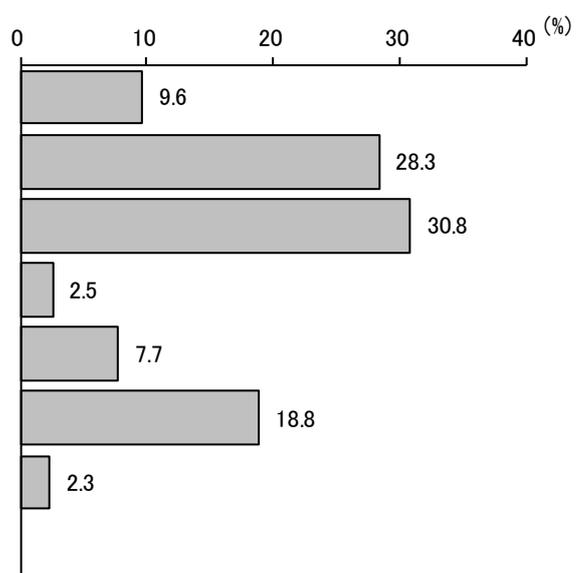
	基数	構成比
菅谷	192	20.0%
川島	131	13.7%
志賀1区	57	5.9%
志賀2区	109	11.4%
むさし台	77	8.0%
平沢	85	8.9%
遠山	5	0.5%
千手堂	41	4.3%
鎌形	38	4.0%
大蔵	26	2.7%
根岸	3	0.3%
将軍沢	11	1.1%
古里	25	2.6%
吉田	26	2.7%
越畑	28	2.9%
勝田	18	1.9%
広野	43	4.5%
杉山	18	1.9%
太郎丸	13	1.4%
無回答	12	1.3%
全体	958	100.0%



居住地区は、「菅谷」が20.0%と最も高く、次いで「川島」13.7%、「志賀2区」11.4%、「平沢」8.9%、「むさし台」8.0%となっています。

(7) 世帯構成

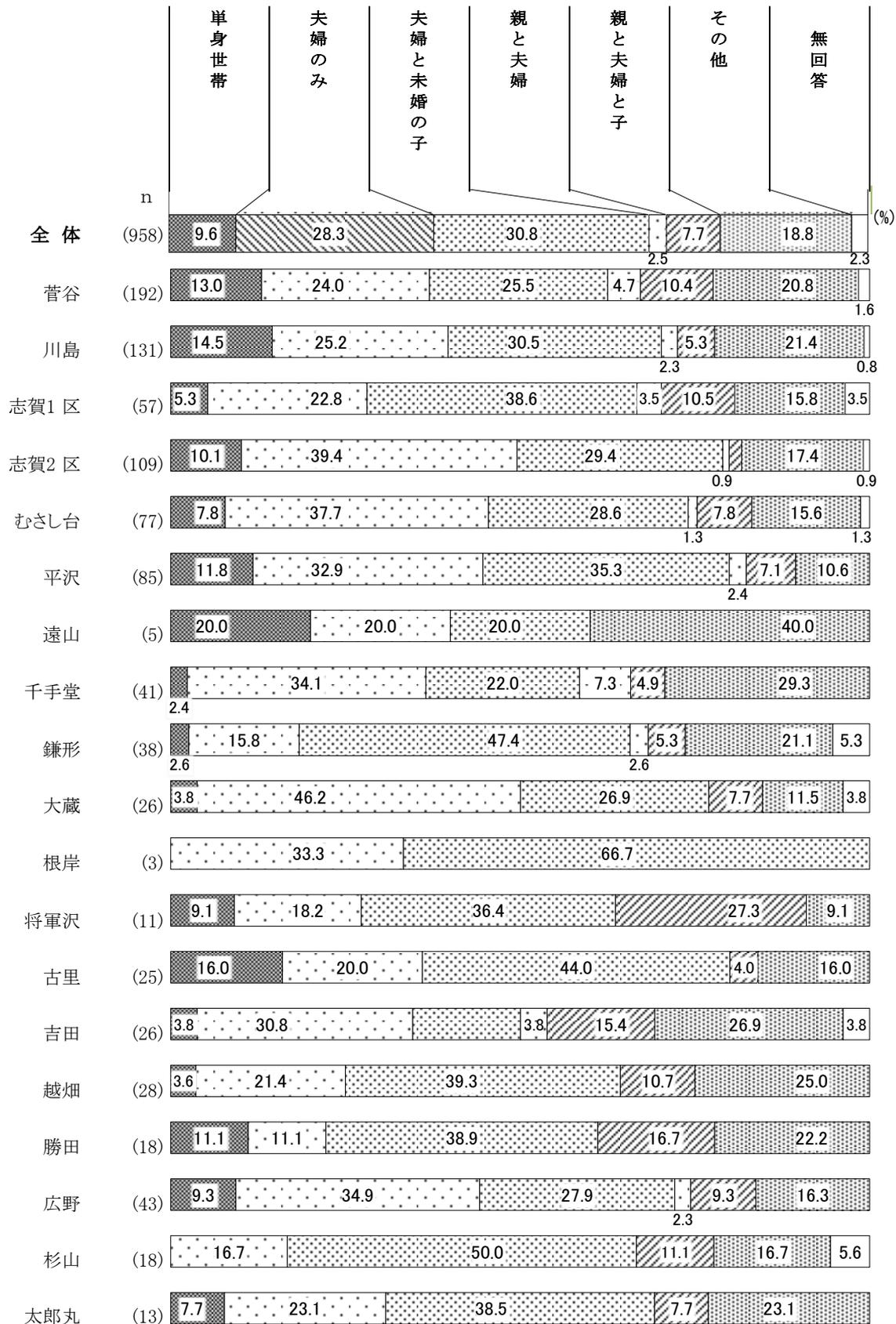
	基数	構成比
単身世帯	92	9.6%
夫婦のみ	271	28.3%
夫婦と未婚の子	295	30.8%
親と夫婦	24	2.5%
親と夫婦と子	74	7.7%
その他	180	18.8%
無回答	22	2.3%
全体	958	100.0%



世帯構成は、「夫婦と未婚の子」が30.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」28.3%、「単身世帯」9.6%、「親と夫婦と子」7.7%、「親と夫婦」2.5%となっています。

第2章 調査結果の詳細

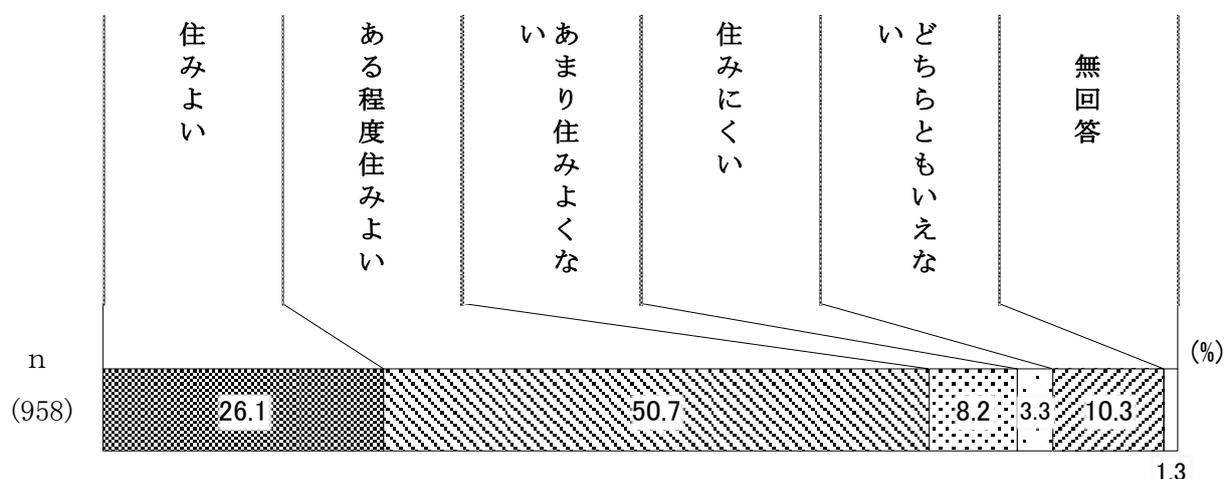
●世帯構成 【居住地区別】



2. 嵐山町の住みごち、暮らしやすさ等について

(1) 嵐山町の住みよさ

問1 あなたにとって、嵐山町は住みよいと思いますか。(1つに○)

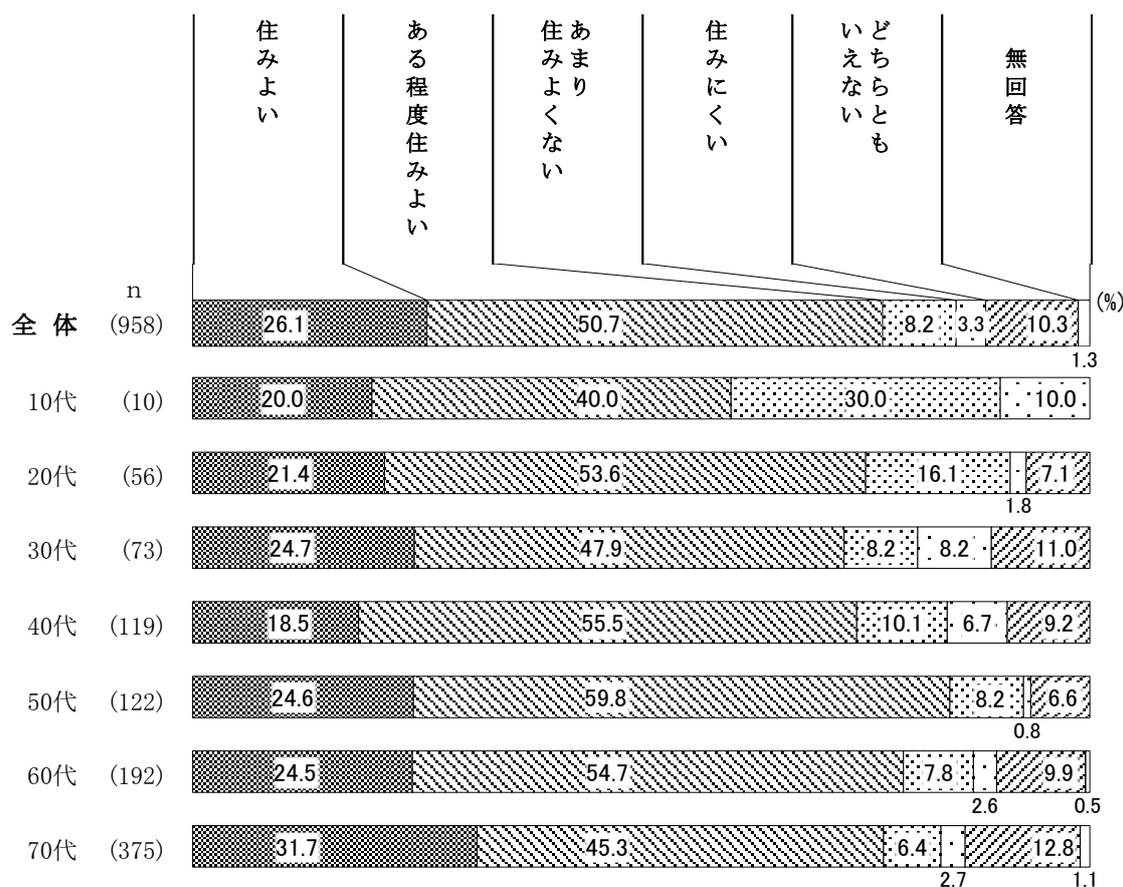


嵐山町の住み心地について聞いたところ、「ある程度住みよい」が50.7%と半数を超えています。次いで「住みよい」26.1%、「どちらともいえない」10.3%「あまり住みよくない」8.2%、「住みにくい」3.3%となっています。

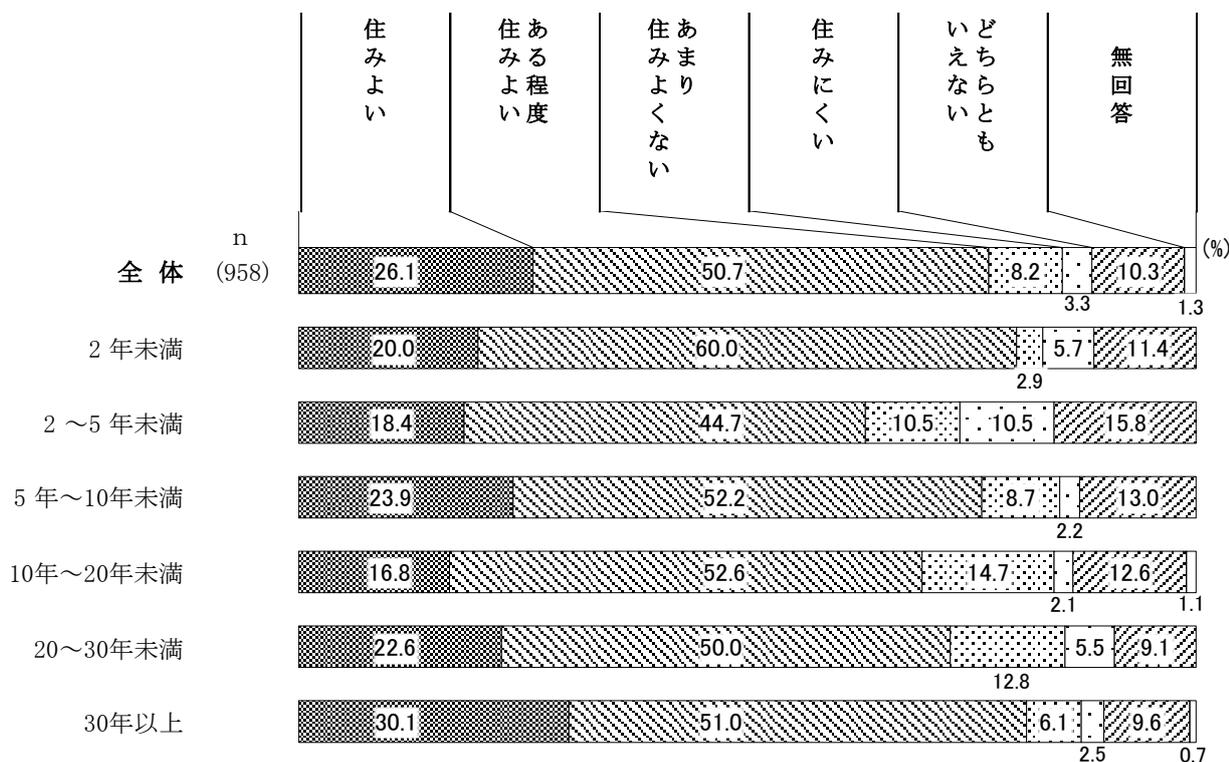
年齢別でみると、どの年代とも「ある程度住みよい」が最も高くなっています。また、「住みよい」との回答は、70代で31.7%と他の年代に比べて高くなっています。

居住年数別でみると、どの年数とも「ある程度住みよい」が最も高くなっています。また、「住みよい」との回答は、30年以上で30.1%と他の年数に比べて高くなっています。

●嵐山町の住みよさ 【年齢別】



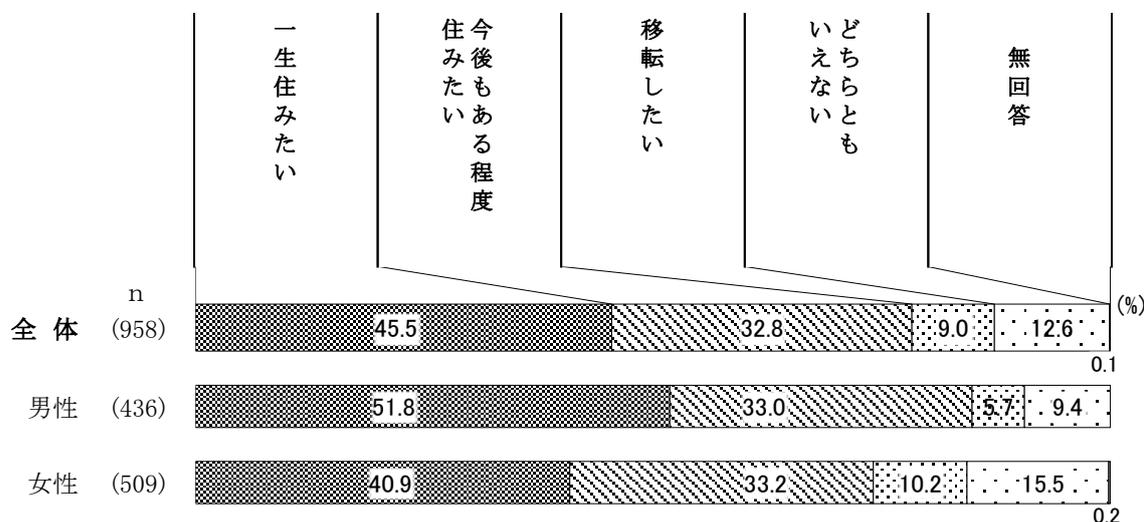
●嵐山町の住みよさ 【居住年数別】



(2) 今後の居住意向

問2 あなたは、今後も嵐山町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

●今後の居住意向 【性別】



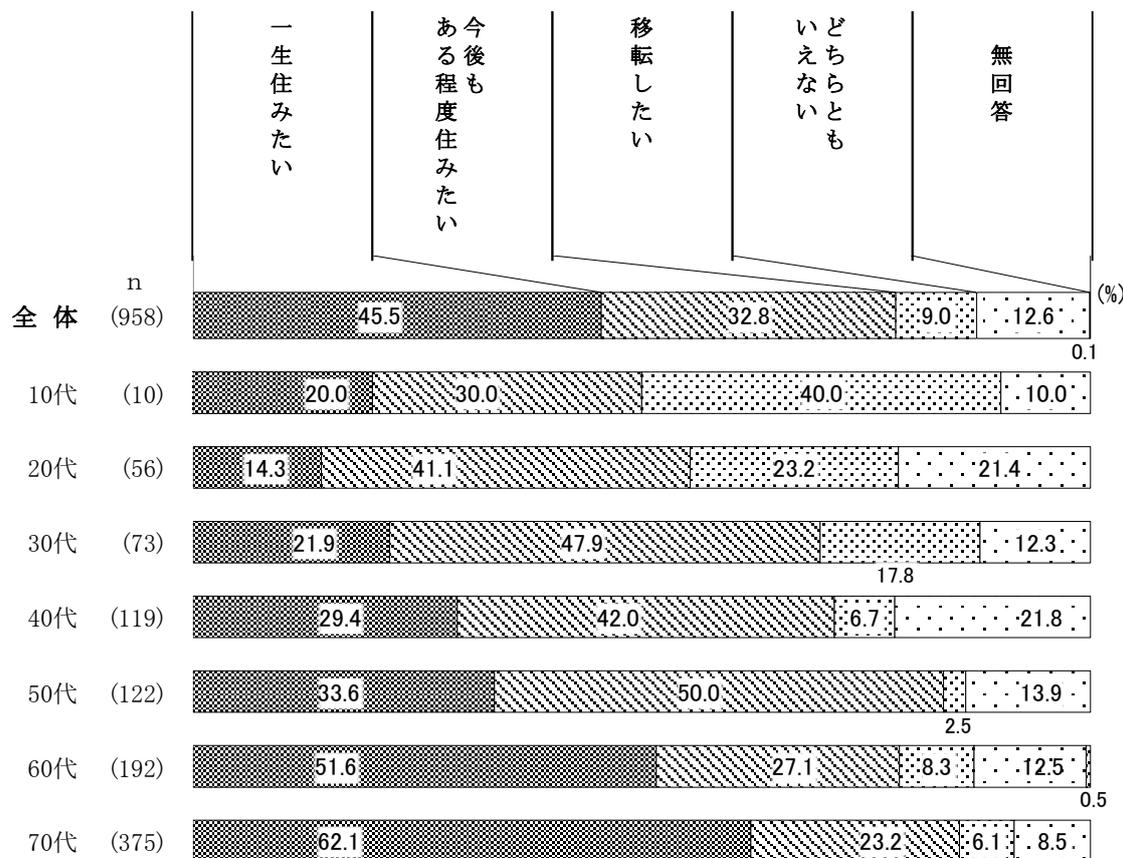
今後の嵐山町の居住継続意向について聞いたところ、「一生住みたい」が45.5%と最も高く、次いで「今後もある程度は住みたい」32.8%、「移転したい」9%、「どちらともいえない」12.6%となっています。

性別でみると、「一生住みたい」との回答は、男性のほうが女性よりも10.9ポイント高くなっています。

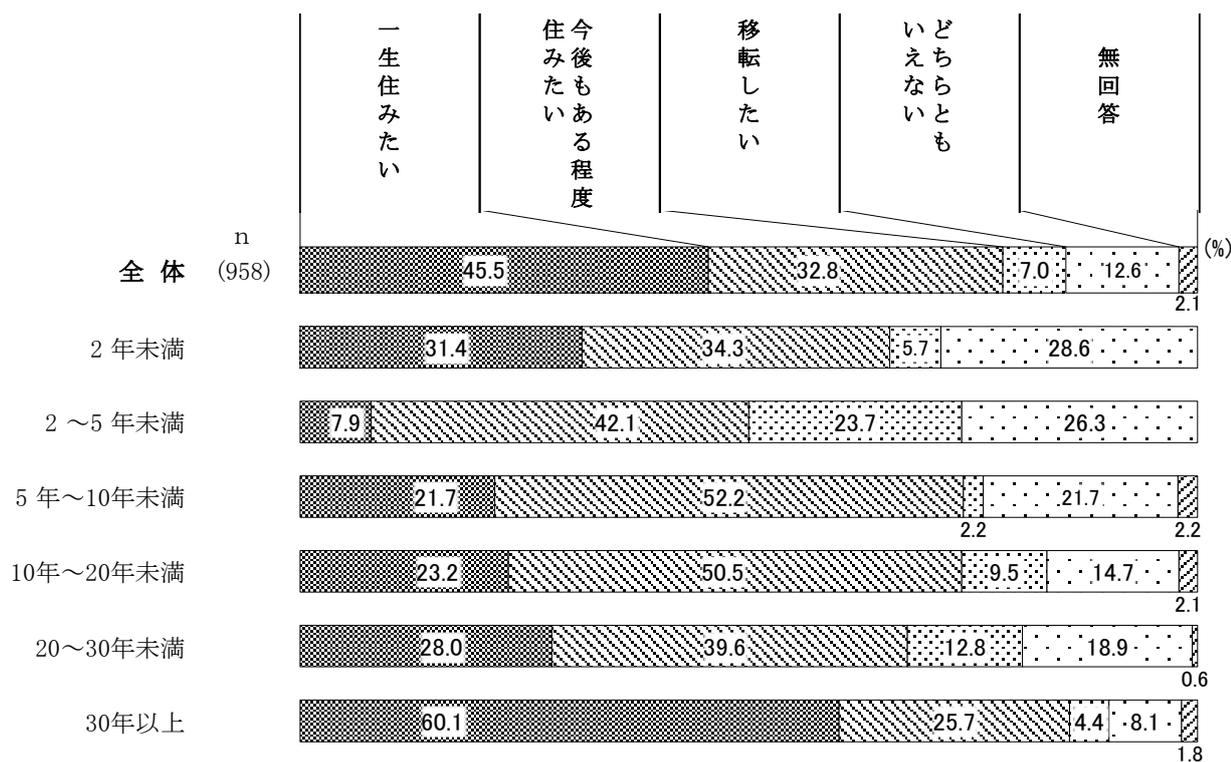
年齢別でみると、「一生住みたい」との回答は、年齢があがるとともに高くなる傾向があり、70代以上で62.1%となっています。

居住年数別でみると、「一生住みたい」との回答は、30年以上で60.1%と他の年数に比べて高くなっています。一方、2～5年未満では、「移転したい」との回答が23.7%と他の年数に比べて高くなっています。

●今後の嵐山町居住意向 【年齢別】



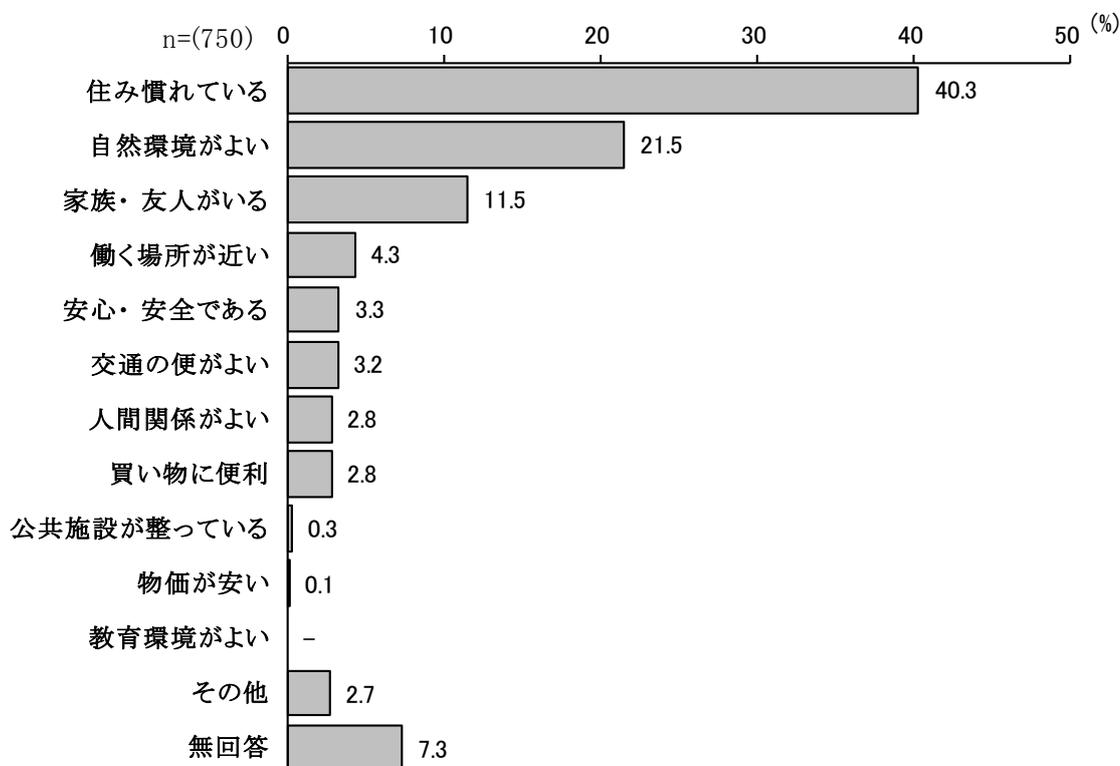
●今後の嵐山町居住意向 【居住年数別】



(3) 住みたいと思う最も大きな理由

問2で「一生住みたい」「今後もある程度住みたい」を選択した方にうかがいます。

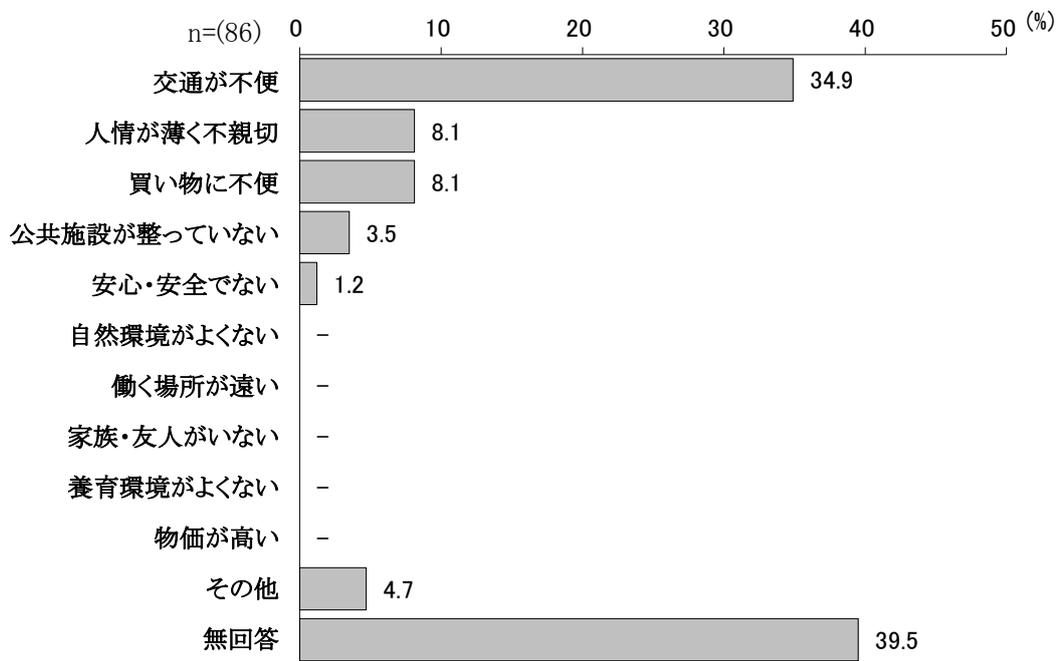
問2-1 住みたいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(1つに○)



嵐山町に「一生住みたい」「今後もある程度住みたい」と回答した方に、その最も大きな理由を聞いたところ、「住み慣れている」が40.3%と最も高く、次いで「自然環境がよい」21.5%、「家族・友人がいる」11.5%となっています。

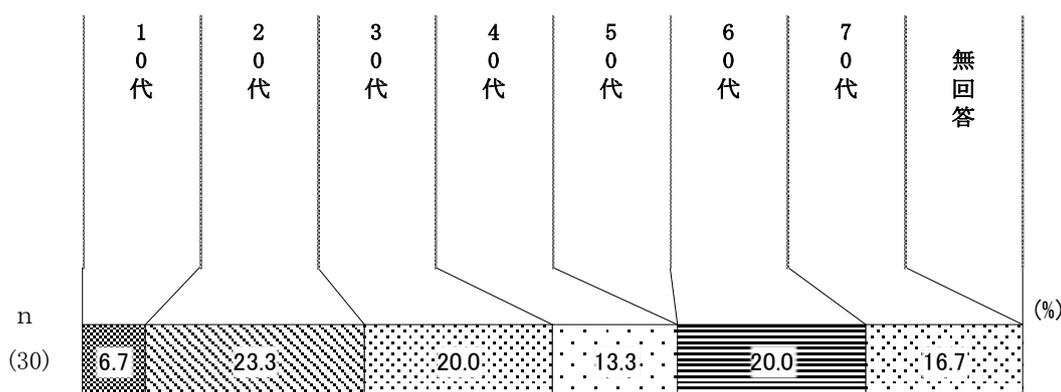
(4) 移転したいと思う最も大きな理由

問2で「移転したい」を選択した方にうかがいます。
 問2-2 移転したいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(1つに○)



嵐山町から「移転したい」と回答した方に、その最も大きな理由を聞いたところ、「交通が不便」が34.9%と最も高く、次いで「人情が薄く不親切」「買い物に不便」が共に8.1%、となっています。

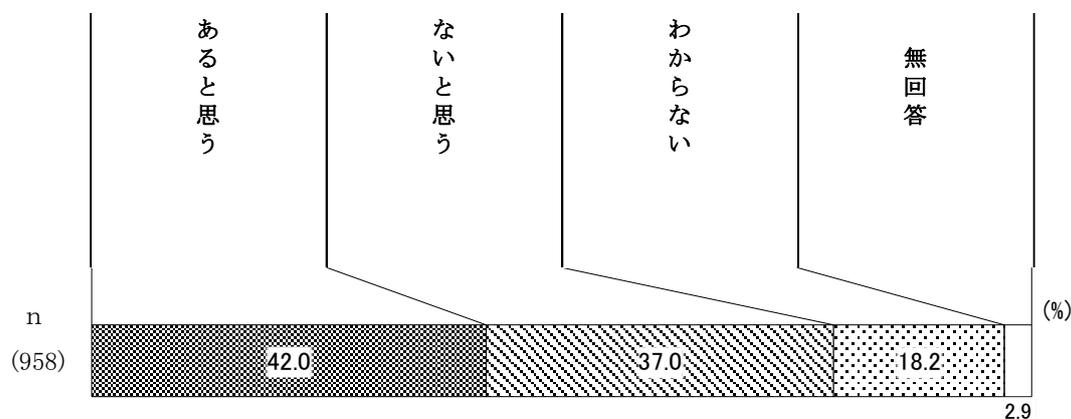
● 「(4) 移転したいと思う最も大きな理由」「交通が不便」と回答頂いた方の【年齢別集計】



「移転したいと思う最も大きな理由」について「交通が不便」と回答した方を年齢別で見ると、「20代」が23.3%と最も高く、次いで「30代」「60代」が共に20.0%、「70代」が16.7%、「40代」が13.3%、「10代」が6.7%となっています。

(5) 普段の生活のなかで感じている問題

問3 普段の生活のなかで感じている問題がありますか。(1つに○)

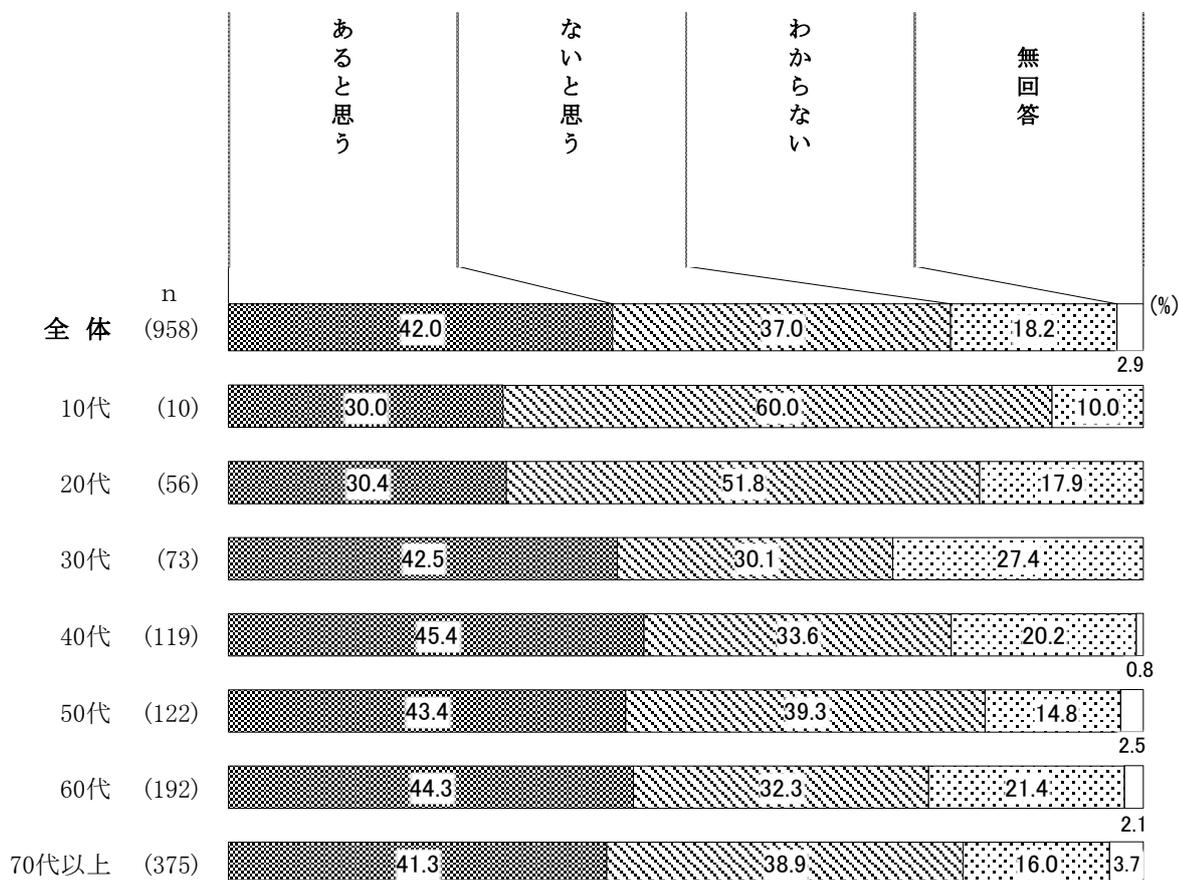


普段の生活のなかで感じる問題について聞いたところ、「あると思う」が42.0%、「ないと思う」が37.0%となっています。

年齢別でみると、「あると思う」との回答は、30代以上で4割を超えています。

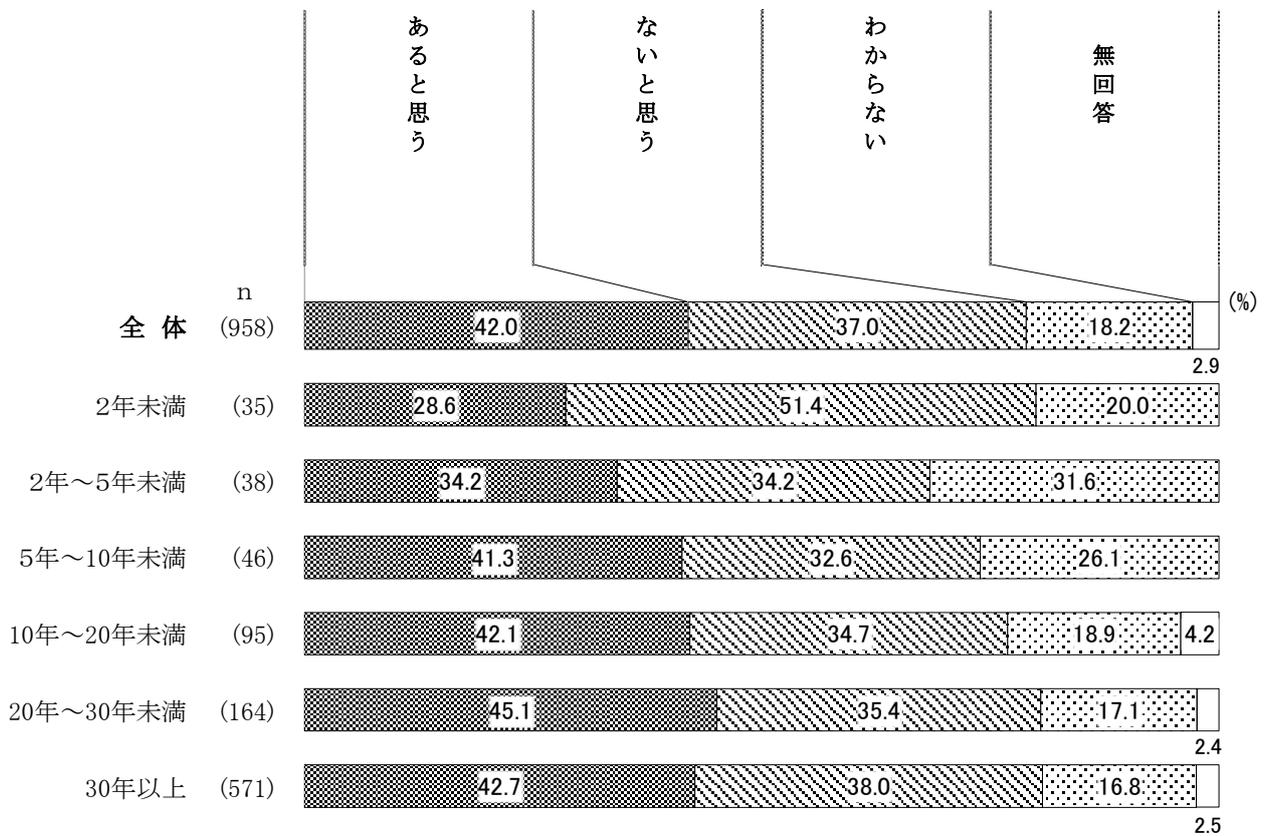
居住年数別でみると、「あると思う」との回答は、10年～20年未満で40.0%と最も高くなっています。

● 普段の生活のなかで感じている問題 【年齢別】



第2章 調査結果の詳細

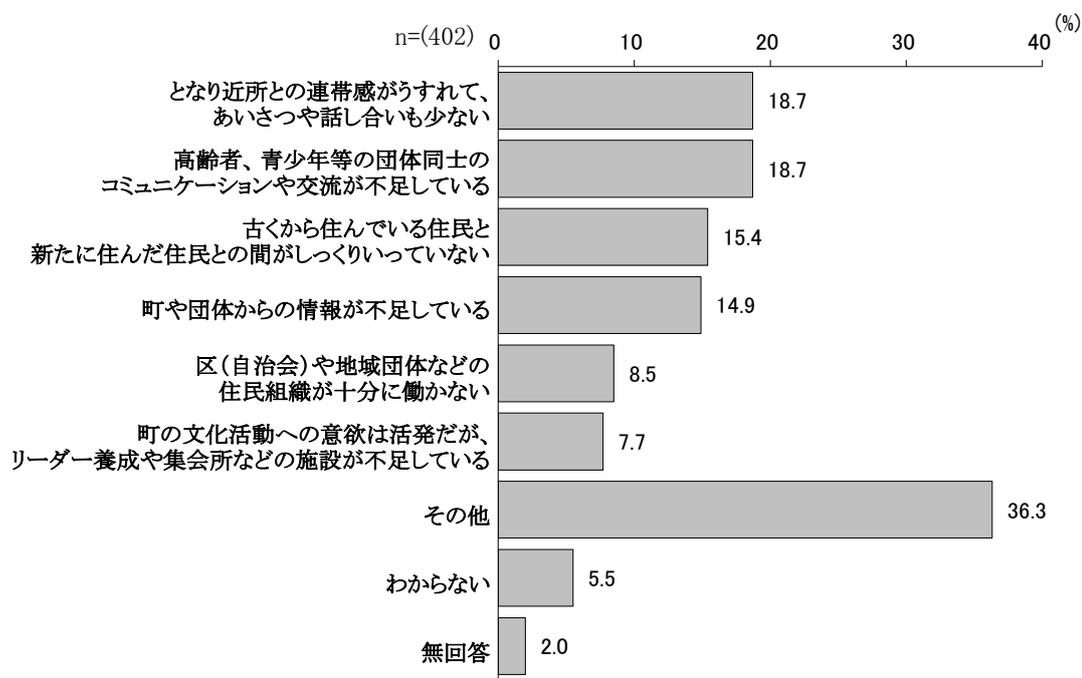
● 普段の生活のなかで感じている問題 【居住年数別】



(6) 問題の内容

問3で「あると思う」を選択した方にうかがいます。

問3-1 それはどんな問題だと思いますか。(○は2つまで)



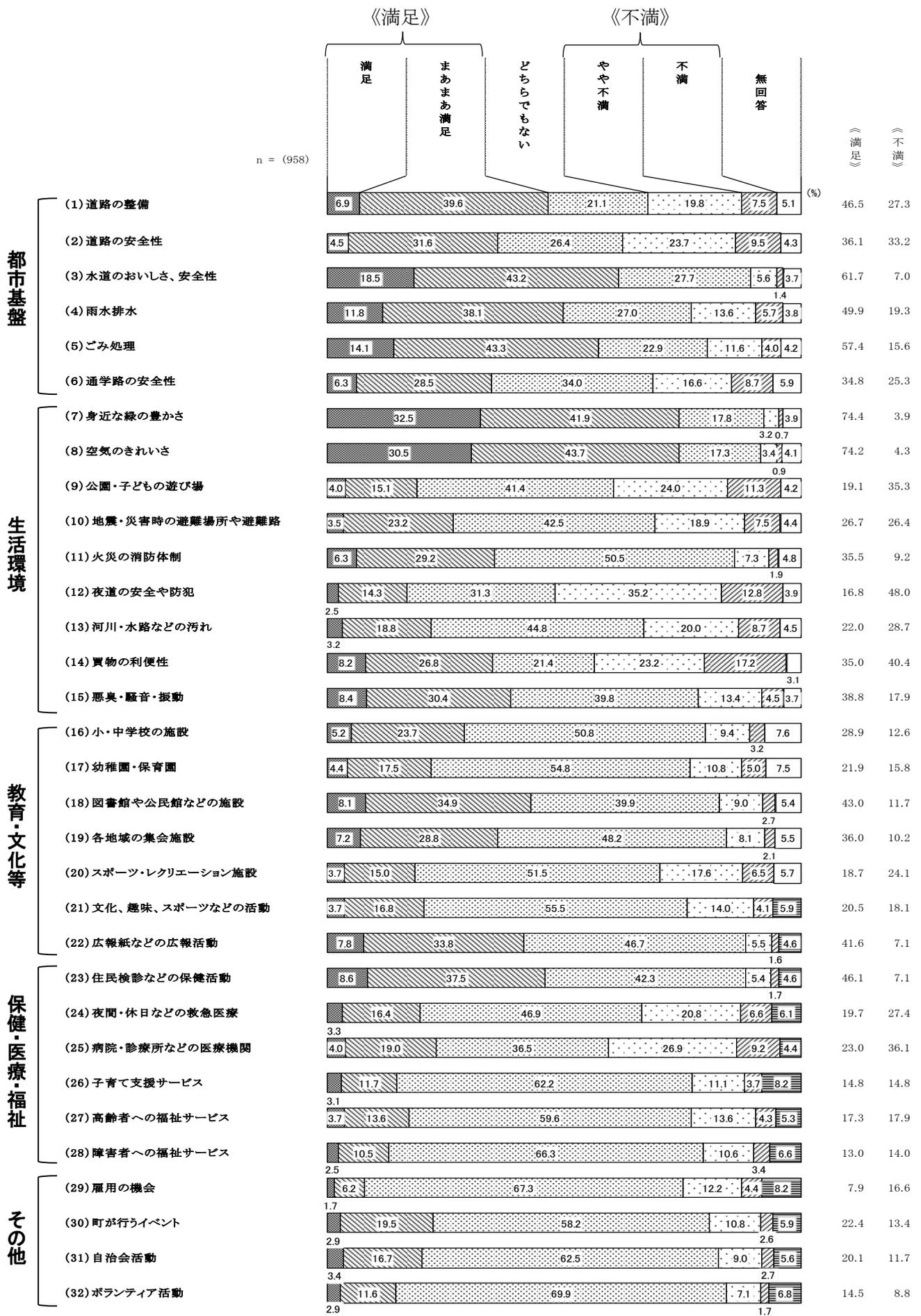
普段の生活で「問題がある」と回答した方に、その問題を聞いたところ、「となり近所との連帯感がうすれて、あいさつや話し合いも少ない」「高齢者、青少年等の団体同士のコミュニケーションや交流が不足している」が共に18.7%と最も高く、次いで、「古くから住んでいる住民と新たに住んだ住民との間がしっくりいっていない」15.4%となっています。

(7) 地域環境の満足度

問4 あなたが住んでいる地域の環境をどのように感じていますか。(1)～(32)それぞれの項目について、あてはまるもの(満足～不満)を1つ選んでください。

(%)

	満足	まあまあ満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
都市基盤						
(1) 道路の整備	6.9	39.6	21.1	19.8	7.5	5.1
(2) 道路の安全性	4.5	31.6	26.4	23.7	9.5	4.3
(3) 水道のおいしさ、安全性	18.5	43.2	27.7	5.6	1.4	3.7
(4) 雨水排水	11.8	38.1	27.0	13.6	5.7	3.8
(5) ごみ処理	14.1	43.3	22.9	11.6	4.0	4.2
(6) 通学路の安全性	6.3	28.5	34.0	16.6	8.7	5.9
生活環境						
(7) 身近な緑の豊かさ	32.5	41.9	17.8	3.2	0.7	3.9
(8) 空気のきれいさ	30.5	43.7	17.3	3.4	0.9	4.1
(9) 公園・子どもの遊び場	4.0	15.1	41.4	24.0	11.3	4.2
(10) 地震・災害時の避難場所や避難路	3.5	23.2	42.5	18.9	7.5	4.4
(11) 火災の消防体制	6.3	29.2	50.5	7.3	1.9	4.8
(12) 夜道の安全や防犯	2.5	14.3	31.3	35.2	12.8	3.9
(13) 河川・水路などの汚れ	3.2	18.8	44.8	20.0	8.7	4.5
(14) 買物の利便性	8.2	26.8	21.4	23.2	17.2	3.1
(15) 悪臭・騒音・振動	8.4	30.4	39.8	13.4	4.5	3.7
教育・文化等						
(16) 小・中学校の施設	5.2	23.7	50.8	9.4	3.2	7.6
(17) 幼稚園・保育園	4.4	17.5	54.8	10.8	5.0	7.5
(18) 図書館や公民館などの施設	8.1	34.9	39.9	9.0	2.7	5.4
(19) 各地域の集会施設	7.2	28.8	48.2	8.1	2.1	5.5
(20) スポーツ・レクリエーション施設	3.7	15.0	51.5	17.6	6.5	5.7
(21) 文化、趣味、スポーツなどの活動	3.7	16.8	55.5	14.0	4.1	5.9
(22) 広報紙などの広報活動	7.8	33.8	46.7	5.5	1.6	4.6
保健・医療・福祉						
(23) 住民検診などの保健活動	8.6	37.5	42.3	5.4	1.7	4.6
(24) 夜間・休日などの救急医療	3.3	16.4	46.9	20.8	6.6	6.1
(25) 病院・診療所などの医療機関	4.0	19.0	36.5	26.9	9.2	4.4
(26) 子育て支援サービス	3.1	11.7	62.2	11.1	3.7	8.2
(27) 高齢者への福祉サービス	3.7	13.6	59.6	13.6	4.3	5.3
(28) 障害者への福祉サービス	2.5	10.5	66.3	10.6	3.4	6.6
その他						
(29) 雇用の機会	1.7	6.2	67.3	12.2	4.4	8.2
(30) 町が行うイベント	2.9	19.5	58.2	10.8	2.6	5.9
(31) 自治会活動	3.4	16.7	62.5	9.0	2.7	5.6
(32) ボランティア活動	2.9	11.6	69.9	7.1	1.7	6.8



第2章 調査結果の詳細

あなたが住んでいる地域の環境について、《満足》（「満足」「まあまあ満足」の合計）と《不満》（「やや不満」「不満」の合計）が高いものを全体、分野ごとにそれぞれ整理しました。

全体(1)～(32)項目のうち、《満足》の割合は、「身近な緑の豊かさ」が74.4%、「空気のきれいさ」が74.2%で高くなっています。一方《不満》の割合は、「夜道の安全や防犯」が48.0%と最も高く、次いで「買い物の利便性」40.4%となっています。

【都市基盤】(1)～(6)項目のうち、《満足》の割合は、「(3)水道のおいしさ、安全性」が61.7%と高く、次いで「(5)ごみ処理」57.4%となっています。一方《不満》の割合は、「(2)道路の安全性」が33.2%と高くなっています。

【生活環境】(7)～(15)項目のうち、《満足》の割合は、「(7)身近な緑の豊かさ」が74.4%、「(8)空気のきれいさ」が74.2%で共に高くなっています。一方《不満》の割合は、「(12)夜道の安全や防犯」が48.0%と最も高く、次いで「(14)買い物の利便性」40.4%、「(9)公園・子供の遊び場」35.3%となっています。

【教育・文化等】(16)～(22)項目のうち、《満足》の割合は、「(18)図書館や公民館などの施設」が43.0%と高く、次いで「(22)広報紙などの広報活動」41.6%となっています。一方《不満》の割合は、「(20)スポーツ・レクリエーション施設」が24.1%と高くなっています。

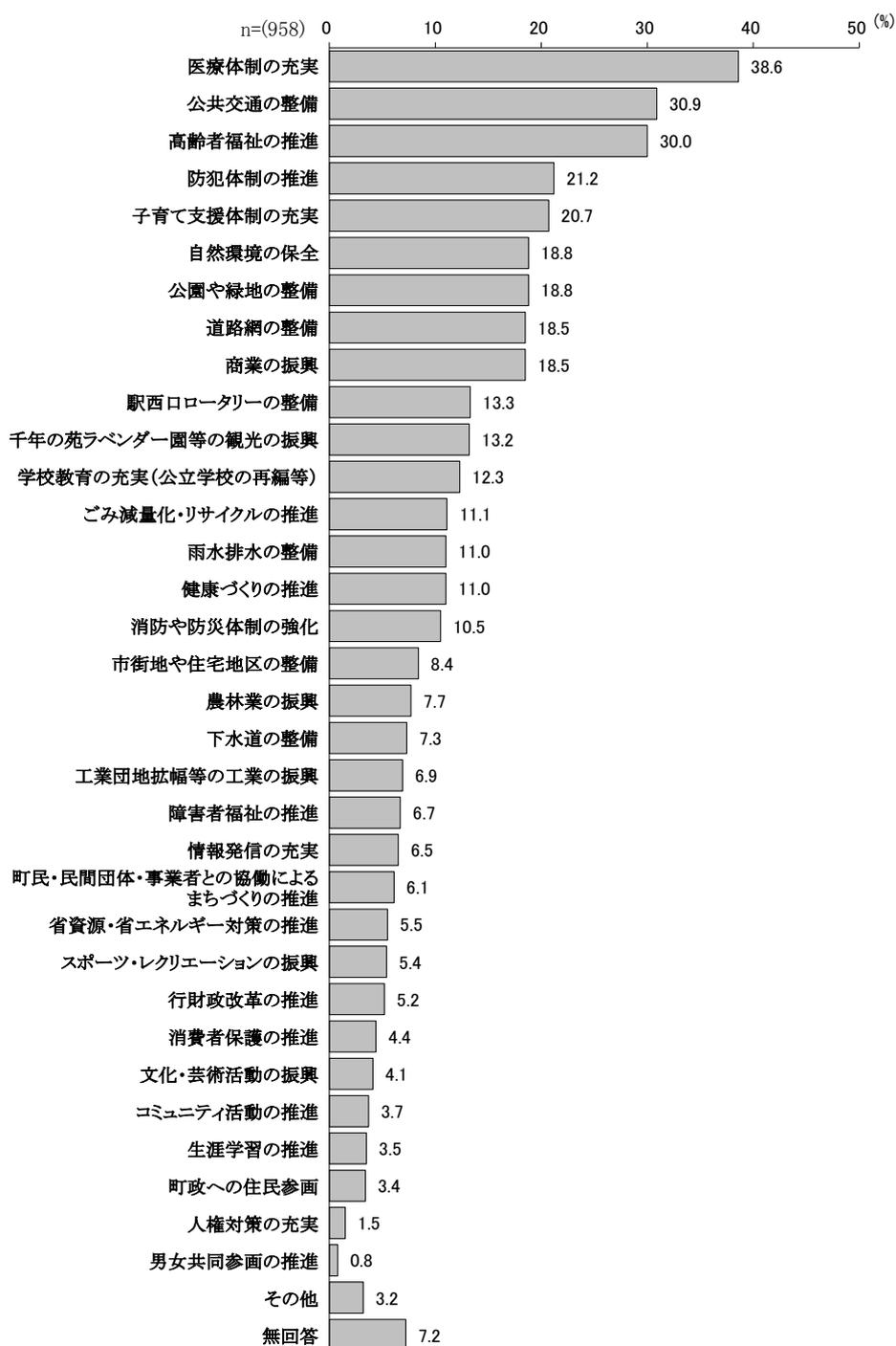
【保健・医療・福祉】(23)～(28)項目のうち、《満足》の割合は、「(23)住民検診などの保健活動」が46.1%と高くなっています。一方《不満》の割合は、「(25)病院・診療所などの医療機関」が36.1%と高くなっています。

【その他】(29)～(32)項目のうち、《満足》の割合は、「(30)町が行うイベント」が22.4%と高く、次いで「(31)自治会活動」20.1%となっています。一方《不満》の割合は、「(29)雇用の機会」が16.6%と高くなっています。

3. 今後のまちづくりにおいて重点的に取り組むべき課題について

(1) これからの嵐山町のまちづくりにおいて重点的に取り組むべきと考える課題

問5 これからの嵐山町のまちづくりにおいて重点的に取り組むべきと考える課題を5つ以内選んで、番号に○をつけてください。



これからの嵐山町のまちづくりにおいて重点的に取り組むべきと考える課題については、上位より「医療体制の充実」38.6%、「公共交通の整備」30.9%、「高齢者福祉の推進」30.0%となっています。年齢別でみると、医療体制の充実は30代で46.6%、50代で45.9%と共に4割を超えています。また、公共交通の整備は60代で34.9%と最も高くなっています。

第2章 調査結果の詳細

●これからの嵐山町のまちづくりにおいて重点的に取り組むべきと考える課題 【年齢別】

(上段：%、下段：人)

	調査数	道路網の整備	公共交通の整備	雨水排水の整備	下水道の整備	市街地や住宅地の整備	ごみ減量化・リサイクルの推進	省資源・省土不 ルギー対策の推 進	自然環境の保全
全体	100.0 958	18.5 177	30.9 296	11.0 105	7.3 70	8.4 80	11.1 106	5.5 53	18.8 180
10代	100.0 10	20.0 2	30.0 3	- -	- -	- -	- -	10.0 1	20.0 2
20代	100.0 56	23.2 13	30.4 17	7.1 4	5.4 3	12.5 7	3.6 2	- -	21.4 12
30代	100.0 73	17.8 13	24.7 18	4.1 3	2.7 2	11.0 8	5.5 4	1.4 1	11.0 8
40代	100.0 119	9.2 11	26.9 32	10.9 13	8.4 10	12.6 15	10.1 12	5.0 6	10.9 13
50代	100.0 122	17.2 21	33.6 41	13.1 16	9.0 11	8.2 10	12.3 15	7.4 9	18.9 23
60代	100.0 192	21.4 41	34.9 67	8.9 17	7.3 14	6.8 13	13.0 25	11.5 22	20.8 40
70代	100.0 375	19.7 74	29.9 112	13.9 52	8.0 30	6.7 25	12.8 48	3.5 13	21.9 82

	備 公園や緑地の整	の強化 消防や防災体制	防犯体制の推進	商業の振興	農林業の振興	工業団地拡幅 等の工業の振興	千年の苑ラベン ダー園等の観光 の振興	編等) 学校教育の充実 (公立学校の再	子育て支援体制 の充実
全体	18.8 180	10.5 101	21.2 203	18.5 177	7.7 74	6.9 66	13.2 126	12.3 118	20.7 198
10代	20.0 2	- -	10.0 1	20.0 2	- -	- -	20.0 2	10.0 1	10.0 1
20代	33.9 19	7.1 4	26.8 15	14.3 8	5.4 3	3.6 2	23.2 13	8.9 5	30.4 17
30代	39.7 29	8.2 6	17.8 13	28.8 21	4.1 3	4.1 3	9.6 7	27.4 20	47.9 35
40代	28.6 34	10.1 12	32.8 39	23.5 28	6.7 8	5.9 7	7.6 9	26.1 31	37.8 45
50代	13.1 16	8.2 10	28.7 35	15.6 19	4.1 5	9.0 11	14.8 18	9.8 12	22.1 27
60代	12.5 24	10.9 21	16.7 32	17.7 34	9.9 19	6.3 12	9.9 19	11.5 22	15.1 29
70代	14.7 55	12.3 46	17.9 67	17.1 64	9.3 35	8.0 30	14.7 55	6.7 25	11.2 42

(上段：%、下段：人)

	健康づくりの推進	医療体制の充実	高齢者福祉の推進	障害者福祉の推進	生涯学習の推進	スポーツ・レクリエーションの振興	文化・芸術活動の振興	コミュニティ活動の推進	男女共同参画の推進
全体	11.0 105	38.6 370	30.0 287	6.7 64	3.5 34	5.4 52	4.1 39	3.7 35	0.8 8
10代	10.0 1	30.0 3	20.0 2	- -	10.0 1	- -	10.0 1	10.0 1	- -
20代	12.5 7	23.2 13	21.4 12	5.4 3	1.8 1	12.5 7	1.8 1	3.6 2	1.8 1
30代	11.0 8	46.6 34	19.2 14	2.7 2	1.4 1	6.8 5	2.7 2	1.4 1	- -
40代	7.6 9	39.5 47	16.8 20	10.9 13	2.5 3	5.9 7	3.4 4	2.5 3	1.7 2
50代	11.5 14	45.9 56	33.6 41	9.8 12	4.1 5	7.4 9	6.6 8	4.9 6	1.6 2
60代	14.1 27	34.4 66	32.8 63	4.2 8	6.3 12	4.7 9	4.2 8	5.2 10	0.5 1
70代	9.9 37	38.9 146	34.4 129	6.9 26	2.9 11	3.7 14	3.5 13	3.2 12	0.5 2

	人権対策の充実	消費者保護の推進	町政への住民参画	行財政改革の推進	町民・民間団体・事業者との協働によるまちづくりの推進	駅西口ロータリーの整備	情報発信の充実	その他	無回答
全体	1.5 14	4.4 42	3.4 33	5.2 50	6.1 58	13.3 127	6.5 62	3.2 31	7.2 69
10代	10.0 1	- -	- -	- -	- -	10.0 1	- -	- -	10.0 1
20代	1.8 1	7.1 4	- -	- -	- -	17.9 10	5.4 3	5.4 3	- -
30代	2.7 2	2.7 2	1.4 1	4.1 3	4.1 3	19.2 14	5.5 4	2.7 2	4.1 3
40代	3.4 4	2.5 3	1.7 2	2.5 3	1.7 2	10.9 13	6.7 8	6.7 8	1.7 2
50代	0.8 1	3.3 4	3.3 4	2.5 3	5.7 7	18.9 23	7.4 9	2.5 3	3.3 4
60代	0.5 1	4.2 8	6.3 12	8.9 17	10.9 21	10.9 21	8.9 17	2.1 4	8.9 17
70代	1.1 4	5.6 21	3.7 14	6.1 23	6.4 24	11.2 42	5.6 21	2.9 11	10.9 41

●「これからの嵐山町のまちづくりにおいて重点的に取り組むべきと考える課題」

【年代別上位3件】

順位 年代	1位	2位	3位
10代 (10件)	公共交通の整備、医療体制の充実 3件 (30.0%)		往路網の整備 自然環境の保全 公園や緑地の整備 商業の振興 千年の苑ラベンダー園等 の観光の振興 高齢者福祉の推進 2件 (20.0%)
20代 (56件)	公園や緑地の整備 19件 (33.9%)	公共交通の整備、子育て支援体制の充実 17件 (30.4%)	
30代 (73件)	子育て支援体制の充実 35件 (47.9%)	医療体制の充実 34件 (46.6%)	公園や緑地の整備 29件 (39.7%)
40代 (119件)	医療体制の充実 47件 (39.5%)	子育て支援体制の充実 45件 (37.8%)	防犯体制の推進 39件 (32.8%)
50代 (122件)	医療体制の充実 56件 (45.9%)	公共交通の整備、高齢者福祉の推進 41件 (33.6%)	
60代 (192件)	公共交通の整備 67件 (34.9%)	医療体制の充実 66件 (34.4%)	高齢者福祉の推進 63件 (32.8%)
70代 (375件)	医療体制の充実 146件 (38.9%)	高齢者福祉の推進 129件 (34.4%)	公共交通の整備 112件 (29.9%)

「これからの嵐山町のまちづくりにおいて重点的に取り組むべきと考える課題」について、年代別で見ると、20代は「公園や緑地の整備」、30代は「子育て支援体制の充実」がそれぞれ第1位になっています。40代以上は60代を除く年代で「医療体制の充実」が第1位となっています。また、60代共に30代で「医療体制の充実」は第2位となっています。

(2) これからの嵐山町のまちづくりについての意見・要望

嵐山町の今後のまちづくりについて、意見・要望等がありましたらご自由にお書きください。

嵐山町の今後のまちづくりについて意見やご要望を記入していただいたところ、269人の方からご意見をいただきました。分類した意見の主な内容は以下のとおりです。

	件数
観光事業の充実	39
道路・歩道の整備	39
子ども施策の充実	31
交通機関の充実	28
嵐山駅前の開発	23
人を呼び込む街づくり	18
公園の整備	16
商業施設の誘致	16
災害対策	14
イベント・行事	12
医療施設整備	11
公共施設整備	9
高齢者施策の充実	9
空き家対策	6
ごみ対策	6
情報伝達	6
自然環境の整備	6
その他	28
合計	317

観光事業の充実（39件）

- ラベンダー園は、一年を通じての観光を考えるべき。新しい観光施設を始めるときは、もっと、町民の意見を取り入れてからの方が良いと思う。
- 観光地に、おいしい食事処があると、人々は寄って来ると思います（観光バスが寄り易い広々とした駐車場の有る）。山林を開発して、アスレチック他も良いと思います。親子で遊べて、家族連れも増えます。
- 川本サングリーンパークや農林公園（江南公園）、熊谷総合運動場、ぐんまこどもの国、華蔵寺公園、ルナパーク等、スポーツ、遊具、公園、ピクニック、自然と色々な事が出来て、人が集まる、行きたくなる所が、嵐山町にも必要なのではと思います。
- ラベンダー園の見直し。

第2章 調査結果の詳細

道路・歩道の整備（39件）

- 通学路の安全確保。
- 新しくできた道に、バックミラーがないので、点検して回り、あぶない所にはつけてほしい。
- 舗装道路を再舗装して下さい。
- 家の前の道路が補修されていない為、トラックが通るたびにうるさい。夜間とわず。

子ども施策の充実（31件）

- 子どもができたら、「埼玉の嵐山町に住みたい」と思うような、子どもの成長、教育に特化している町づくりをして欲しい。子どもは宝です。
- 子どもの医療費を18才まで無料にしてほしいです。嵐山幼稚園が3年保育になったら、とても良いと思います。
- 子ども達が遊べる公園に遊具が少なすぎる。幼稚園の3年保育を考えてほしい。学校の登下校が、大変な地域もあると思うので、スクールバス等考えてほしい。

交通機関の充実（28件）

- 高齢者の免許返納などによる買い物、通院問題など、公共の交通手段が整備されないと、廃れた町となる。
- 公共の便が悪い。車がない人、高齢者は困ります。
- 公共施設への循環バスを多く出してほしいです。

嵐山駅前の開発（23件）

- 駅前に、コンビニが無くお店がありません。スーパーも駅の近くには無いのがこまります。
- 西口に駐輪場が欲しいです（違法駐輪が増えてしまう）。高齢者が多いので、駅に、エスカレーターがあると良いです。

人を呼び込む街づくり（18件）

- 町の人口増につながる施策を講じることに、重点を置くべき。若年層が住むのに、魅力を感じる町づくりに期待したい。
- 若者たちの働く場所の充実に向けて、雇用の拡大。

公園の整備（16件）

- 公園の維持、管理の充実を。
- 町内に、小さな公園はいくつかありますが、大きな遊具（アスレチック的な）と駐車場があるしっかりした公園があると、便利だなと思います。

商業施設の誘致（16件）

- お店が欲しい。
- 人の流れを作る様な施設（商業施設等の誘致、商店街の推進等）があれば良いと思う。

災害対策（14件）

- 災害時の避難場所である小中学校や公民館、集会所等の強化や充実を目的とした改築、補強、リフォームの実施。上記同様に防災拠点である役場の近くに、消防署の配置やケガ人が出たときのための医療施設、さらに、自衛隊のヘリが使用できる位のヘリポートの設置。
- 地震、台風等の災害時、避難状況になった場合、地域住民（特にアパート、貸家）の避難場所の認識を、徹底しておく必要を感じます。

イベント・行事（12件）

- 少子高齢化の中であって、今までの行事、全てを実施して行くには無理がある。全ての行事（祭等）を洗い出して、統廃合をして行くべきと思う。

医療施設整備（11件）

- 武蔵嵐山病院も移転し、町内に病院が少ないと感じる。

公共施設整備（9件）

- 公共設備拡充により、文化、スポーツ活動の振興。

高齢者施策の充実（9件）

- 高齢者が、家に閉じこもらず参加できる講座、サークル（例えば、書道、高齢者麻雀、編み物、英会話、スマホ教室等）を行って欲しい。※無料、低額で参加できるもの。健康づくりで、病気別（食育、カロリー制限、食事制限等）、食事のあり方を教えて欲しい（指導をお願いしたい）。

空き家対策（6件）

- 特に、平澤2区に空き家が多く心配です。

ごみ対策（6件）

- ゴミステーションが遠い。

情報伝達（6件）

- 町内放送が聞きづらいので、聞ける様にしてほしい。

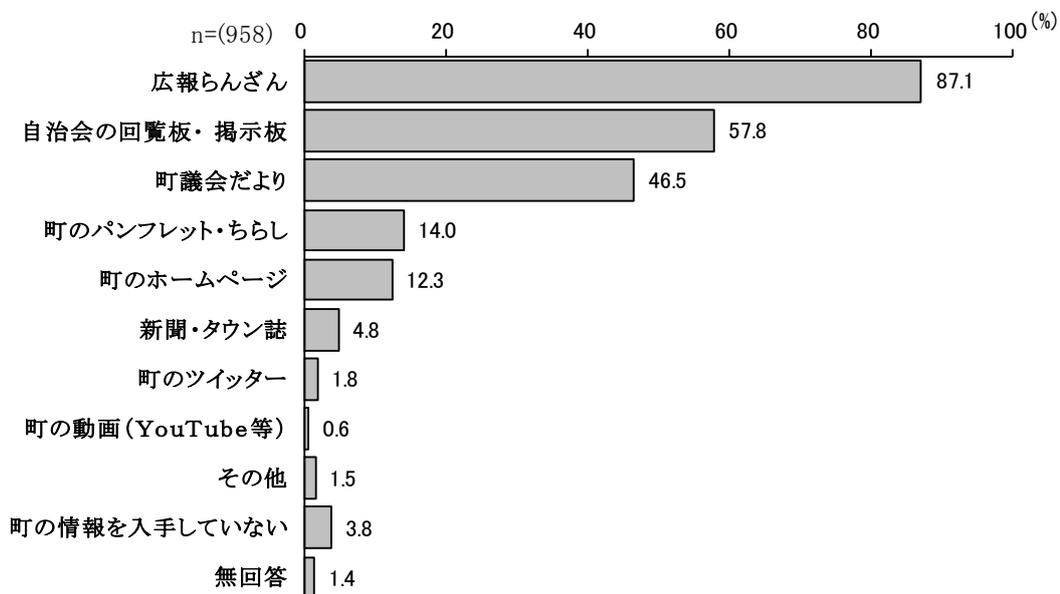
自然環境の整備（6件）

- 放置された雑木林をなんとかして欲しい。タヌキが住みついている様です。最近、イノシシの子も姿を見ました。持ち主に連絡をとり、下刈りをして欲しいです。

4. 町政とのかかわりについて

(1) 嵐山町が発信している情報の入手方法

問6 あなたは、嵐山町が発信している情報をどのような方法で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)



嵐山町が発信している情報の入手方法について聞いたところ、「広報らんざん」が87.1%で最も高く、次いで「自治会の回覧板・掲示板」57.8%、「町議会だより」46.5%となっています。

年齢別でみると、「広報らんざん」との回答は、30代以上で8割を超えます。また、「自治会の回覧板・掲示板」は、50代以上で6割を超えています。

●嵐山町が発信している情報の入手方法 【年齢別】

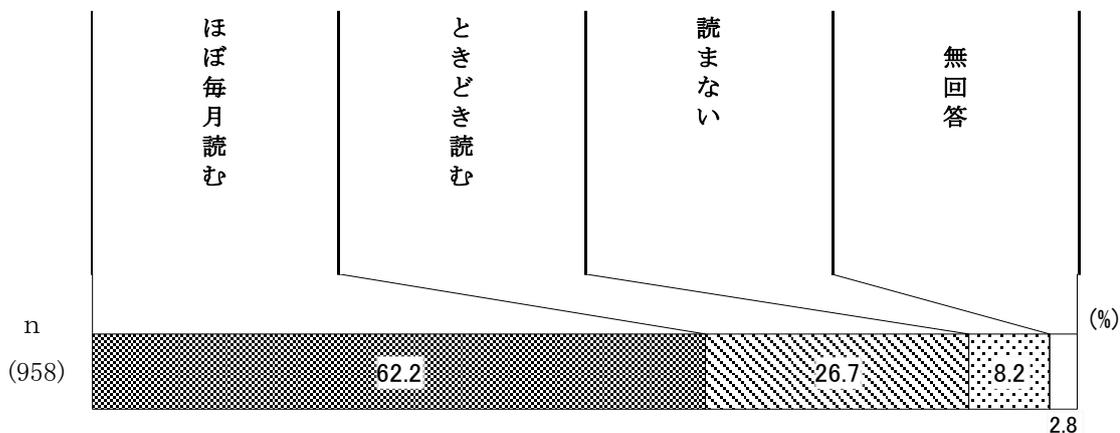
(上段：%、下段：人)

	調査数	広報らんざん	自治会の 回覧板・掲示板	町会議だより	町のパンフレット・ちらし	新聞・タウン誌
全体	100.0 958	87.1 834	57.8 554	46.5 445	14.0 134	4.8 46
10代	100.0 10	60.0 6	- -	- -	- -	- -
20代	100.0 56	66.1 37	19.6 11	3.6 2	7.1 4	- -
30代	100.0 73	80.8 59	39.7 29	28.8 21	6.8 5	1.4 1
40代	100.0 119	88.2 105	54.6 65	35.3 42	5.9 7	5.0 6
50代	100.0 122	87.7 107	67.2 82	47.5 58	8.2 10	2.5 3
60代	100.0 192	89.1 171	63.0 121	56.8 109	15.6 30	5.7 11
70代	100.0 375	90.7 340	64.5 242	54.7 205	20.3 76	6.7 25

	町のホームページ	町のツイッター	町の動画 (YouTube等)	町の情報を入手 していない	その他	無回答
全体	12.3 118	1.8 17	0.6 6	1.5 14	3.8 36	1.4 13
10代	20.0 2	- -	- -	- -	40.0 4	- -
20代	10.7 6	1.8 1	- -	- -	21.4 12	- -
30代	20.5 15	2.7 2	1.4 1	- -	6.8 5	- -
40代	18.5 22	5.0 6	- -	3.4 4	2.5 3	- -
50代	19.7 24	0.8 1	0.8 1	2.5 3	3.3 4	- -
60代	12.5 24	2.1 4	0.5 1	0.5 1	1.0 2	1.6 3
70代	5.9 22	0.8 3	0.8 3	1.6 6	1.6 6	2.7 10

(2) 広報らんざんを読む頻度

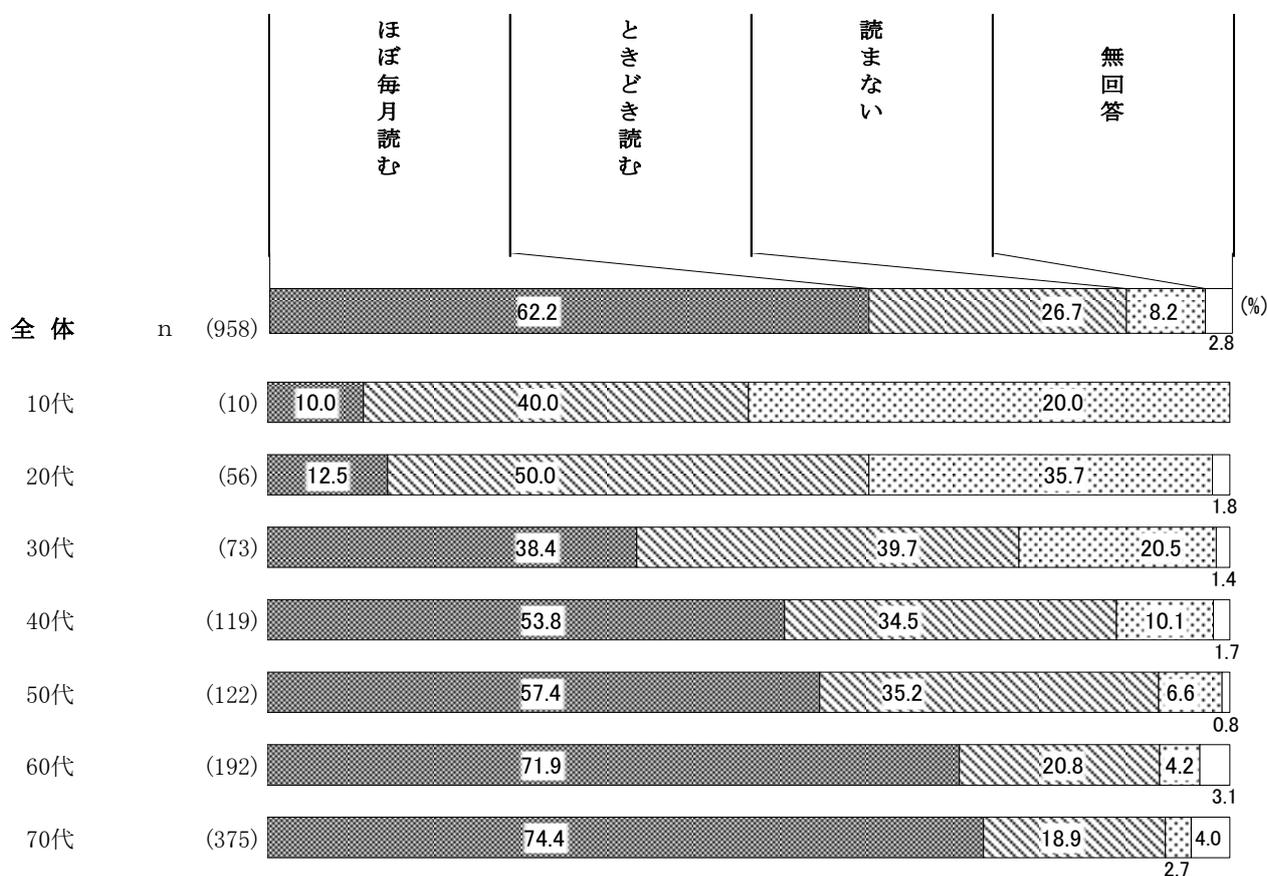
問7 あなたは広報らんざんを読みますか。その頻度も教えてください。(1つに○)



広報らんざんを読む頻度について聞いたところ、読む頻度は「ほぼ毎月読む」が62.2%と最も高く、次いで「ときどき読む」26.7%となっています。

年齢別でみると、「ほぼ毎月読む」との回答は、年齢があがるほどその割合も高くなる傾向があり、70代以上で74.4%となっています。

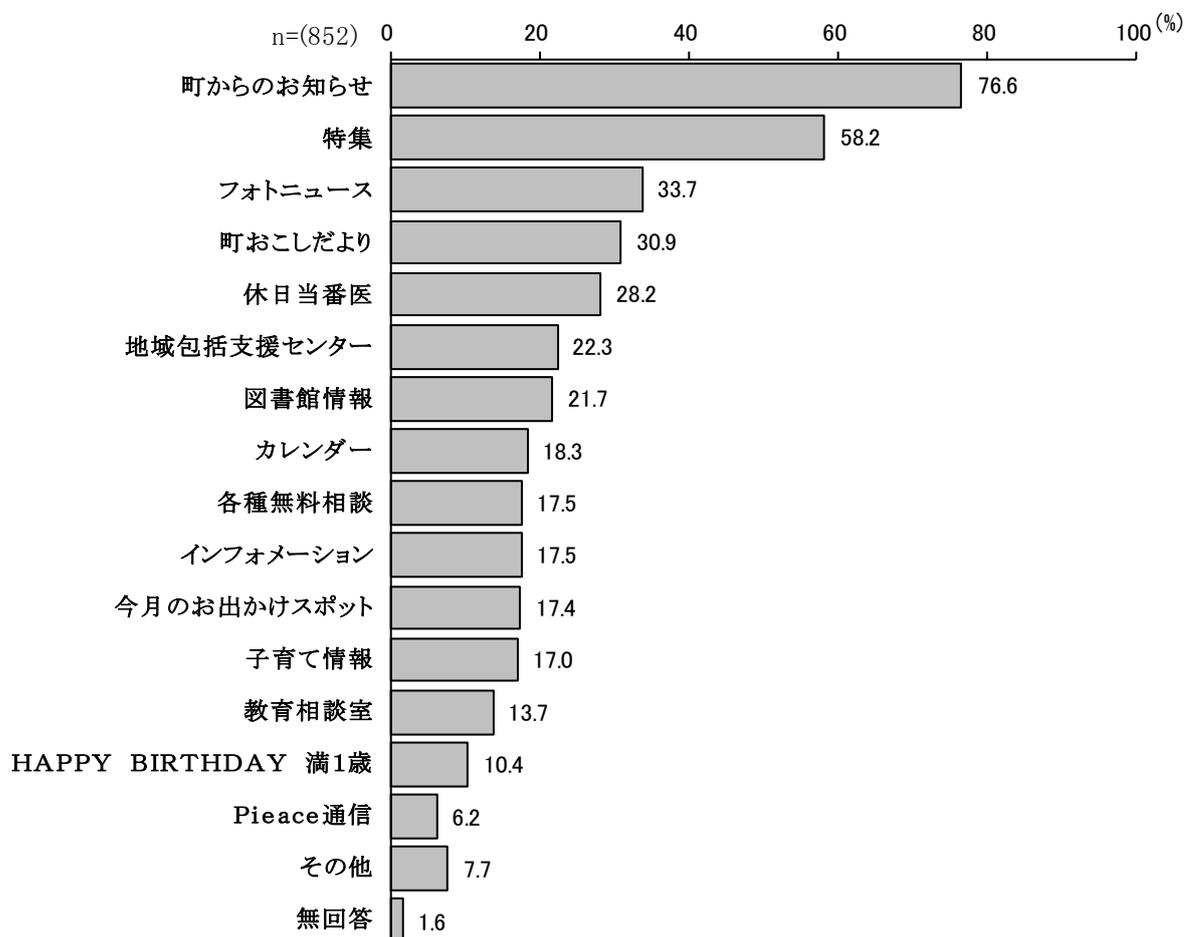
● 広報らんざんを読む頻度 【年齢別】



(3) 読むページ

問7で「ほぼ毎月読む」「ときどき読む」を選択した方にうかがいます。

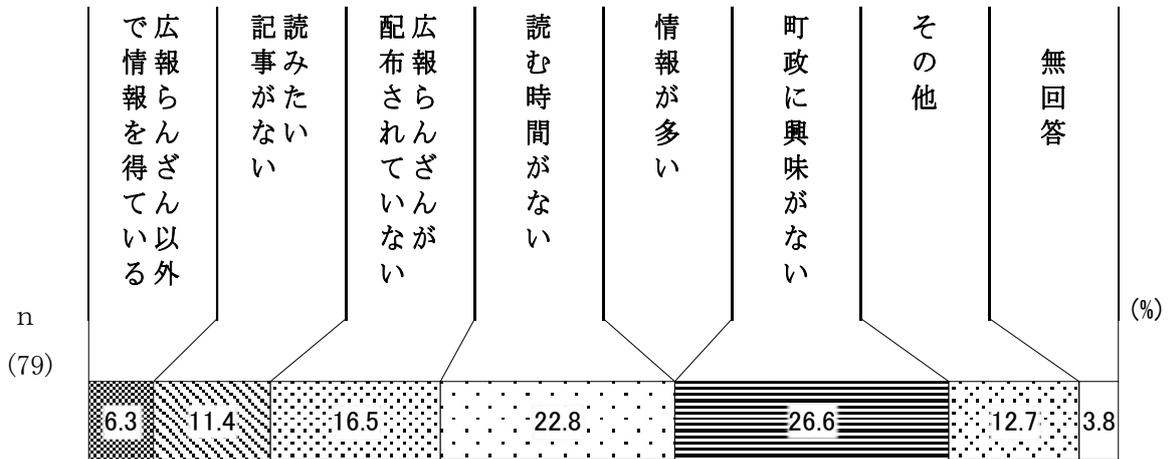
問7-1 どのページを読みますか。(あてはまるものすべてに○)



広報らんざんを「ほぼ毎月読む」「ときどき読む」と回答した方に、読むページを聞いたところ、「町からのお知らせ」が76.6%と最も高く、次いで「特集」58.2%、「フォトニュース」33.7%、「町おこしだより」30.9%、「休日当番医」28.2%となっています。

(4) 読まない最大の理由

問7で「読まない」を選択した方にうかがいます。
 問7-2 読まない最大の理由はなんですか。(1つに○)



広報らんざんを「読まない」と回答した方に、その最大の理由を聞いたところ、「町政に興味がない」が26.6%と最も高く、次いで「読む時間がない」22.8%、「広報らんざんが配布されていない」16.5%となっています。

(5) 嵐山町の広報についての意見・要望

嵐山町の広報について、意見・要望等がありましたらご自由にお書きください。

嵐山町の広報について意見やご要望を記入していただいたところ、129人の方からご意見をいただきました。分類した意見の主な内容は以下のとおりです。

	件数
広報の表紙、タイトルに対する不満	17
地域情報の掲載	17
読みやすくしてほしい	13
以前より読みやすくなった	9
現状のままでよい	9
良く作られている	8
住民の意見を公表する	7
広報の表紙が良くなった	6
防災情報の充実	6
広報に対する感謝	6
掲載情報の見直し	6
広報の廃止、発行部数の削減	5
広報の入手機会の拡大	4
その他	16
合計	129

広報の表紙、タイトルに対する不満（17件）

- 表紙は、どうしてローマ字なの。日本国の嵐山町であることに誇りを持って、漢字にすべきと思う。
- 広報の表紙、RANZANが高齢の方々には、なじみにくいのでは…と思います。

地域情報の掲載（17件）

- イベント等が行われた写真等が載っているが、いつ行われますといった事も載せた方が、イベントも、もっと盛り上がると思う。
- 各地区のコミュニティ活動を紹介しても良いのでは。

読みやすくしてほしい（13件）

- 見づらく、何を伝えたいのか分からないときがある。

第2章 調査結果の詳細

以前より読みやすくなった（9件）

○2019年に、従来の書式から変更になり、すごく読み易くなったと思います。

現状のままでよい（9件）

○今のままで、満足しております。読みやすいです。

良く作られている（8件）

○毎月の取材、編集に努力が感じられる。

住民の意見を公表する（7件）

○もっと、住民の声を聞き、広報に乗せてほしい。

広報の表紙が良くなった（6件）

○最近の広報の表紙は、インパクトがあって良いと思う。

防災情報の充実（6件）

○災害時の各々の避難場所を、もっとひんぱんに詳しく、さらに、危険な場所も載せて欲しい。

広報に対する感謝（6件）

○いつの号も、きめ細かな事が出ておりますので、楽しく読ませていただいています。

掲載情報の見直し（6件）

○定形化し、町民が、情報として欲しい内容がない。

広報の廃止、発行部数の削減（5件）

○希望する人にのみ、配布したら良い。

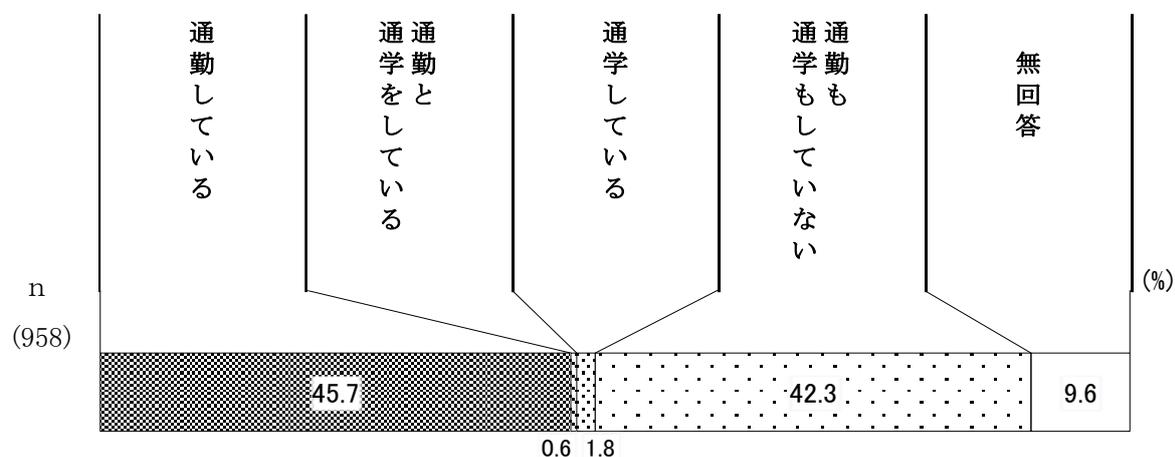
広報の入手機会の拡大（4件）

○月に1回、ポストに入れてほしい。

5. 日常の交通手段等について

(1) 通勤や通学

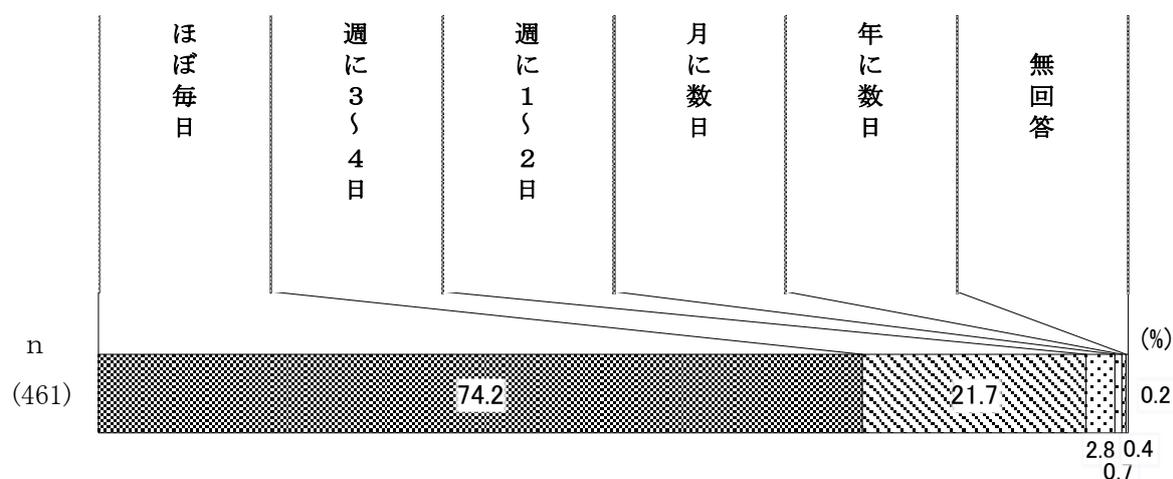
問8 あなたは、通勤や通学をされていますか。(1つに○)



日常の交通手段について聞いたところ、「通勤している」が45.7%、「通勤と通学をしている」が0.6%、「通学している」が1.8%となっています。一方、「通勤も通学もしていない」は42.3%となっています。

(2) 通勤や通学の頻度

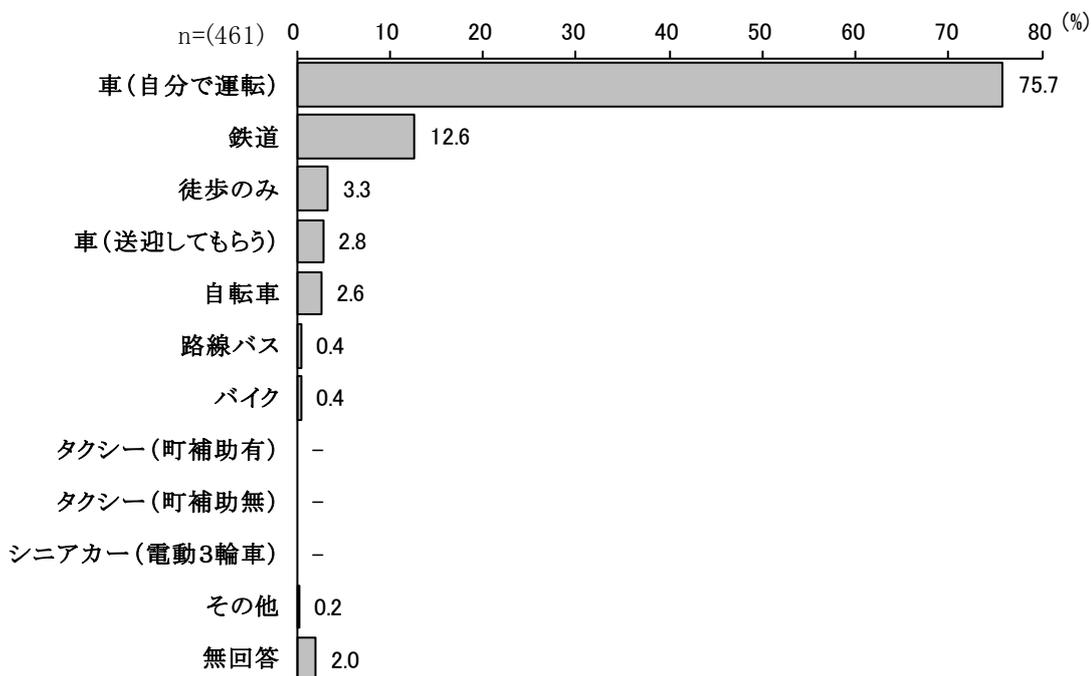
問9 通勤や通学の頻度はどれくらいですか。(1つに○)



通勤や通学している方に、通勤や通学の頻度を聞いたところ、「ほぼ毎日」が74.2%と最も高く、次いで「週に3~4日」21.7%、「週に1~2日」2.8%となっています。

(3) 通勤や通学の主な交通手段

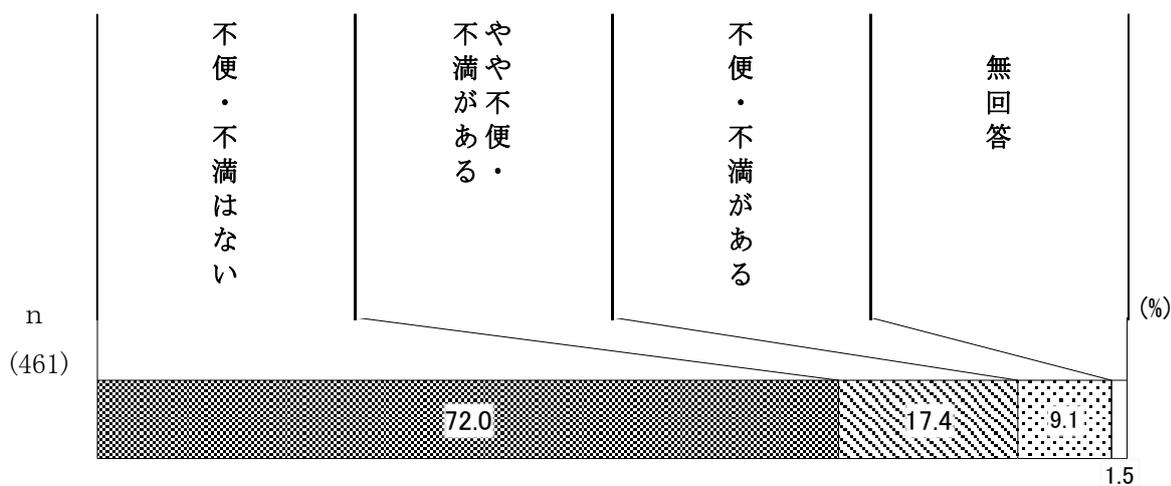
問10 通勤や通学の主な交通手段はどれですか。(1つに○)



日常、通勤や通学している方に、通勤や通学の主な交通手段について聞いたところ、「車（自分で運転）」が75.7%と最も高く、次いで「鉄道」12.6%、「徒歩のみ」3.3%となっています。

(4) 通勤や通学時の交通手段について、不便や不満の有無

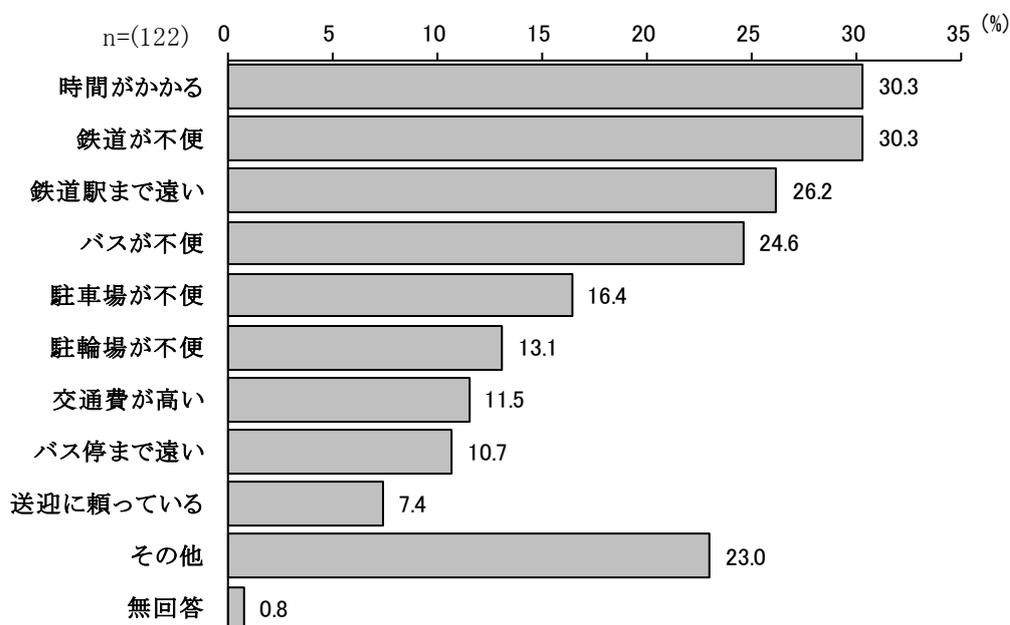
問11 通勤や通学時の交通手段について、不便や不満を感じていますか。(1つに○)



日常通勤や通学している方に、交通手段の不便や不満の有無について聞いたところ、「不便・不満はない」が72.0%と最も高くなっています。一方、「やや不便・不満がある」は17.4%、「不便・不満がある」は9.1%となっています。

(5) 不便・不満の内容

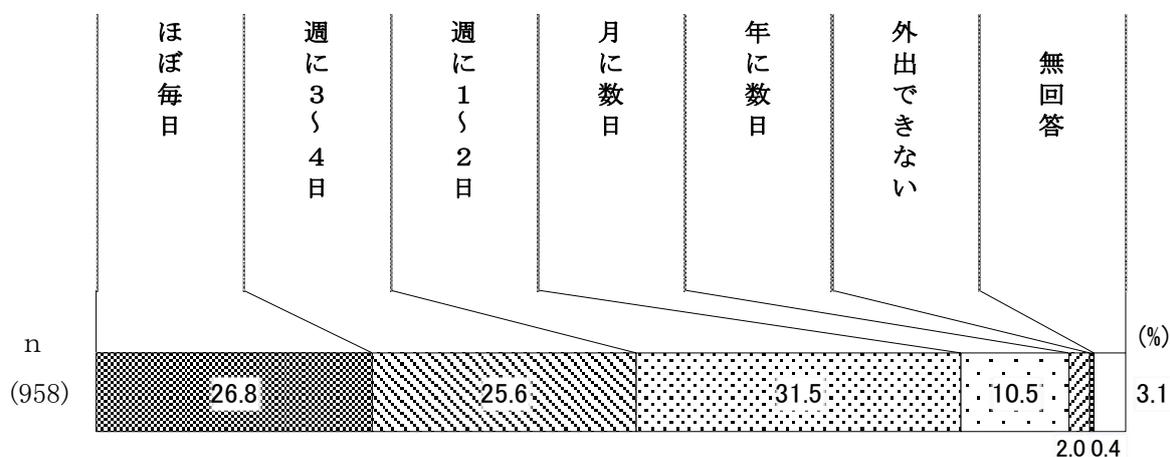
問 11 で「やや不便・不満がある」「不便・不満がある」を選択した方にうかがいます。
 問 11-1 どのようなことが不便・不満ですか。(あてはまるものすべてに○)



通勤や通学等の交通手段に「やや不便・不満がある」「不便・不満がある」を感じている方に、その不便・不満を聞いたところ、「時間がかかる」「鉄道が不便」が共に30.3%と最も高く、次いで「鉄道駅まで遠い」26.2%、「バスが不便」24.6%「駐車場が不便」16.4%となっています。

(6) 普段の外出の頻度

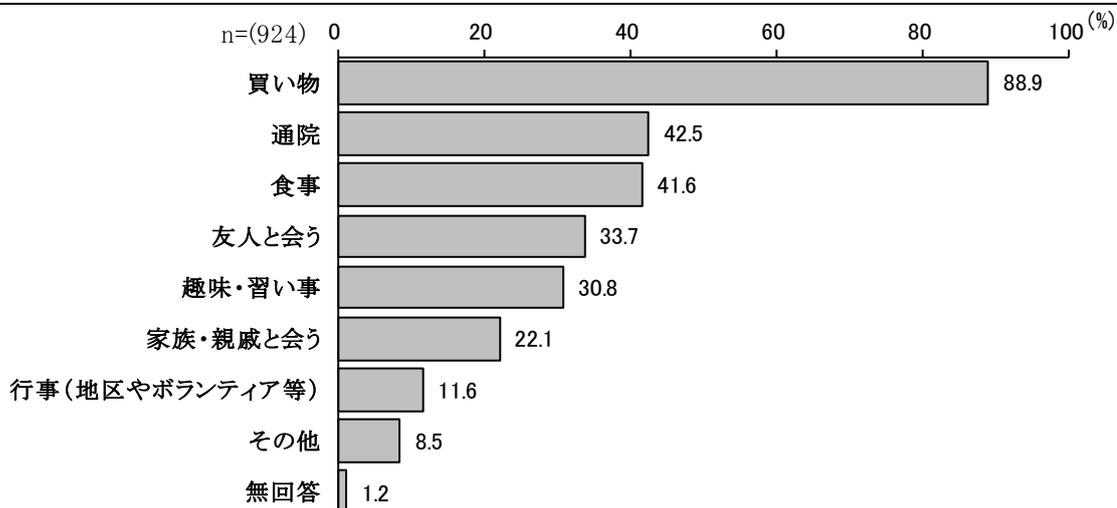
問 12 あなたの普段のおでかけの頻度は次のうちどれですか。(1つに○)



普段のおでかけの頻度について聞いたところ、「週に1~2日」が31.5%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」26.8%「週に3~4日」25.6%となっています。

(7) 外出の目的

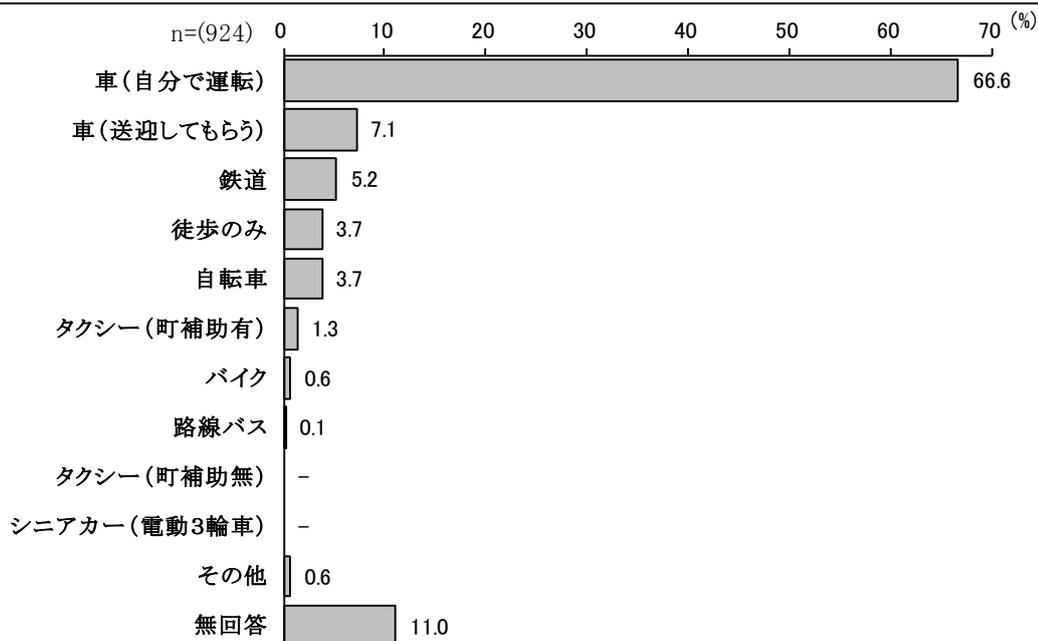
普段おでかけされている方（問12で「ほぼ毎日」～「年に数日」を選択した方）にうかがいます。
 問12-1 あなたのおでかけの目的は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）



普段「ほぼ毎日」～「月に数日」でかけられている方に、その目的を聞いたところ、「買い物」が88.9%で最も高く、次いで「通院」42.5%、「食事」41.6%、「友人と会う」33.7%、「趣味・習い事」30.8%となっています。

(8) 外出の際の主な交通手段

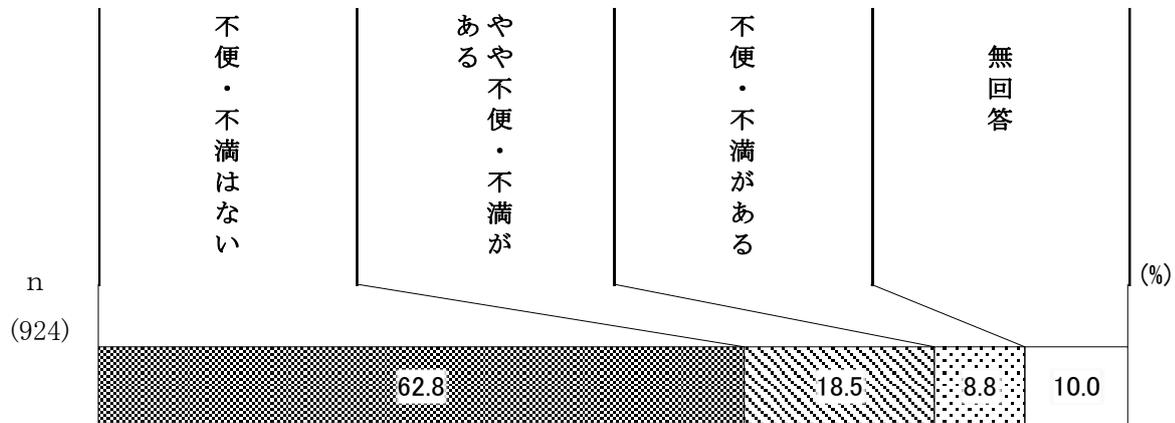
問12-2 おでかけの際の主な交通手段はどれですか。（1つに○）



普段「ほぼ毎日」～「月に数日」でかけられている方に、交通手段を聞いたところ、「車（自分で運転）」が66.6%と最も高くなっています。

(9) 外出時の交通手段について、不便や不満の有無

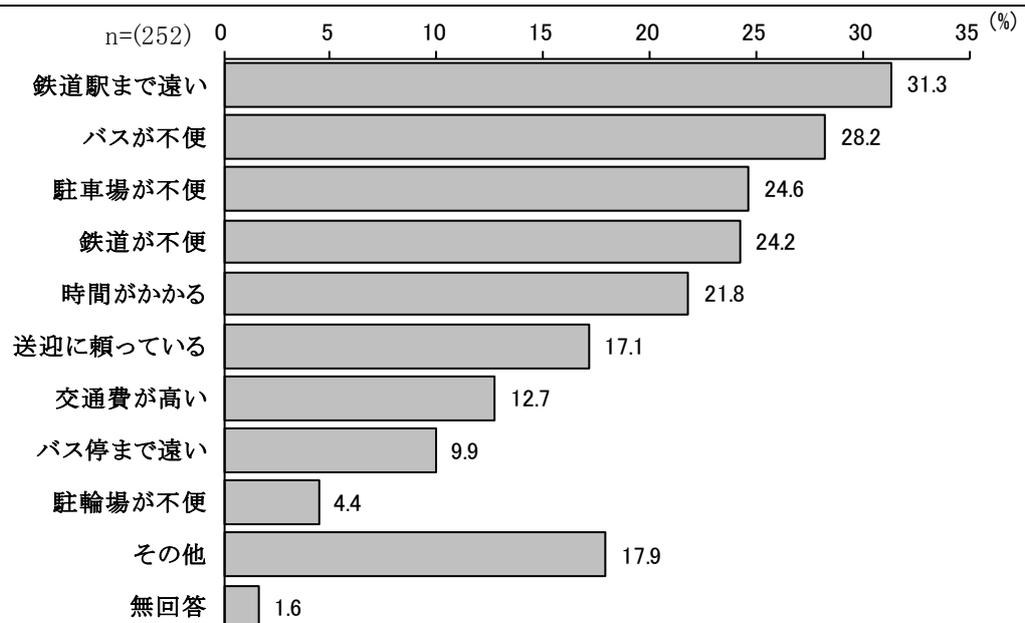
問 12-3 おでかけの際の交通手段について、不便や不満を感じていますか。(1つに○)



普段「ほぼ毎日」～「月に数日」でかけられている方に、交通手段の不便や不満の有無を聞いたところ、「不便・不満はない」が62.8%と最も高くなっています。一方、「やや不便・不満がある」は18.5%、「不便・不満がある」は8.8%となっています。

(10) 不便・不満の内容

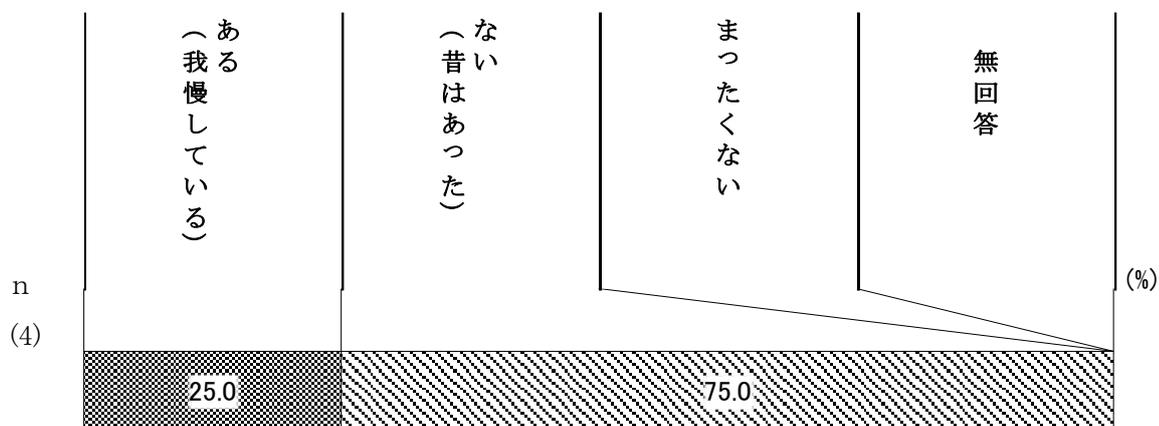
問 12-3 で「やや不便・不満がある」「不便・不満がある」を選択した方にうかがいます。
問 12-4 どのようなことが不便・不満ですか。(あてはまるものすべてに○)



交通手段の不便や不満に「やや不便・不満がある」「不便・不満がある」と回答した方に、その内容を聞いたところ、「鉄道まで遠い」が31.3%と最も高く、次いで「バスが不便」28.2%、「駐車場が不便」24.6%、「鉄道が不便」24.2%となっています。

(11) 本当は行きたいのにいけない場所の有無

外出できない方（問12で「外出できない」を選択した方）にうかがいます。
問12-5 日常生活において、本当は行きたいのにいけない場所がありますか。（1つに○）



普段「外出できない」と回答した方で、日常生活において「本当は行きたいのにいけない場所がある」かの有無を聞いたところ、「ない（昔はあった）」が75.0%と7割半ばを越えています。次いで「ある（我慢している）」25.0%、となっています。

(12) 具体的な場所といけない理由

本当は行きたいのに行けない場所がある方（問12-5で「ある（我慢している）」を選択した方）にうかがいます。

問12-6 具体的にどこですか。またなぜ行けないのですか。ご自由にお書きください。

本当は行きたいのに行けない場所がある方に、その場所と理由を聞いたところ、17人、17件のご意見をいただきました。分類したご意見の件数と内容は以下のとおりです。

【場所】

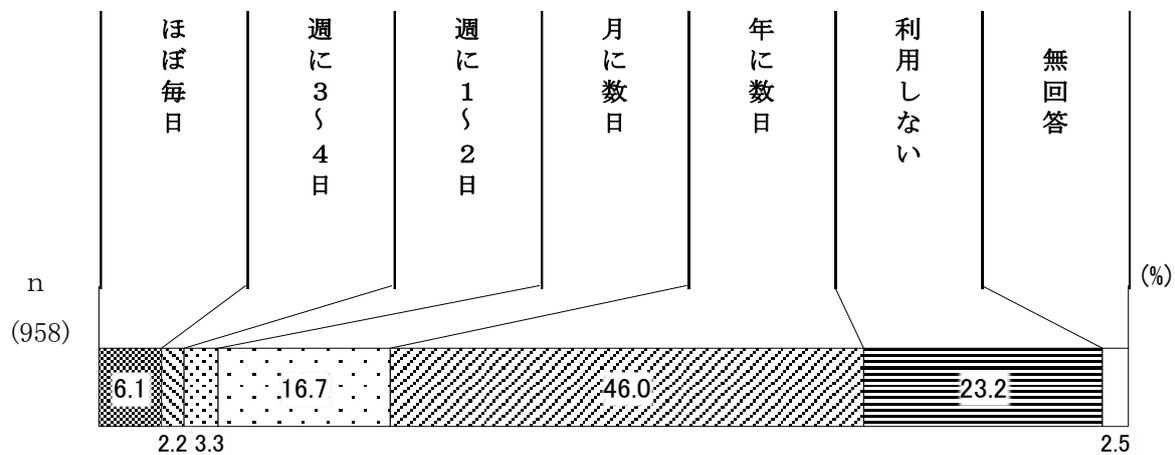
	件数
病院	4
商業施設、商店	4
役場	2
玉川温泉	2
旅行	2
その他	3
合計	17

【いけない理由】

	件数
交通手段がない	6
体に支障がある	3
遠すぎる	2
その他	5
合計	16

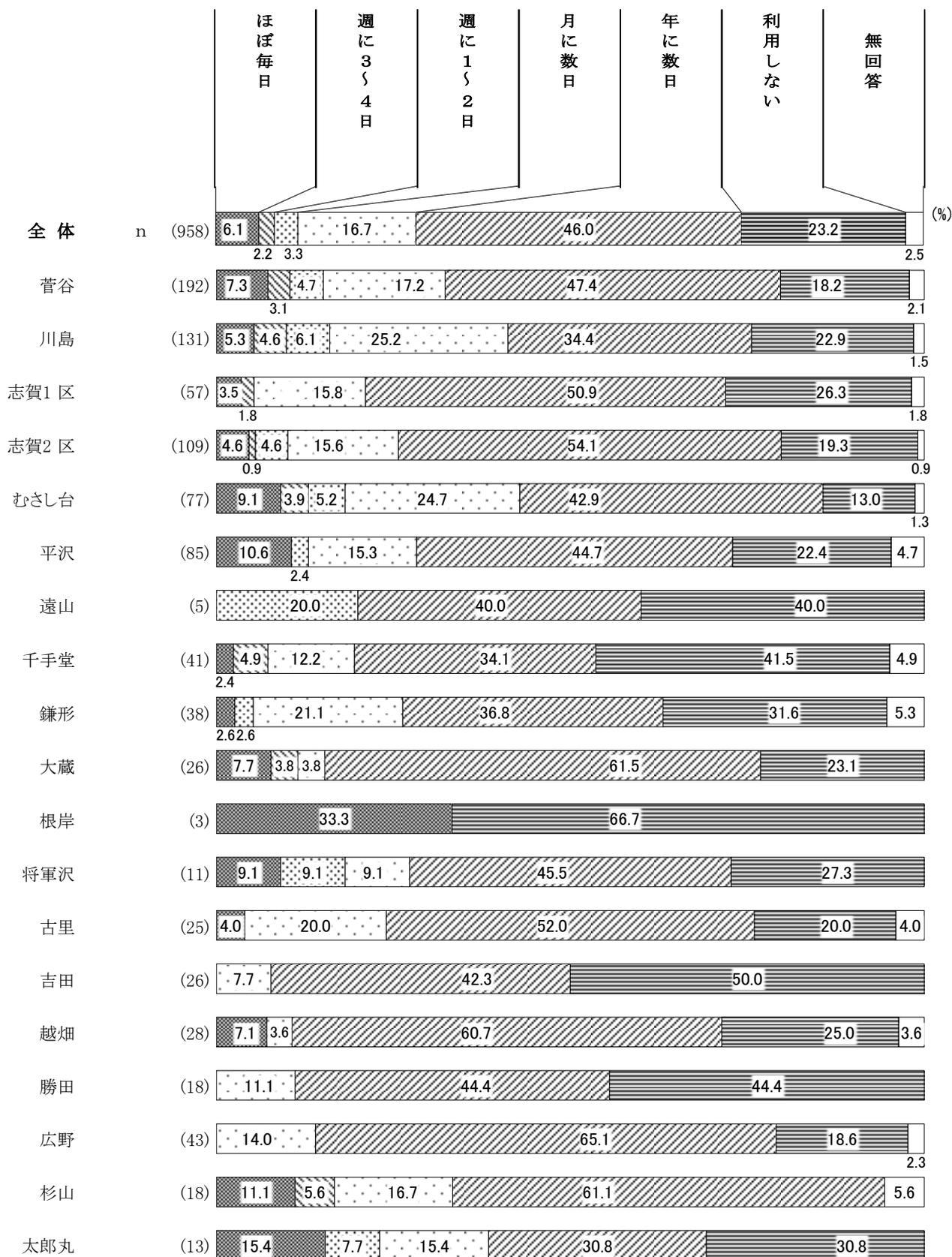
(13) 日常生活での「鉄道」の利用状況

問 13 あなたは、日常生活で「鉄道」を利用されていますか。(1つに○)



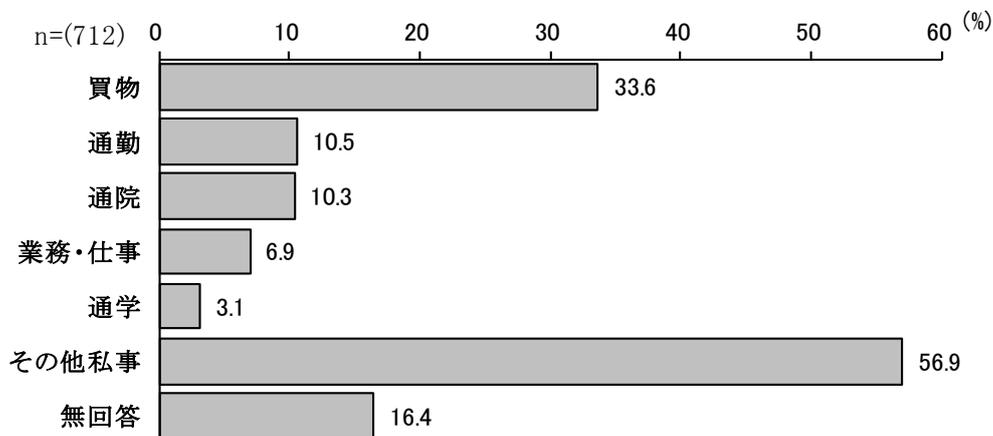
日常生活で「鉄道」の利用の有無を聞いたところ、「年に数日」が46.0%と最も高く、次いで「利用しない」23.2%、「週に3~4日」16.7%となっています。

●「鉄道」利用状況 【居住地区別】



(14) 「鉄道」の利用目的

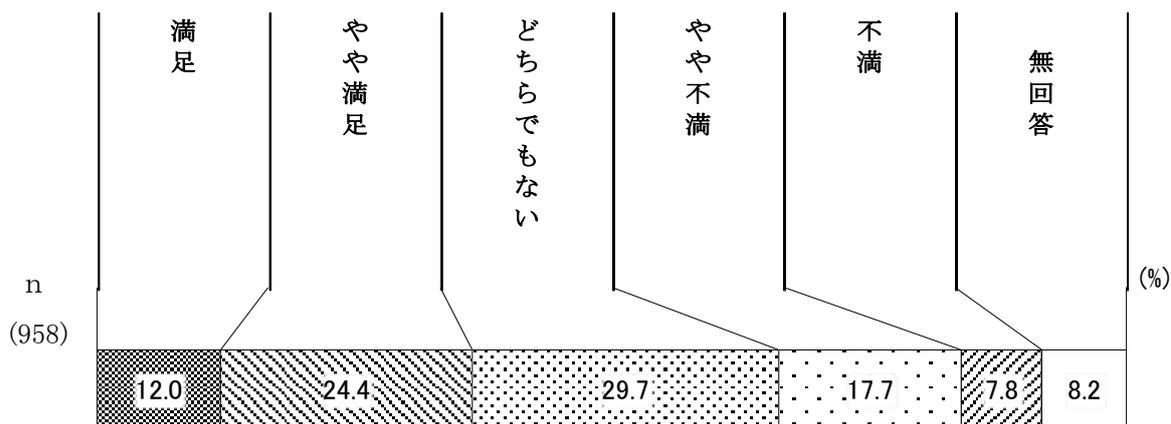
「鉄道」を日常的に利用している方（問13で「ほぼ毎日」～「年に数日」を選択した方）に
うかがいます。
問13-1 「鉄道」の利用目的は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）



「鉄道」を日常的に利用している方に、「鉄道」の利用目的を聞いたところ、「その他私事」が56.9%と最も高く、次いで「買物」33.6%、「通勤」10.5%、「通院」10.3%となっています。

(15) 「鉄道」の利用についての総合的な評価

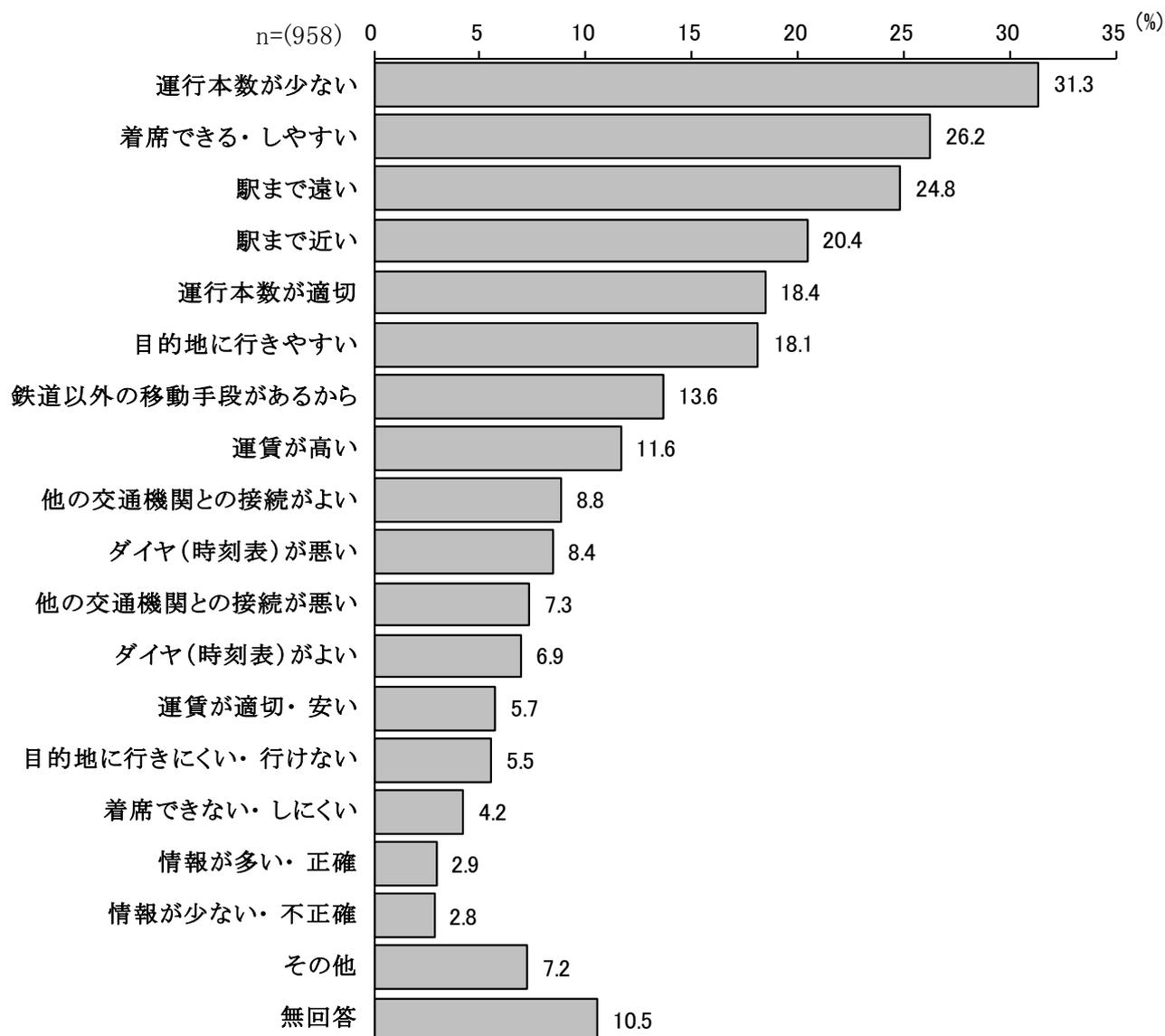
問14 「鉄道」の利用についての総合的な評価は次のうちどれですか。（1つに○）



「鉄道」の利用についての総合的な評価については、「どちらでもない」が29.7%と最も高く、次いで「やや満足」24.4%、「やや不満」17.7%、「満足」12.0%、「不満」7.8%となっています。

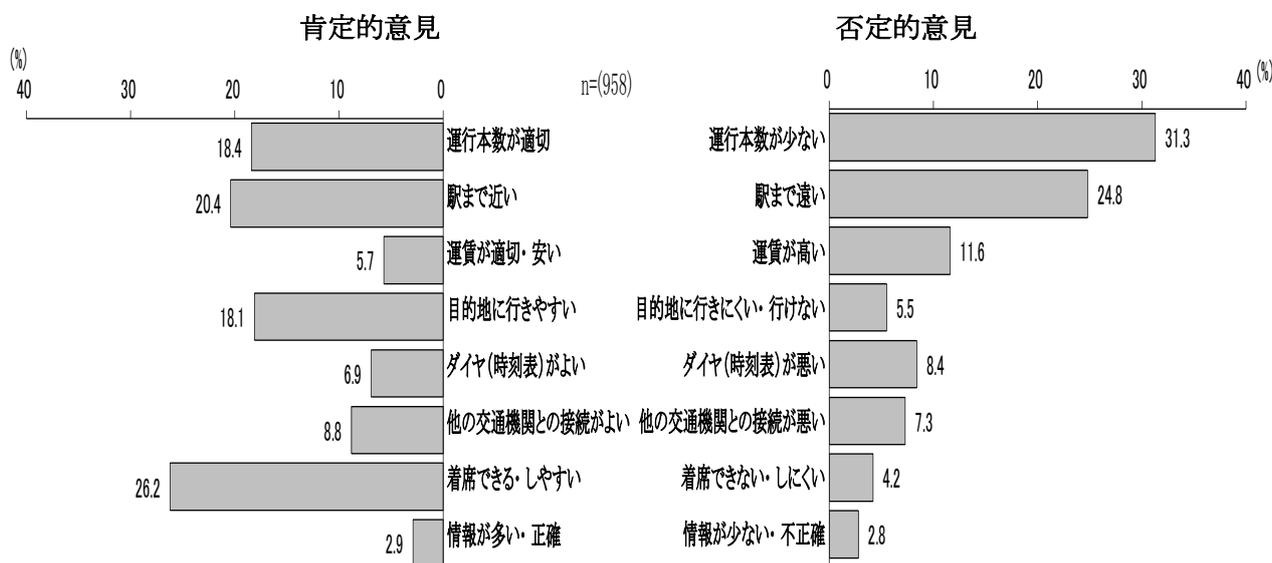
(16) 「鉄道」の総合評価の理由

問 15 「鉄道」の総合評価の理由は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)



「鉄道」の総合評価の理由については、「運行本数が少ない」が31.3%と最も高く、次いで「着席できる・しやすい」26.2%、「駅まで遠い」24.8%、「駅まで近い」20.4%、「運行本数が適切」18.4%となっています。

【肯定的意見と否定的意見の比較】



※「鉄道以外の移動手段があるから」「その他」「無回答」は表示していません。

「鉄道の総合評価の理由」について回答した方の【肯定的意見】【否定的意見】を比較して整理しました。

【肯定的意見】

肯定的意見では、「着席できる・しやすい」が26.2%と最も高く、次いで「駅まで近い」が20.4%、「運行本数が適切」が18.4%、「目的地に行きやすい」が18.1%、「他の交通機関との隣接がよい」8.8%、「ダイヤ(時刻表)がよい」が6.9%、「賃金が適切・安い」が5.7%、「情報が多い・正確」が2.9%となっています。

【否定的意見】

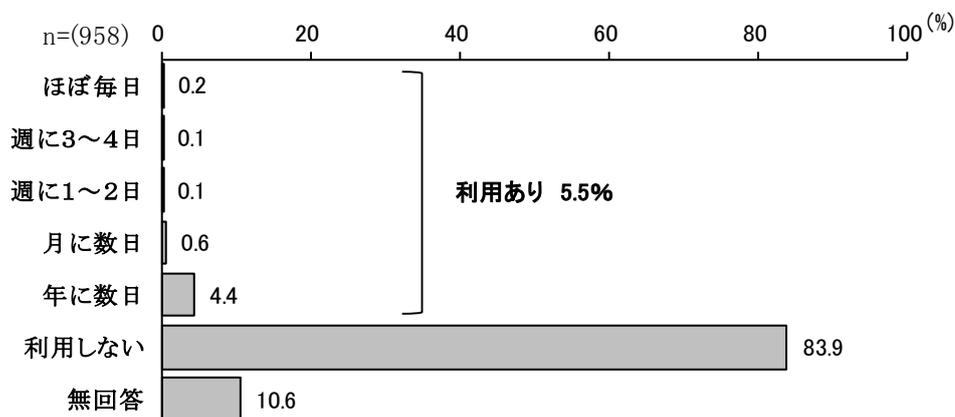
否定的意見では、「運行本数が少ない」が31.3%と最も高く、次いで「駅まで遠い」が24.8%、「賃金が高い」が11.6%、「ダイヤ(時刻表)が悪い」が8.4%、「他の交通網との隣接が悪い」が7.3%、「目的地に行きにくい・行けない」が5.5%、「着席できない・しにくい」が4.2%、「情報が少ない・不正確」が2.8%となっています。

(17) 「路線バス」の利用状況

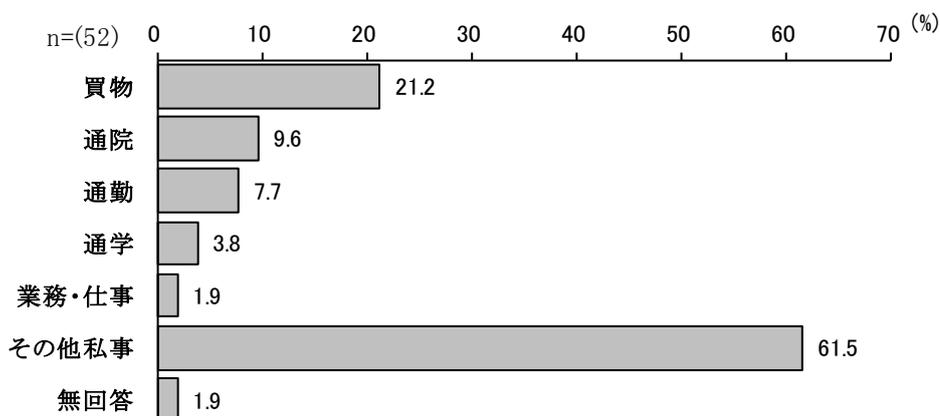
問 16 路線別のバスの利用状況は次のうちどれですか。

①国際十王バス（熊谷市行き）

《頻度（1つに○）》



《目的（あてはまるものすべてに○）》

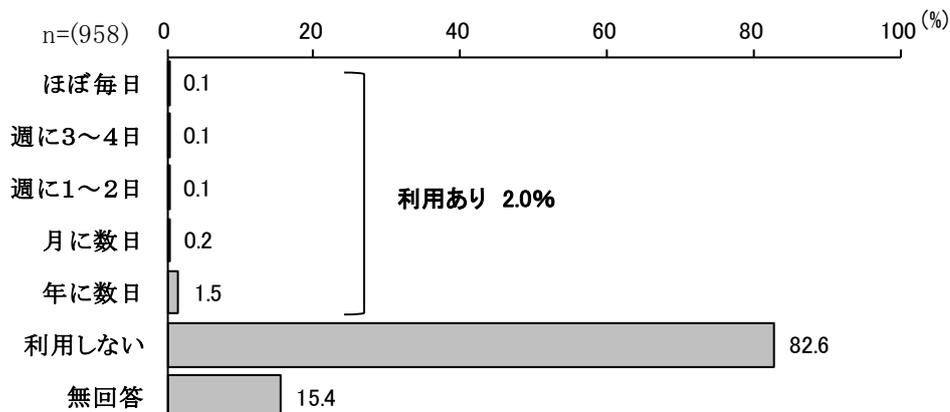


国際十王バス（熊谷市行き）の利用ありの割合は5.5%で、その目的は「その他私事」が61.5%で最も高く、次いで「買い物」21.2%となっています。

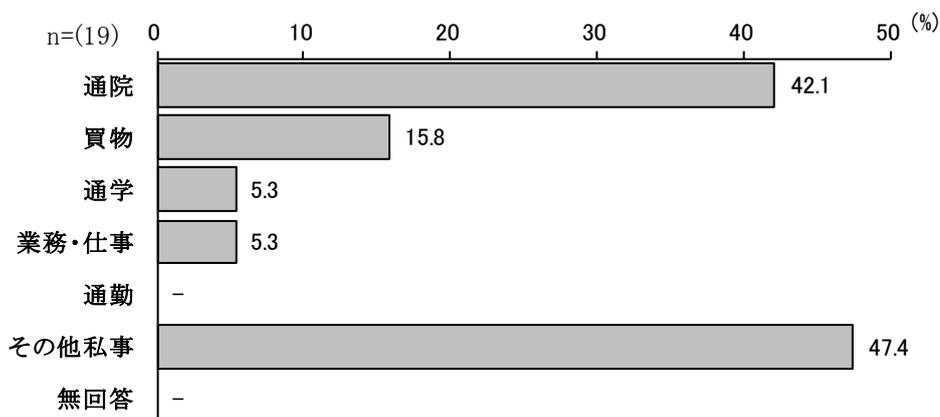
※ 利用あり=100.0-（「利用しない」+「無回答」）（以下同様）

②国際十王バス（小川町行き）

《頻度（1つに○）》



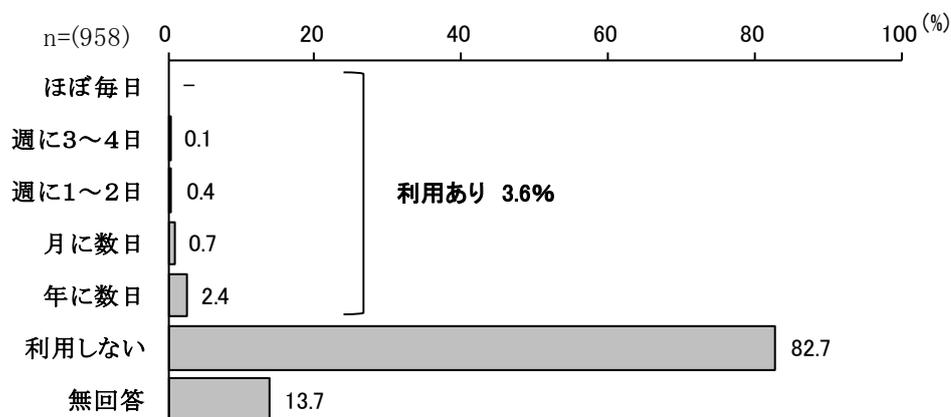
《目的（あてはまるものすべてに○）》



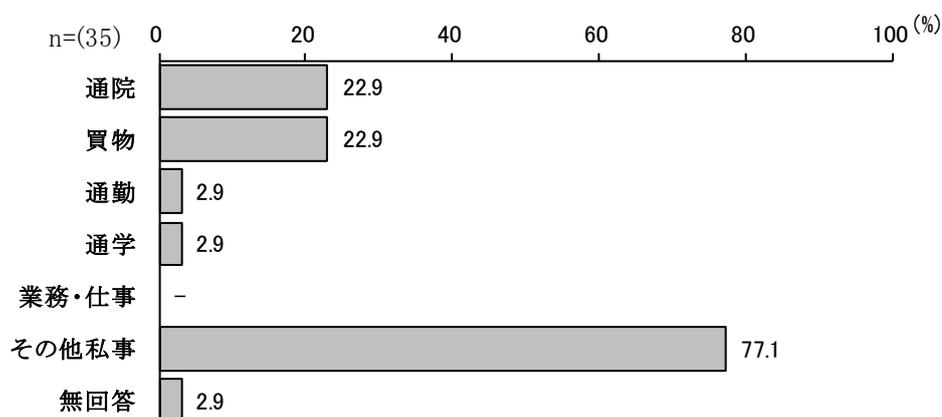
国際十王バス（小川町行き）の利用ありの割合は2.0%で、その目的は「その他私事」が47.4%で最も高く、次いで「通院」42.1%となっています。

③イーグルバス（ときがわ町方面行き）

《頻度（1つに○）》



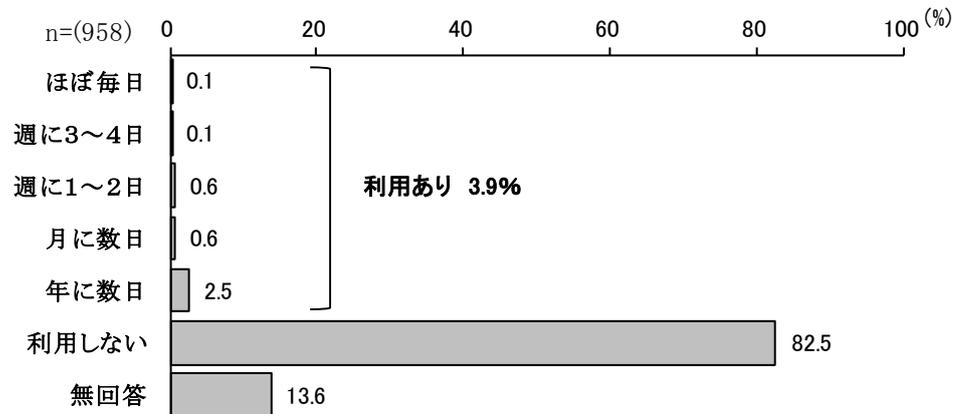
《目的（あてはまるものすべてに○）》



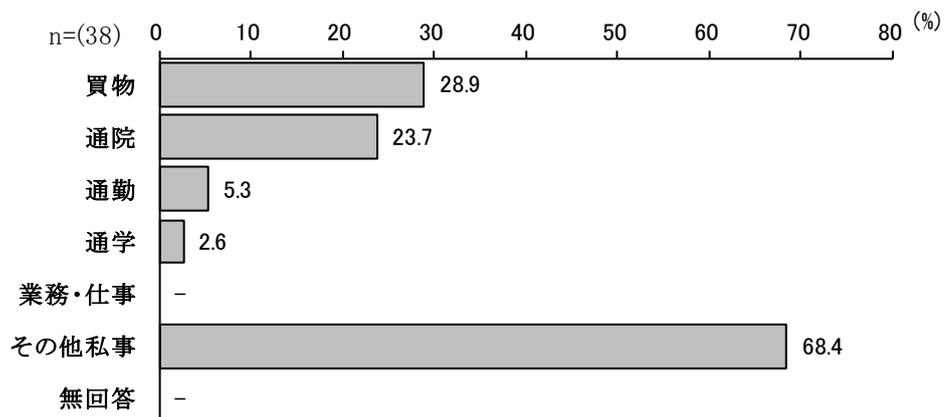
イーグルバス（ときがわ町方面行き）の利用ありの割合は3.6%で、その目的は「その他私事」が77.1%で最も高く、次いで「通院」「買い物」共に22.9%となっています。

④イーグルバス（武蔵嵐山駅方面行き）

《頻度（1つに○）》



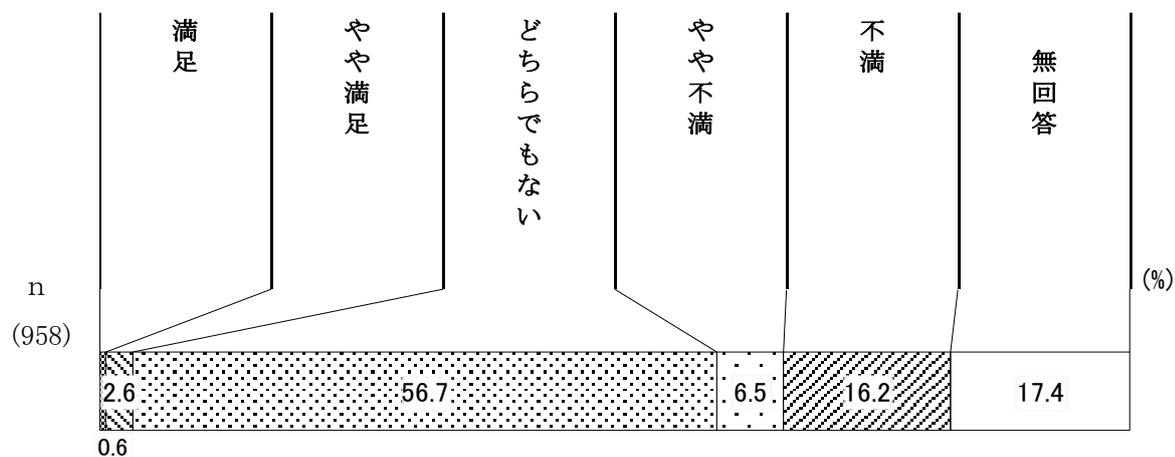
《目的（あてはまるものすべてに○）》



イーグルバス（武蔵嵐山駅方面行き）の利用ありの割合は3.9%で、その目的は「その他私事」が68.4%で最も高く、次いで「買い物」28.9%となっています。

(18) 「路線バス」の利用についての総合的な評価

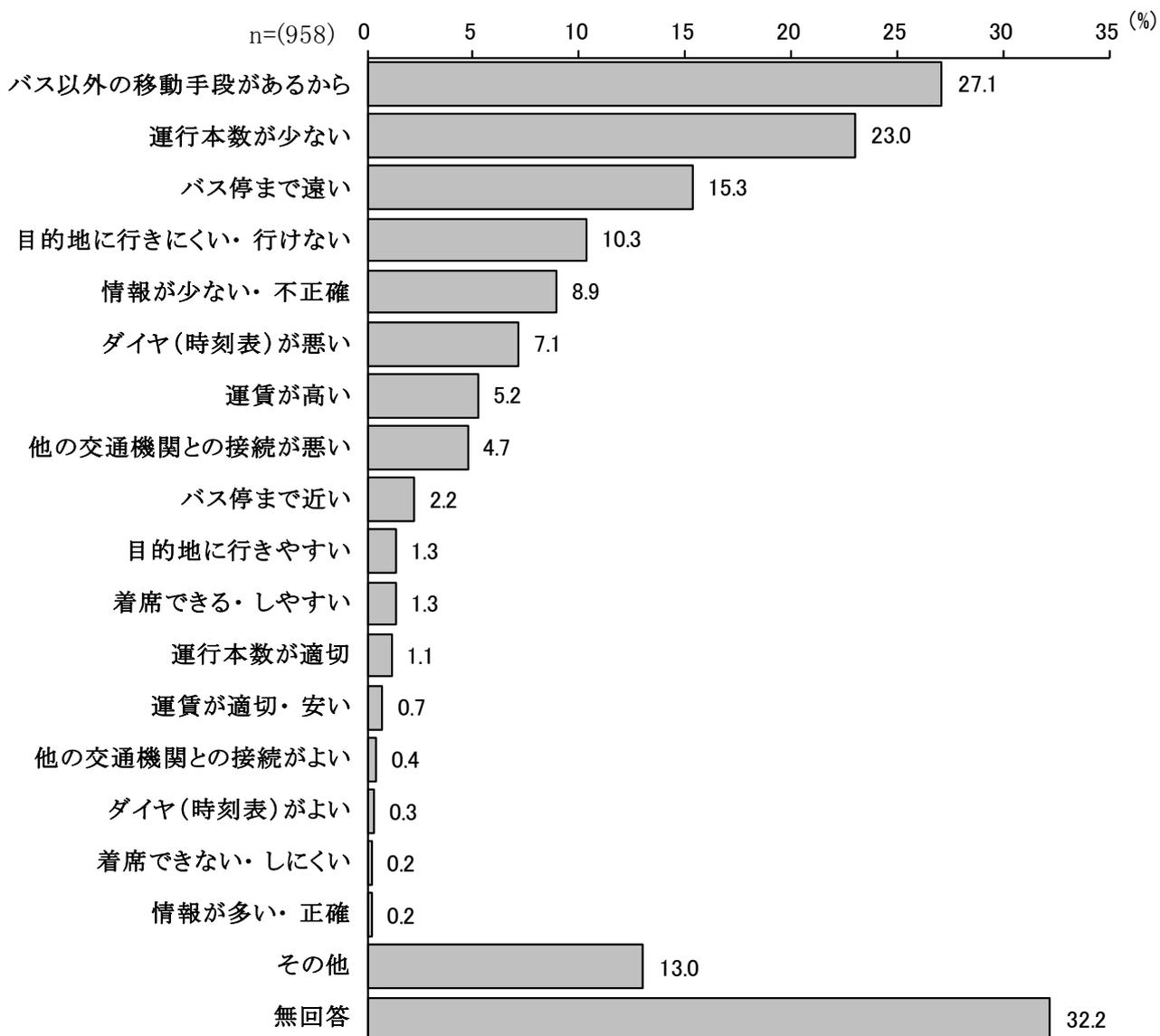
問 17 「路線バス」の利用についての総合的な評価は次のうちどれですか。(1つに○)



「路線バス」の利用についての総合的な評価を聞いたところ、「どちらでもない」が56.7%と最も高く、次いで「不満」16.2%、「やや不満」6.5%、「やや満足」2.6%、「満足」0.6%となっています。

(19) 「路線バス」の総合評価の理由

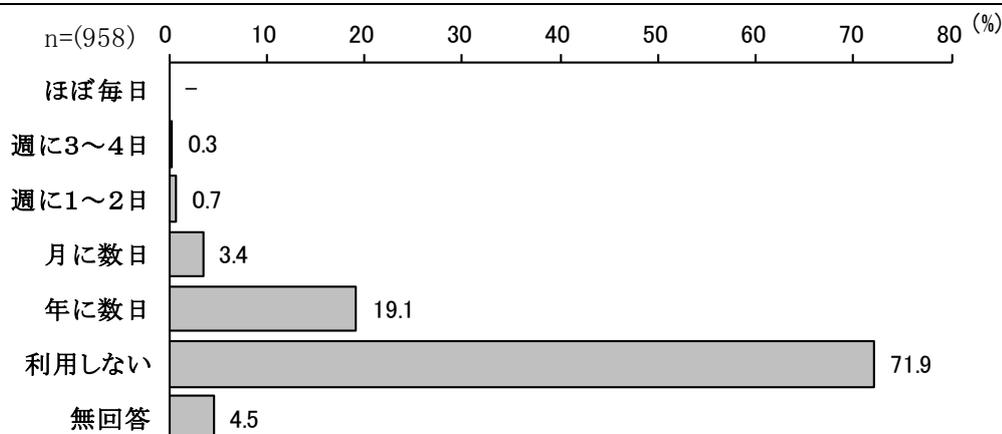
問18 「路線バス」の総合評価の理由は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)



「路線バス」の総合評価の理由については、「バス以外の移動手段があるから」が27.1%と最も高く、次いで「運行本数が少ない」23.0%、「バス停まで遠い」15.3%、「目的地へ行きにくい・行けない」10.3%、「情報が少ない・不正確」8.9%となっています。

(20) 日常生活での「タクシー」利用状況

問19 あなたは、日常生活で「タクシー」を利用されていますか。 ※勤務先での業務利用などは除きます。(1つに○)

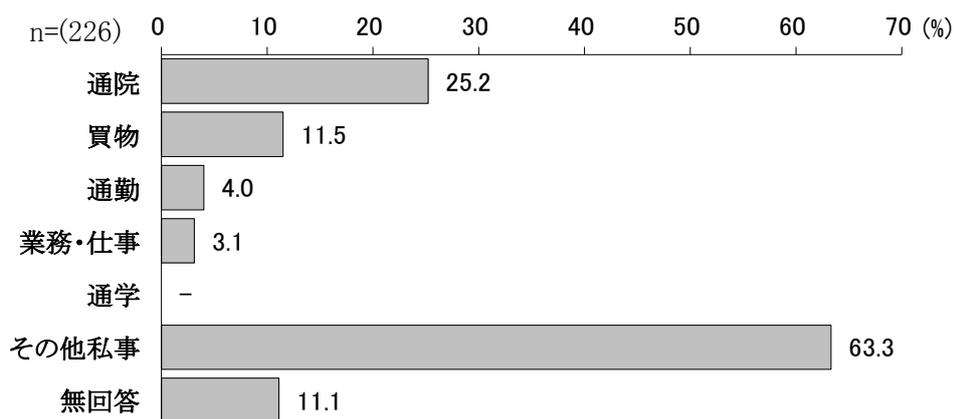


日常生活での「タクシー」の利用状況については、「利用しない」が71.9%と最も高く、次いで「年に数回」19.1%、「月に数回」3.4%となっています。

(21) 「タクシー」の利用目的

「タクシー」を日常的に利用している方（問19で「ほぼ毎日」～「年に数日」を選択した方）にうかがいます。

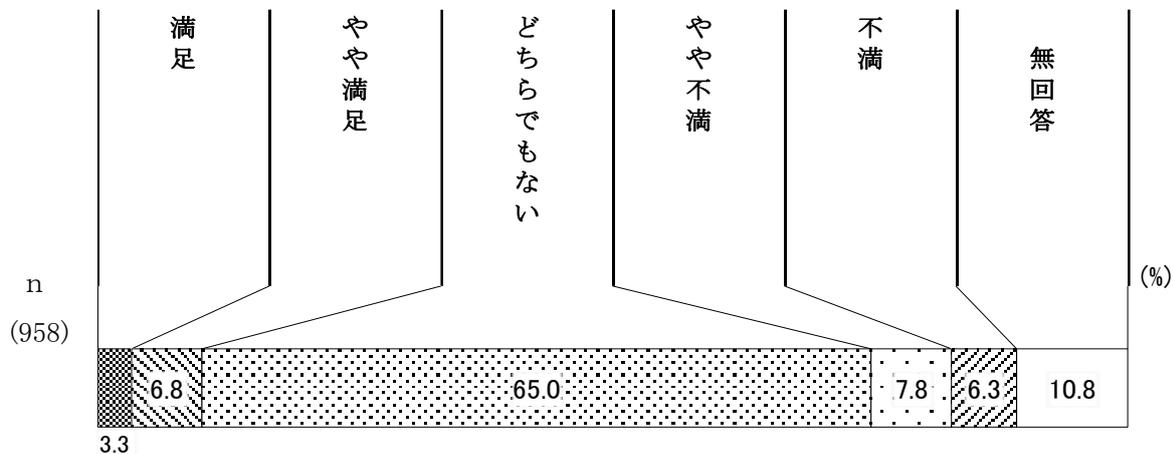
問19-1 「タクシー」の利用目的は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)



日常的に「タクシー」を利用している方に、その目的を聞いたところ、「その他私事」以外では「通院」が25.2%と最も高く、次いで「買い物」11.5%、「通勤」4.0%となっています。

(22) 「タクシー」についての総合的な評価

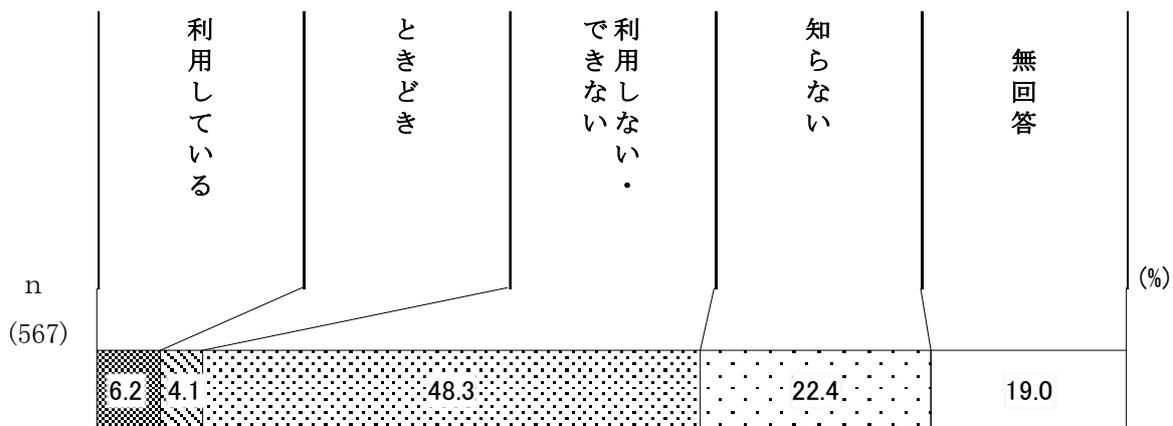
問 20 「タクシー」についての総合的な評価は次のうちどれですか。(1つに○)



「タクシー」についての総合的な評価は、「どちらでもない」が65.0%と最も高く、次いで「やや不満」7.8%、「やや満足」6.8%、「不満」6.3%、「満足」3.3%となっています。

(23) 「タクシー（高齢者外出支援）」チケットの利用状況

65歳以上の方におたずねします。
 問 21 嵐山町補助による「タクシー（高齢者外出支援）」チケットは利用されていますか。
 (1つに○)

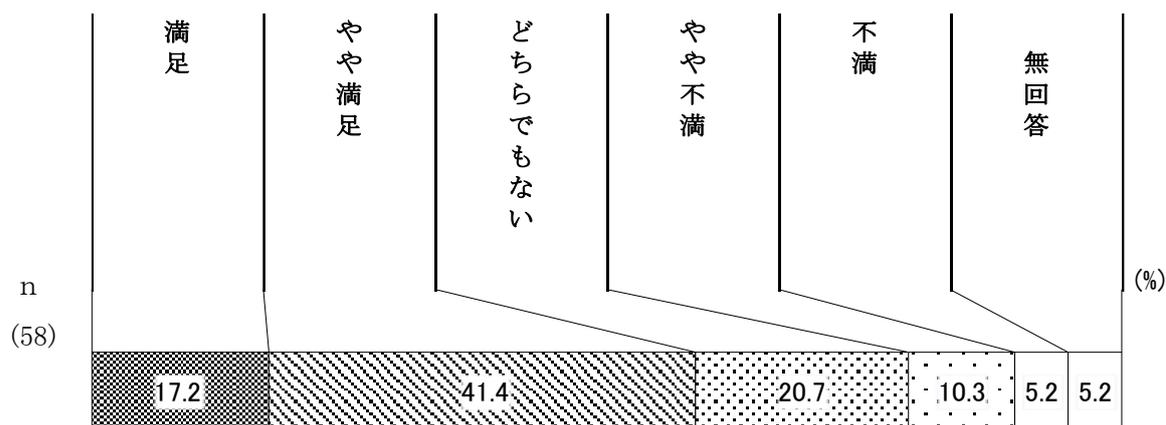


65歳以上の方に、嵐山町補助による「タクシー（高齢者外出支援）」チケットの利用状況について聞いたところ、「利用しない・できない」が48.3%と最も高く、次いで「知らない」22.4%、「利用している」6.2%となっています。

(24) 嵐山町高齢者外出支援タクシー助成券制度についての評価

嵐山町補助による「タクシー（高齢者外出支援）」を利用している方（問21で「利用している」「ときどき利用している」を選択した方）にうかがいます。

問21-1 嵐山町高齢者外出支援タクシー助成券制度についての評価はどうか。
（1つに○）

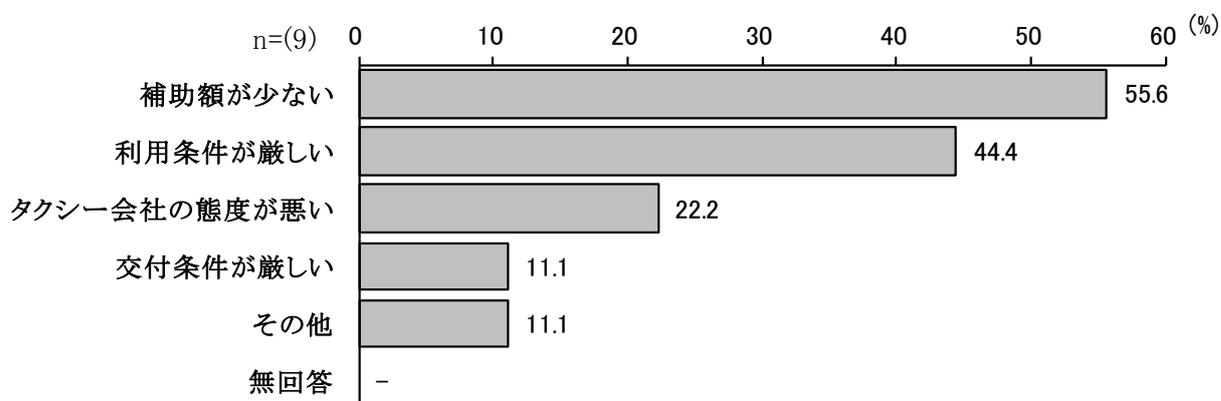


嵐山町補助による「タクシー」を利用している方に、嵐山町高齢者外出支援タクシー助成券制度の評価を聞いたところ、「やや満足」が41.4%と最も高く、次いで「どちらでもない」20.7%、「満足」17.2%、「不満」10.3%となっています。

(25) 不満の内容

問21-1で「やや不満」「不満」を選択した方にうかがいます。

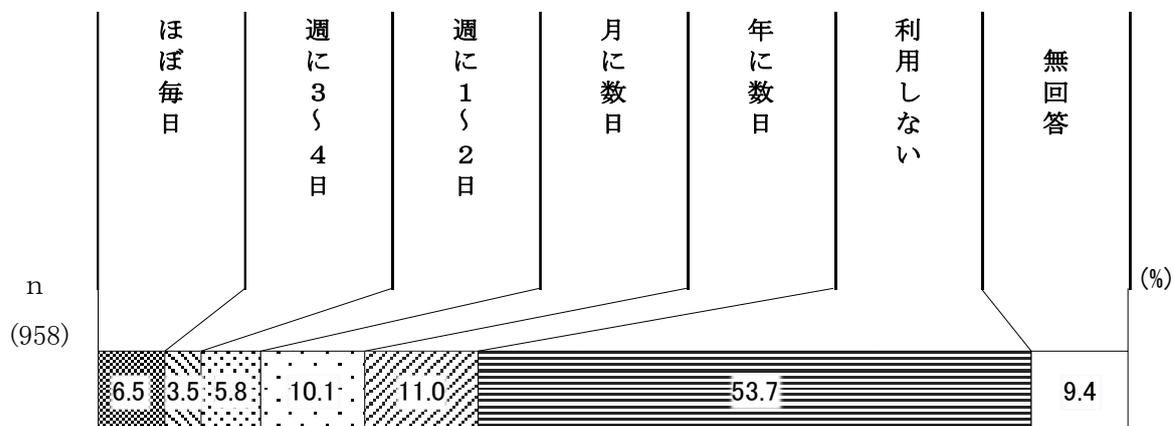
問21-2 どのようなことが不満ですか。（あてはまるものすべてに○）



嵐山町高齢者外出支援タクシー助成券制度に不満を持っている方の回答は9人でした。その理由としては「補助金が少ない」55.6%、「利用条件が厳しい」44.4%、「タクシー会社の態度が悪い」22.2%、「交付条件が厳しい」11.1%となっています。

(26) 自動車を送迎をしている状況

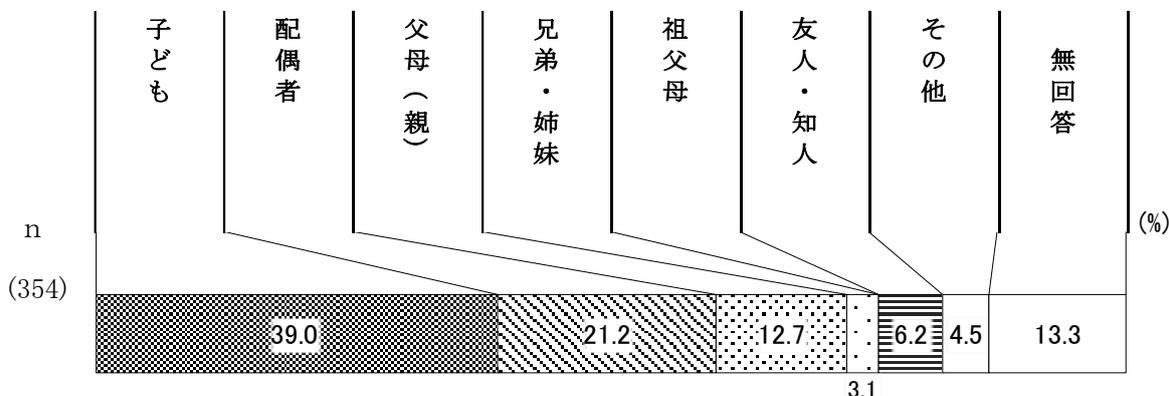
問 22 あなたは、嵐山町周辺で日常生活において自動車で誰かを送迎していますか。
(1つに○)



嵐山町周辺で日常生活において自動車での送迎状況については、「送迎しない」が53.7%と最も高く、次いで「年に数日」11.0%、「月に数日」10.1%が約1割、「ほぼ毎日」6.5%、「週に1~2日」5.8%、「週に3~4日」3.5%となっています。

(27) 送迎の対象者

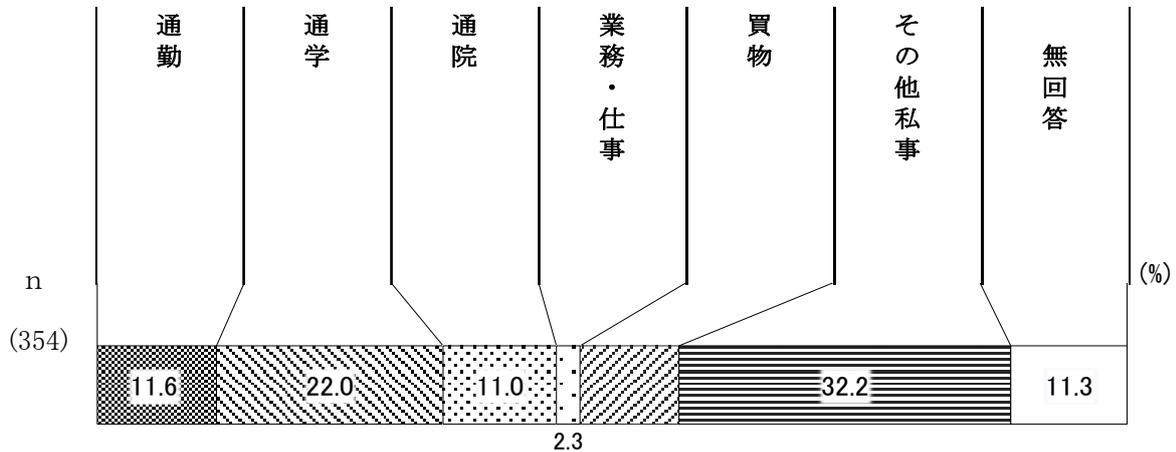
自動車による送迎を日常的にしている方（問 22 で「ほぼ毎日」～「年に数日」を選択した方）にうかがいます。
問 22-1 あなたは、どなたを送迎していますか。（もっとも多いもの1つに○）



嵐山町周辺で自動車による送迎を日常的にしている方に、送迎している相手を聞いたところ、「子ども」が39.0%と最も高く、次いで「配偶者」21.2%、「父母」12.7%、「友人・知人」6.2%、「祖父母」3.1%となっています。

(28) 送迎の対象者の移動目的

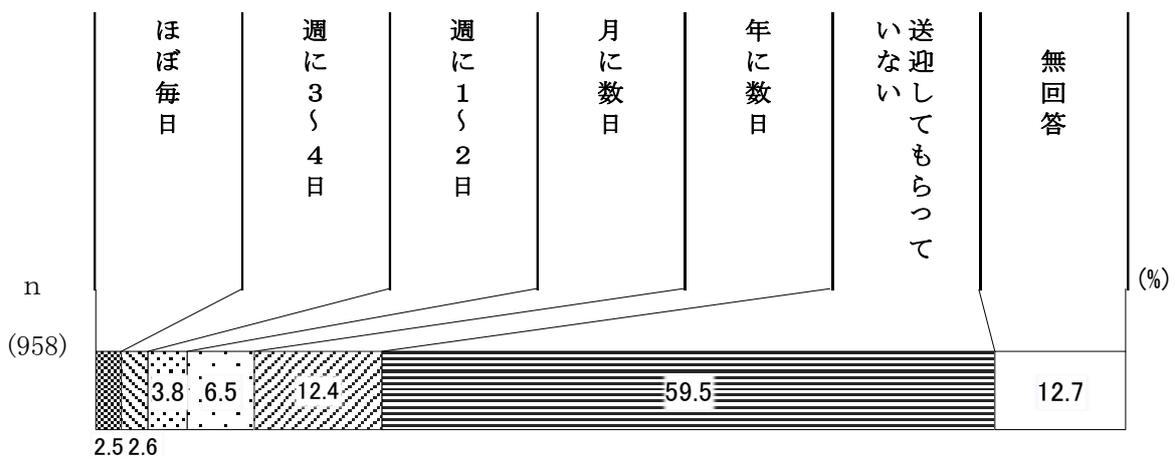
問 22-2 あなたが送迎している方の移動目的は次のうちどれですか。
(もっとも多いもの1つに○)



嵐山町周辺で自動車による送迎を日常的にしている方に、送迎対象者の移動目的を聞いたところ、「その他私事」が32.2%と最も高く、次いで「通学」22.0%、「通勤」11.6%、「通院」11.0%、「買物」9.6%、「業務・仕事」2.3%となっています。

(29) 自動車で送迎をしてもらっている状況

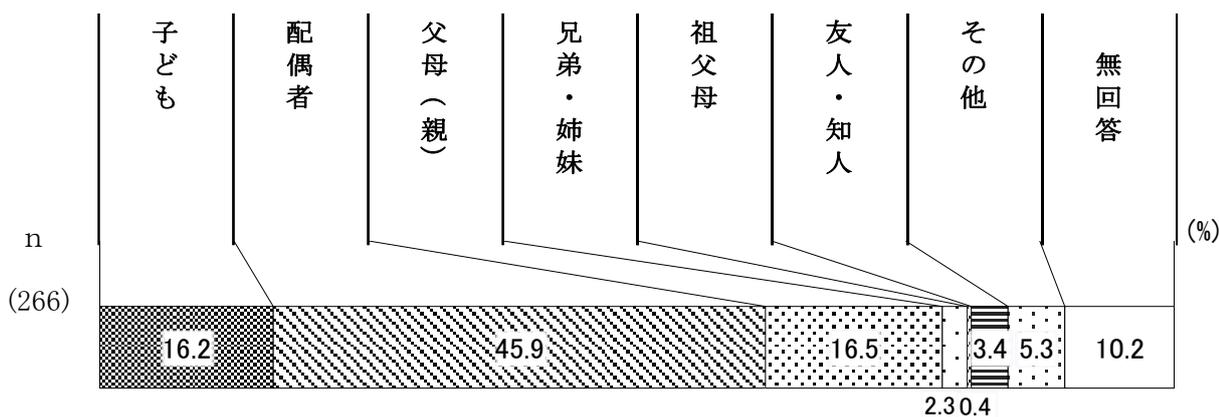
問 23 あなたは、日常生活において自動車で送迎してもらっていますか。(1つに○)



日常生活での自動車の送迎状況を聞いたところ、「送迎してもらっていない」が59.5%と最も高く、次いで「年に数日」12.4%、「月に数日」6.5%、「週に1〜2日」3.8%となっています。

(30) 送迎をしてもらっている相手

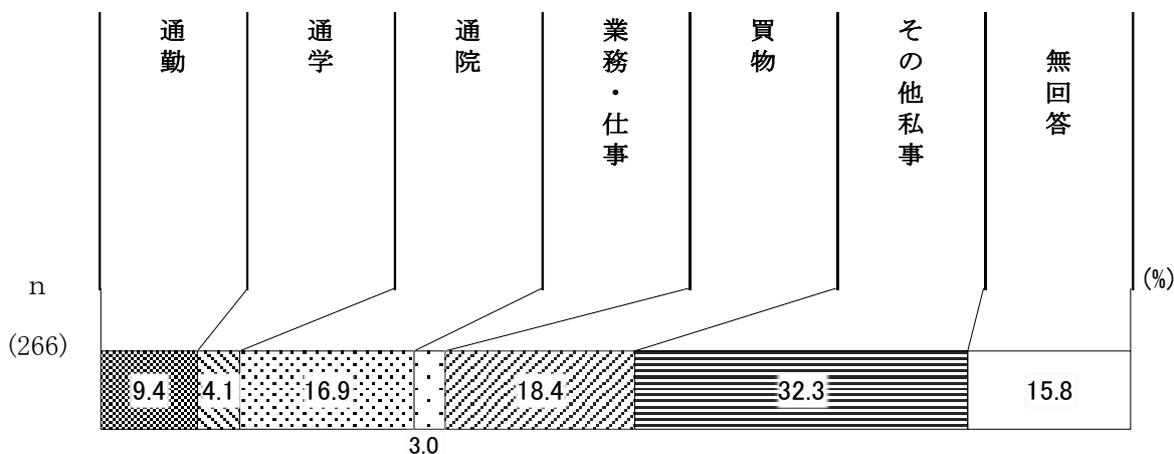
自動車による送迎を日常的にてもらっている方（問23で「ほぼ毎日」～「年に数日」を選択した方）にうかがいます。
 問23-1 あなたは、誰に送迎してもらっていますか。（もっとも多いもの1つに○）



自動車による送迎を日常的にてもらっている方に、送迎してもらっている相手を聞いたところ、「配偶者」が45.9%と最も高く、次いで「父母（親）」16.5%、「子ども」16.2%、「友人・知人」3.4%、「兄弟・姉妹」2.3%となっています。

(31) 送迎をしてもらっている移動目的

問23-2 あなたが送迎してもらっている移動目的は次のうちどれですか。（もっとも多いもの1つに○）



送迎をもらう移動目的については、「その他私事」が32.3%と最も高く、次いで「買物」18.4%、「通院」16.9%、「通勤」9.4%、「通学」4.1%となっています。

(32) 嵐山町の交通施策についての意見・要望

嵐山町の交通施策について、意見・要望等がありましたらご自由にお書きください。

嵐山町の交通施策について意見やご要望を記入していただいたところ、259人の方からご意見をいただきました。分類した意見の主な内容は以下のとおりです。

	件数
交通機関の充実	160
道路・歩道の整備	41
車を運転できなくなった時の支援	24
交通マナー	8
駐車場・駐輪場の整備	7
嵐山駅前の開発	3
住民の意見を取り入れる	3
その他	24
合計	270

交通機関の充実（160件）

- 今は、自由に動けるので必要としませんが、あと何年かし、運転する事に不安を感じた場合、荷物がある事を考えると、自宅まで送っていただけるタクシーのようなものが、便利かと思えます。
- イーグルバスは、本数は少ないが、利用者数を考えると妥当だと思います。
- 駅前にあるタクシーでも、家まで来てもらうと、東松山からの料金を採られたことがありますので困ります。タクシーは、最寄りの車をむけて欲しいです。運転手さんによって、解釈がまちまちなのも困ります。
- 嵐山駅や、嵐山病院までのバス停を増やしてほしい。又は、嵐山駅周辺に、安くて停めやすい駐車場を増やして下さい。
- 会社の送迎用バス以外、町民が利用出来るバスの情報を知らせる必要がある。通院、買い物に徒歩の時以外、本数は少なくともバスがあると良いと思う。
- 駅、スーパー、コンビニ、病院、ちょっとした所も、必ず車が必要なので、バス等、もっと利用しやすくなってほしい。母は、タクシー券があっても、もち出し部分が多く、利用しにくいと言っていた。
- 廃線の路線もあるので、コミュニティバスがあればと思う時がある。
- 朝晩、鉄道運行時間の枠を広げて欲しい。
- バス停の位置を示した表があればいいと思う。
- 免許証を返納した後の交通手段が心配です。スーパー迄のバスとか、病院行きのバスがあると良いと思います。

第2章 調査結果の詳細

道路・歩道の整備（41件）

- 道路舗装が傷んでおり、特に、大型車輛が通行すると、住宅が振動する事が多くある。住宅への影響が生じる前に、舗装を新しくしてほしい。
- カーブミラーが、樹木で機能していない箇所が有る。路地の出口も、個人宅の植物で見通しが悪く、危険な場所が多いと思います。注意喚起を活発にしてほしいと思います。
- 町内で、交通量がかかり多い地点にもかかわらず、道路が狭すぎる所が多い。登下校の時間帯、通勤の時間帯で、はらはらすることがある。時間がかかることなので、早急に、着手していただきたい。
- 道路の小さな陥没は、シルバーカーを使用する老人や自転車等からしてみるとキケンなので、町が管理している所だけでも、早急に補修をしてほしい。歩道の整備。

車を運転できなくなった時の支援（24件）

- 私は、現在、自分で車を運転していますが、車がないと、住むのに大変だと正直思います。タクシー券の発行など、高齢者への対策もしているので、こういう対策は、今後も手厚くしてほしいです。
- 免許証返納した時からの交通手段を充実させて欲しい。主要な場所や買い物等、簡単に行けるシステムを充実させないと、動きがとれない。

交通マナー（8件）

- 最近、道路を歩いている高齢者のマナーが悪いと思います（安全確認をしないで、道路を横切っている）。路面の、車の一時停止の白線を、もっと判りやすい様にして下さい。朝の通勤時、一時停止の場所で停止し、安全確認をしないで、突っ走って行く車を、時々見かけます。

駐車場・駐輪場の整備（7件）

- 駅前に（西口、東口平等に）駐輪場を設置し、無料で利用できる様にさせていただけると、駅から遠い家の方も、行動範囲がふえて嬉しいです。

嵐山駅前の開発（3件）

- 駅前が、駅前らしくなってほしい。

住民の意見を取り入れる（3件）

- 大きな事業を計画する時は、ある程度、町民の意見をきいてほしい。

調査票

嵐山町住民意識調査

—— アンケート調査ご協力のお願い ——

日ごろより町政の進展につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび嵐山町では、今後のまちづくりの指針となる第6次総合振興計画（令和3年度から10年間）を策定いたします。

この調査は、新しい総合振興計画の策定にあたり、町民の皆様のご意見をお聞かせいただくために実施するものであり、18歳以上の町民の中から、2,000名の方を無作為に抽出し、アンケートを送付しています。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせください。

なお、この調査は無記名とし調査結果は数字を統計的に処理し、調査の目的以外利用することはありません。

令和元年 12 月

嵐山町長 岩 澤 勝

— ご記入にあたってのお願い —

1. お答えは、必ずあて名のご本人がご記入してください。（ご本人が記入できない場合は、代筆してください。）
2. 黒のボールペンか鉛筆でご記入してください。
3. 最初から一問ずつ全部の質問にお答えください。
4. お答えは、あてはまる回答の番号を○で囲むか、（ ）の中に具体的にご記入してください。

【 調査票の提出方法 】

この調査票をご記入いただきましたら、**12月26日（木）までに**同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストへご投函ください。

《 問い合わせ 》

嵐山町役場 地域支援課 政策創生担当

TEL 62-2152

I. はじめに、基礎的なことがらについておたずねします。分析の際に必要となりますので、必ずお答えください。

(1) あなたの性別は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

(2) あなたの年齢は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代以上 | |

(3) あなたのご職業は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 農業 | 2. 自営業 |
| 3. 会社員・公務員(常勤) | 4. 会社員・公務員(非常勤) |
| 5. 学生(予備校含む) | 6. 専業主婦・専業主夫 |
| 7. 無職 | 8. その他() |

(3)で「1」から「5」のいずれかを選択した方にうかがいます。

(3)-1 その職場や学校はどちらですか。(1つに○)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 自宅 | 2. 町内 |
| 3. 比企郡内 | 4. 埼玉県内 |
| 5. 東京都 | 6. その他() |

◎全員におたずねします。

(4) あなたは嵐山町に住んで何年になりますか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 2年未満 | 2. 2年～5年未満 | 3. 5年～10年未満 |
| 4. 10年～20年未満 | 5. 20年～30年未満 | 6. 30年以上 |

(5) あなたのお住まいの状況は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 持家 | 2. 借家・アパート |
| 3. 公営住宅 | 4. 社宅・寮・住み込み |
| 5. その他() | |

(6) あなたの住んでいる地区は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 菅谷 | 2. 川島 | 3. 志賀1区 |
| 4. 志賀2区 | 5. むさし台 | 6. 平沢 |
| 7. 遠山 | 8. 千手堂 | 9. 鎌形 |
| 10. 大蔵 | 11. 根岸 | 12. 将軍沢 |
| 13. 古里 | 14. 吉田 | 15. 越畑 |
| 16. 勝田 | 17. 広野 | 18. 杉山 |
| 19. 太郎丸 | | |

(7) お宅の世帯構成は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ | 3. 夫婦と未婚の子 |
| 4. 親と夫婦 | 5. 親と夫婦と子 | 6. その他 |

Ⅱ. 嵐山町の住みごち、暮らしやすさ等についておたずねします。

問1 あなたにとって、嵐山町は住みよいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 住みよい | 2. ある程度住みよい |
| 3. あまり住みよくない | 4. 住みにくい |
| 5. どちらともいえない | |

問2 あなたは、今後も嵐山町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 一生住みたい | |
| 2. 今後もある程度住みたい | |
| 3. 移転したい | →問2-2へ進んでください |
| 4. どちらともいえない | |

→問2で「1」「2」を選択した方にうかがいます。

問2-2 住みたいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 1. 自然環境がよい | 2. 交通の便がよい | 3. 人間関係がよい |
| 4. 働く場所が近い | 5. 家族・友人がいる | 6. 住み慣れている |
| 7. 公共施設が整っている | 8. 教育環境がよい | 9. 安心・安全である |
| 10. 買い物に便利 | 11. 物価が安い | 12. その他() |

問2で「3」を選択した方にうかがいます。

問2-2 移転したいと思う最も大きな理由は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|----------------|
| 1. 自然環境がよくない | 2. 交通が不便 | 3. 人情が薄く不親切 |
| 4. 働く場所が遠い | 5. 家族・友人がいない | 6. 公共施設が整っていない |
| 7. 教育環境がよくない | 8. 安心・安全でない | 9. 買い物に不便 |
| 10. 物価が高い | 11. その他 | |

◎全員におたずねします。

問3 普段の生活のなかで感じている問題がありますか。(1つに○)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. あると思う | 2. ないと思う | 3. わからない |
|----------|----------|----------|

→問3で「1」を選択した方にうかがいます。

問3-1 それはどんな問題だと思えますか。(○は2つまで)

- | |
|-------------------------------------------|
| 1. とおり近所との連帯感がうすれて、あいさつや話し合いも少ない |
| 2. 区(自治会)や地域団体などの住民組織が十分に働かない |
| 3. 古くから住んでいる住民と新たに住んだ住民との間がしっくりいっていない |
| 4. 町の文化活動への意欲は活発だが、リーダー養成や集会所などの施設が不足している |
| 5. 高齢者、青少年等の団体同士のコミュニケーションや交流が不足している |
| 6. 町や団体からの情報が不足している |
| 7. その他() |
| 8. わからない |

全員におたずねします。

問4 あなたが住んでいる地域の環境をどのように感じていますか。(1)～(32)それぞれの項目について、あてはまる番号(1～5)を1つ選んでください。

質問事項		回答の選択				
		満足	まあまあ満足	どちらでもない	やや不満	不満
記入例(「どちらでもない」の場合)		1	2	3	4	5
都市基盤	(1) 道路の整備	1	2	3	4	5
	(2) 道路の安全性	1	2	3	4	5
	(3) 水道のおいしさ、安全性	1	2	3	4	5
	(4) 雨水排水	1	2	3	4	5
	(5) ごみ処理	1	2	3	4	5
	(6) 通学路の安全性	1	2	3	4	5
生活環境	(7) 身近な緑の豊かさ	1	2	3	4	5
	(8) 空気のきれいさ	1	2	3	4	5
	(9) 公園・子どもの遊び場	1	2	3	4	5
	(10) 地震・災害時の避難場所や避難路	1	2	3	4	5
	(11) 火災の消防体制	1	2	3	4	5
	(12) 夜道の安全や防犯	1	2	3	4	5
	(13) 河川・水路などの汚れ	1	2	3	4	5
	(14) 買物の利便性	1	2	3	4	5
	(15) 悪臭・騒音・振動	1	2	3	4	5

質問事項		回答の選択					
		満足	まあまあ満足	どちらでも満足	やや不満	不満	
教育・文化等	(16)	小・中学校の施設	1	2	3	4	5
	(17)	幼稚園・保育園	1	2	3	4	5
	(18)	図書館や公民館などの施設	1	2	3	4	5
	(19)	各地域の集会施設	1	2	3	4	5
	(20)	スポーツ・レクリエーション施設	1	2	3	4	5
	(21)	文化、趣味、スポーツなどの活動	1	2	3	4	5
	(22)	広報紙などの広報活動	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉	(23)	住民検診などの保健活動	1	2	3	4	5
	(24)	夜間・休日などの救急医療	1	2	3	4	5
	(25)	病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
	(26)	子育て支援サービス	1	2	3	4	5
	(27)	高齢者への福祉サービス	1	2	3	4	5
	(28)	障害者への福祉サービス	1	2	3	4	5
その他	(29)	雇用の機会	1	2	3	4	5
	(30)	町が行うイベント	1	2	3	4	5
	(31)	自治会活動	1	2	3	4	5
	(32)	ボランティア活動	1	2	3	4	5

Ⅲ. 今後のまちづくりにおいて重点的に取り組むべき課題についておたずねします。

問5 これからの嵐山町のまちづくりにおいて重点的に取り組むべきと考える課題を5つ以内選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 道路網の整備 | 2. 公共交通の整備 |
| 3. 雨水排水の整備 | 4. 下水道の整備 |
| 5. 市街地や住宅地区の整備 | 6. ごみ減量化・リサイクルの推進 |
| 7. 省資源・省エネルギー対策の推進 | 8. 自然環境の保全 |
| 9. 公園や緑地の整備 | 10. 消防や防災体制の強化 |
| 11. 防犯体制の推進 | 12. 商業の振興 |
| 13. 農林業の振興 | 14. 工業団地拡幅等の工業の振興 |
| 15. 千年の苑ラベンダー園等の観光の振興 | 16. 学校教育の充実
(公立学校の再編等) |
| 17. 子育て支援体制の充実 | 18. 健康づくりの推進 |
| 19. 医療体制の充実 | 20. 高齢者福祉の推進 |
| 21. 障害者福祉の推進 | 22. 生涯学習の推進 |
| 23. スポーツ・レクリエーションの振興 | 24. 文化・芸術活動の振興 |
| 25. コミュニティ活動の推進 | 26. 男女共同参画の推進 |
| 27. 人権対策の充実 | 28. 消費者保護の推進 |
| 29. 町政への住民参画 | 30. 行財政改革の推進 |
| 31. 町民・民間団体・事業者との協働によるまちづくりの推進 | 32. 駅西口ロータリーの整備 |
| 33. 情報発信の充実 | 34. その他() |

嵐山町の今後のまちづくりについて、意見・要望等がありましたらご自由にお書きください。

IV. 町政とのかかわりについておたずねします。

◎全員におたずねします。

**問6 あなたは、嵐山町が発信している情報をどのような方法で入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)**

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 広報らんざん | 2. 自治会の回覧板・掲示板 |
| 3. 町議会だより | 4. 町のパンフレット・ちらし |
| 5. 新聞・タウン誌 | 6. 町のホームページ |
| 7. 町のツイッター | 8. 町の動画 (YouTube等) |
| 9. その他() | 10. 町の情報を入手していない |

問7 あなたは広報らんざんを読みますか。その頻度も教えてください。(1つに○)

- | |
|-----------|
| 1. ほぼ毎月読む |
| 2. ときどき読む |
| 3. 読まない |
- 問7-2へ進んでください

▶問7で「1」「2」を選択した方にうかがいます。

問7-1 どのページを読みますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 特集 | 2. 図書館情報 |
| 3. フォトニュース | 4. 町からのお知らせ |
| 5. 教育相談室 | 6. 地域包括支援センター |
| 7. 子育て情報 | 8. 町おこしだより |
| 9. 休日当番医 | 10. 各種無料相談 |
| 11. Pieace通信 | 12. インフォメーション |
| 13. カレンダー | 14. HAPPY BIRTHDAY 満1歳 |
| 15. 今月のお出かけスポット | 16. その他() |

問7で「3」を選択した方にうかがいます。

問7-2 読まない最大の理由はなんですか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 広報らんざん以外で情報を得ている | 2. 読みたい記事がない |
| 3. 広報らんざんが配布されていない | 4. 読む時間がない |
| 5. 情報が多い | 6. 町政に興味がない |
| 7. その他() | |

◎全員におたずねします。

嵐山町の広報について、意見・要望等がありましたらご自由にお書きください。

V. 日常の交通手段等についておたずねします。

問8 あなたは、通勤や通学をされていますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 1. 通勤している | 2. 通勤と通学をしている |
| 3. 通学している | 4. 通勤も通学もしていない →問12へ進んでください |

問9 通勤や通学の頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3~4日 | 3. 週に1~2日 |
| 4. 月に数日 | 5. 年に数日 | |

問10 通勤や通学の主な交通手段はどれですか。(1つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------------|
| 1. 徒歩のみ | 2. 路線バス | 3. 自転車 |
| 4. 車(自分で運転) | 5. 車(送迎してもらう) | 6. 鉄道 |
| 7. タクシー(町補助有) | 8. タクシー(町補助無) | 9. シニアカー
(電動3輪車) |
| 10. バイク | 11. その他() | |

**問11 通勤や通学時の交通手段について、不便や不満を感じていますか。
(1つに○)**

- | | | |
|---------------|-------------|--|
| 1. 不便・不満はない | | |
| 2. やや不便・不満がある | 3. 不便・不満がある | |

→問11で「2」「3」を選択した方にかがいます。

問11-1 どのようなことが不便・不満ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| 1. 送迎に頼っている | 2. 交通費が高い | 3. 時間がかかる |
| 4. 鉄道が不便 | 5. 鉄道駅まで遠い | 6. バスが不便 |
| 7. バス停まで遠い | 8. 駐車場が不便 | 9. 駐輪場が不便 |
| 10. その他() | | |

◎全員におたずねします。

●おでかけ(通期・通学を除く自宅からの外出)についておたずねします。

問12 あなたの普段のおでかけの頻度は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3~4日 | 3. 週に1~2日 |
| 4. 月に数日 | 5. 年に数日 | 6. 外出できない |

普段おでかけされている方(問12で「1」~「5」を選択した方)にうかがいます。

問12-1 あなたのおでかけの目的は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 買い物 | 2. 食事 |
| 3. 趣味・習い事 | 4. 通院 |
| 5. 友人と会う | 6. 家族・親戚と会う |
| 7. 行事(地区やボランティア等) | 8. その他() |

問12-2 おでかけの際の主な交通手段はどれですか。(1つに○)

- | | | |
|---------------|---------------|---------------------|
| 1. 徒歩のみ | 2. 路線バス | 3. 自転車 |
| 4. 車(自分で運転) | 5. 車(送迎してもらう) | 6. 鉄道 |
| 7. タクシー(町補助有) | 8. タクシー(町補助無) | 9. シニアカー
(電動3輪車) |
| 10. バイク | 11. その他() | |

問12-3 おでかけの際の交通手段について、不便や不満を感じていますか。

(1つに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 不便・不満はない | →問13へ進んでください |
| 2. やや不便・不満がある | 3. 不便・不満がある |

→問12-3で「2」「3」を選択した方にうかがいます。

問12-4 どのようなことが不便・不満ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------|------------|-----------|
| 1. 送迎に頼っている | 2. 交通費が高い | 3. 時間がかかる |
| 4. 鉄道が不便 | 5. 鉄道駅まで遠い | 6. バスが不便 |
| 7. バス停まで遠い | 8. 駐車場が不便 | 9. 駐輪場が不便 |
| 10. その他() | | |

外出できない方(問12で「6」を選択した方)にうかがいます。

問12-5 日常生活において、本当は行きたいのにいけない場所がありますか。

(1つに○)

- | | | |
|---------------|--------------|-----------|
| 1. ある(我慢している) | 2. ない(昔はあった) | 3. まったくない |
|---------------|--------------|-----------|

本当は行きたいのに行けない場所がある方（問 12-5 で「1」を選択した方）にうかがいます。

問 12-6 具体的にどこですか。またなぜ行けないのですか。ご自由にお書きください。

場所

--

行けない理由

--

◎全員におたずねします。

●鉄道についておたずねします。

問 13 あなたは、日常生活で「鉄道」を利用されていますか。（1つに○）

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 月に数日 | 5. 年に数日 | 6. 利用しない |

鉄道を日常的に利用している方（問 13 で「1」～「5」を選択した方）にうかがいます。

問 13-1 「鉄道」の利用目的は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------|-------|----------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院 |
| 4. 業務・仕事 | 5. 買物 | 6. その他私事 |

◎全員におたずねします。

問 14 「鉄道」の利用についての総合的な評価は次のうちどれですか。（1つに○）

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. どちらでもない |
| 4. やや不満 | 5. 不満 | |

問 15 鉄道の総合評価の理由は次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 運行本数が適切 | 2. 運行本数が少ない |
| 3. 駅まで近い | 4. 駅まで遠い |
| 5. 運賃が適切・安い | 6. 運賃が高い |
| 7. 目的地に行きやすい | 8. 目的地に行きにくい・行けない |
| 9. ダイヤ(時刻表)がよい | 10. ダイヤ(時刻表)が悪い |
| 11. 他の交通機関との接続がよい | 12. 他の交通機関との接続が悪い |
| 13. 着席できる・しやすい | 14. 着席できない・しにくい |
| 15. 情報が多い・正確 | 16. 情報が少ない・不正確 |
| 17. 鉄道以外の移動手段があるから | 18. その他() |

●路線バスについておたずねします。

問16 路線別のバスの利用状況は次のうちどれですか。

① 国際十王バス(熊谷市行き)

頻度(1つに○)

1. ほぼ毎日	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
4. 月に数日	5. 年に数日	6. 利用しない

目的(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤	2. 通学	3. 通院
4. 業務・仕事	5. 買物	6. その他私事

② 国際十王バス(小川町行き)

頻度(1つに○)

1. ほぼ毎日	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
4. 月に数日	5. 年に数日	6. 利用しない

目的(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤	2. 通学	3. 通院
4. 業務・仕事	5. 買物	6. その他私事

③ イーグルバス(ときがわ町方面行き)

頻度(1つに○)

1. ほぼ毎日	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
4. 月に数日	5. 年に数日	6. 利用しない

目的(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤	2. 通学	3. 通院
4. 業務・仕事	5. 買物	6. その他私事

④ イーグルバス(武蔵嵐山駅方面行き)

頻度(1つに○)

1. ほぼ毎日	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
4. 月に数日	5. 年に数日	6. 利用しない

目的(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤	2. 通学	3. 通院
4. 業務・仕事	5. 買物	6. その他私事

◎全員におたずねします。

問17 「路線バス」の利用についての総合的な評価は次のうちどれですか。

(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. どちらでもない |
| 4. やや不満 | 5. 不満 | |

問18 路線バスの総合評価の理由は次のうちどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 運行本数が適切 | 2. 運行本数が少ない |
| 3. バス停まで近い | 4. バス停まで遠い |
| 5. 運賃が適切・安い | 6. 運賃が高い |
| 7. 目的地に行きやすい | 8. 目的地に行きにくい・行けない |
| 9. ダイヤ(時刻表)がよい | 10. ダイヤ(時刻表)が悪い |
| 11. 他の交通機関との接続がよい | 12. 他の交通機関との接続が悪い |
| 13. 着席できる・しやすい | 14. 着席できない・しにくい |
| 15. 情報が多い・正確 | 16. 情報が少ない・不正確 |
| 17. バス以外の移動手段があるから | 18. その他() |

●タクシーについておたずねします。

問19 あなたは、日常生活で「タクシー」を利用されていますか。 ※勤務先での業務利用などは除きます。(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3~4日 | 3. 週に1~2日 |
| 4. 月に数日 | 5. 年に数日 | 6. 利用しない |

タクシーを日常的に利用している方(問19で「1」~「5」を選択した方)にうかがいます。

問19-1 「タクシー」の利用目的は次のうちどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------|-------|----------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院 |
| 4. 業務・仕事 | 5. 買物 | 6. その他私事 |

◎全員におたずねします。

問20 「タクシー」についての総合的な評価は次のうちどれですか。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. どちらでもない |
| 4. やや不満 | 5. 不満 | |

◎65歳以上の方におたずねします。

問21 嵐山町補助による「タクシー(高齢者外出支援^{*})」チケットは利用されていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 利用している | 2. ときどき利用している |
| 3. 利用しない・できない | 4. 知らない |

※ 運転免許証を所有しない65歳以上の町民が対象(入院中や施設入所者を除く)で、タクシー利用時に利用した距離に応じて運賃の一部が補助される制度です。

町補助によるタクシー(高齢者外出支援)を利用している方(問21で「1」「2」を選択した方)にうかがいます。

問21-1 嵐山町高齢者外出支援タクシー助成券制度についての評価はどうか。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. どちらでもない |
| 4. やや不満 | 5. 不満 | |

▶問21-1で「4」「5」を選択した方にうかがいます。

問21-2 どのようなことが不満ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. 補助額が少ない | 2. 利用条件が厳しい |
| 3. 交付条件が厳しい | 4. タクシー会社の態度が悪い |
| 5. その他() | |

◎全員におたずねします。

●送迎することについておたずねします。

問22 あなたは、嵐山町周辺で日常生活において自動車で誰かを送迎していますか。(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3~4日 | 3. 週に1~2日 |
| 4. 月に数日 | 5. 年に数日 | 6. 送迎しない |

自動車による送迎を日常的にしている方(問22で「1」~「5」を選択した方)にうかがいます。

問22-1 あなたは、どなたを送迎していますか。(もっとも多いもの1つに○)

- | | | | |
|--------|----------|-----------|----------|
| 1. 子ども | 2. 配偶者 | 3. 父母(親) | 4. 兄弟・姉妹 |
| 5. 祖父母 | 6. 友人・知人 | 7. その他() | |

問22-2 あなたが送迎している方の移動目的は次のうちどれですか。(もっとも多いもの1つに○)

- | | | |
|----------|-------|----------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院 |
| 4. 業務・仕事 | 5. 買物 | 6. その他私事 |

◎全員におたずねします。

●送迎されることについておたずねします。

問23 あなたは、日常生活において自動車で送迎してもらっていますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日
4. 月に数日	5. 年に数日	6. 送迎してもらっていない

自動車による送迎を日常的にしている方(問23で「1」～「5」を選択した方)にうかがいます。

問23-1 あなたは、誰に送迎してもらっていますか。

(もっとも多いもの1つに○)

1. 子ども	2. 配偶者	3. 父母(親)	4. 兄弟・姉妹
5. 祖父母	6. 友人・知人	7. その他()	

問23-2 あなたが送迎してもらっている移動目的は次のうちどれですか。

(もっとも多いもの1つに○)

1. 通勤	2. 通学	3. 通院
4. 業務・仕事	5. 買物	6. その他私事

◎全員におたずねします。

嵐山町の交通施策について、意見・要望等がありましたらご自由にお書きください。

※以上ですべてのアンケート調査は終了です。お忙しい中ご協力いただきありがとうございます。12月26日(木)までに返信用封筒に入れてご返送くださいますようお願いいたします。

嵐山町住民意識調査報告書

発行日 令和2年 3月

発行 嵐山町 地域支援課

〒355-0211

埼玉県比企郡嵐山町大字杉山 1030-1

TEL 0493-62-2152